

西宮市
保健医療に関する実態調査
結果報告書

西 宮 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	医科診療所	2
	(1) 施設のことについて	2
	(2) 在宅医療について	3
	(3) 救急医療について	17
	(4) 精神科医療について	19
	(5) 災害医療について	24
	(6) 西宮市における医療提供体制について	26
2	歯科診療所	28
	(1) 施設のことについて	28
	(2) 在宅医療について	28
	(3) 救急医療について	40
	(4) 精神科医療について	41
	(5) 災害医療について	43
	(6) 西宮市における医療提供体制について	45
3	薬局	47
	(1) 施設のことについて	47
	(2) 在宅医療について	47
	(3) 救急医療について	59
	(5) 災害医療について	62
	(6) 西宮市における医療提供体制について	64
4	病院	66
	(1) 施設のことについて	66
	(2) 在宅医療について	67
	(3) 救急医療について	80
	(4) 精神科医療について	81
	(5) 災害医療について	83
	(6) 西宮市における医療提供体制について	85

I 調査の概要

1 調査の目的

保健医療計画策定の基礎資料として、西宮市内における医療提供の現状や取組などのほか、市の医療課題などについてアンケート調査を実施しました。

2 調査対象

市内の医科診療所、歯科診療所、薬局、病院

3 調査期間

平成 27 年 7 月 1 日から平成 27 年 7 月 17 日


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

区 分	配 布 数	回収数	有効回収率
医科診療所	418 通	172 通	41.1%
歯科診療所	230 通	79 通	34.3%
薬 局	196 通	82 通	41.8%
病 院	24 通	12 通	50.0%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

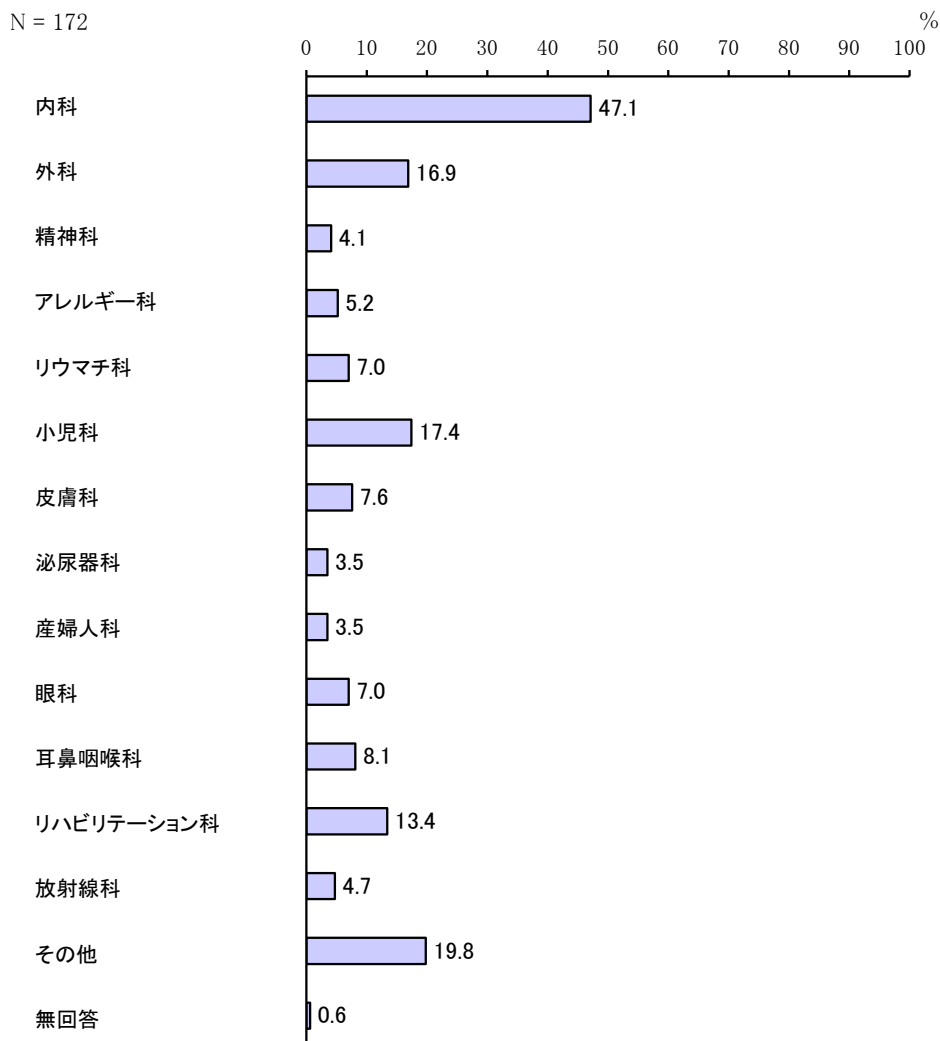
II 調査結果

1 医科診療所

(1) 施設のことについて

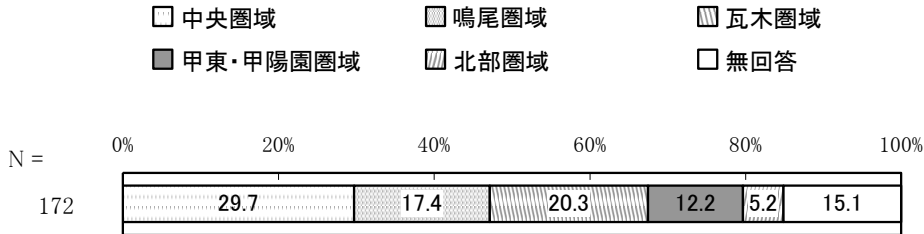
問1 貴院の主要な標榜科目についてお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

「内科」の割合が47.1%と最も高く、次いで「小児科」の割合が17.4%、「外科」の割合が16.9%となっています。



問2 貴院の所在する中学校区はどちらですか。

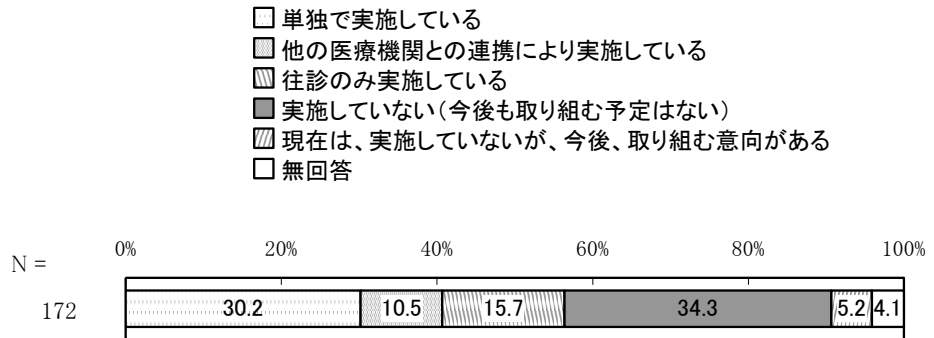
※ 中学校区の回答結果を5つの圏域で集約しています。



(2) 在宅医療について

問3 貴院では在宅医療（訪問診療及び往診）を実施していますか。

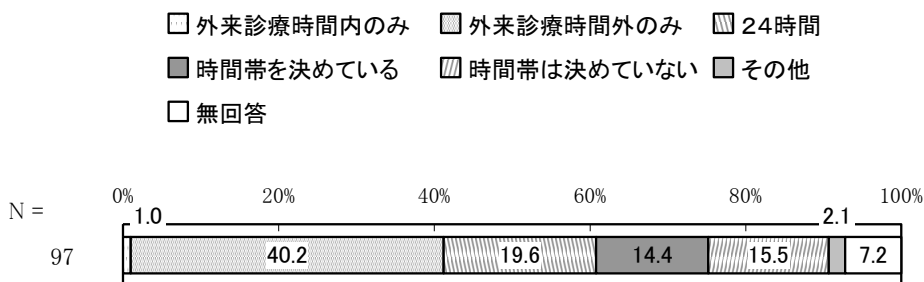
「実施していない（今後も取り組む予定はない）」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「単独で実施している」の割合が 30.2%、「往診のみ実施している」の割合が 15.7%となっています。



問4 問3で「1」～「3」の選択肢を選ばれた方にお尋ねします。

問4-1 貴院で実施している在宅医療対応の時間帯について教えてください。

「外来診療時間外のみ」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「24時間」の割合が 19.6%、「時間帯は決めていない」の割合が 15.5%となっています。



問 4-2 貴院で在宅医療を実施した患者数並びに在宅で看取られた患者数についてお尋ねします。

1. 現在、訪問診療中のおおよその患者数

人 数	実施数	人 数	実施数
1～4人	31	40～49人	2
5～9人	17	50～59人	2
10～14人	16	60～69人	2
15～19人	4	70～79人	3
20～29人	3	80人以上	1
30～39人	2	合計 (1162人)	83

【訪問診療中の患者の内、がん患者数】

人 数	実施数
1人	5
2人	3
3人	4
4人	3
5人	2
6人	1
7人	1

【訪問診療を行っている場所別の患者数】

① 自宅

人 数	実施数	人 数	実施数
1～4人	33	40～49人	2
5～9人	23	50～59人	1
10～14人	10	60～69人	0
15～19人	3	70～79人	1
20～29人	3		
30～39人	5	合計 (745人)	80

② 施設

人 数	実施数	人 数	実施数
1～4人	13	40～49人	2
5～9人	4	50～59人	1
10～14人	2		
15～19人	1		
20～29人	0		
30～39人	1	合計 (399人)	26

2. 平成26年4月～平成27年3月の間に看取られたおおよその患者数

人 数	実施数	人 数	実施数
1人	17	13人	1
2人	9	15人	1
3人	2	20人	1
4人	6	24人	1
5人	4	25人	
10人	1		
11人	1	合計 (203人)	45

【看取られた患者の内、がん患者数】

人 数	実施数	人 数	実施数
1人	12	10人	1
2人	4	12人	1
3人	3	14人	1
5人	2	合計 (75人)	24

【看取りを行った場所別の患者数】

① 自宅

人 数	実施数	人 数	実施数
1人	17	13人	1
2人	9	14人	1
3人	1	15人	1
4人	2	20人	1
5人	4		
7人	2	合計 (142人)	39

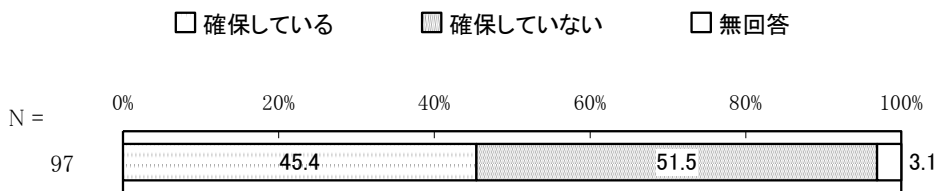
② 施設

人 数	実施数
1 人	2
2 人	1
3 人	1
4 人	1
5 人	2
13 人	1
合計 (34 人)	8

③ その他 1 人 1 施設

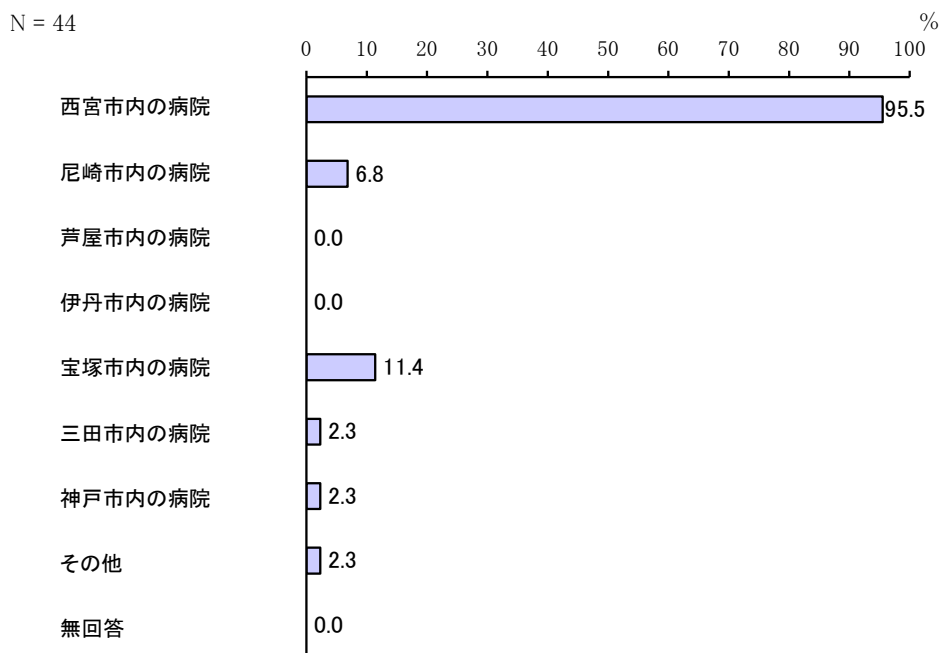
問4-3 在宅医療を実施している患者について、病状が急変した時の受入先は確保していますか。

「確保している」の割合が45.4%、「確保していない」の割合が51.5%となっています。



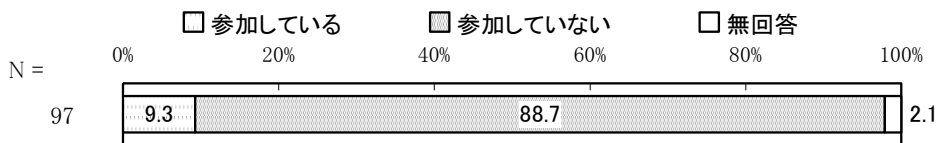
【受け入れ先】

「西宮市内の病院」の割合が95.5%と最も高く、次いで「宝塚市内の病院」の割合が11.4%となっています。



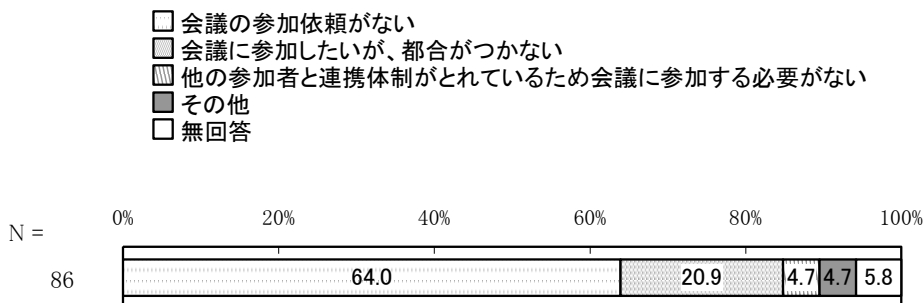
問 4-4 病院からの退院患者（受け持ち患者）の退院に向けて、退院時カンファレンスに参加していますか。

「参加している」の割合が 9.3%、「参加していない」の割合が 88.7%となっています。



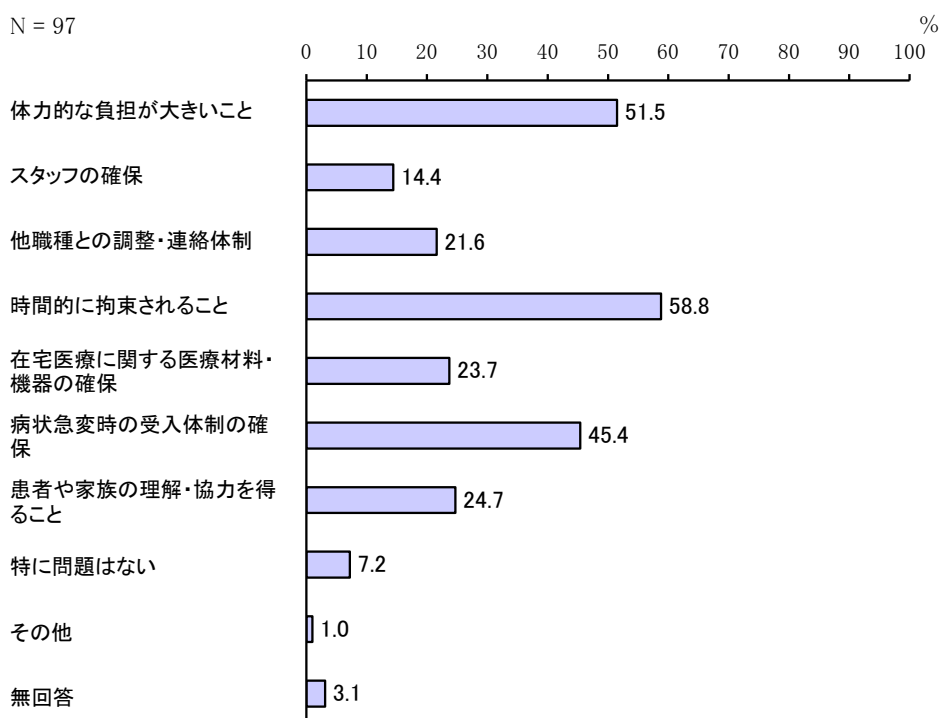
【参加していない理由について】

「会議の参加依頼がない」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「会議に参加したいが、都合がつかない」の割合が 20.9%となっています。



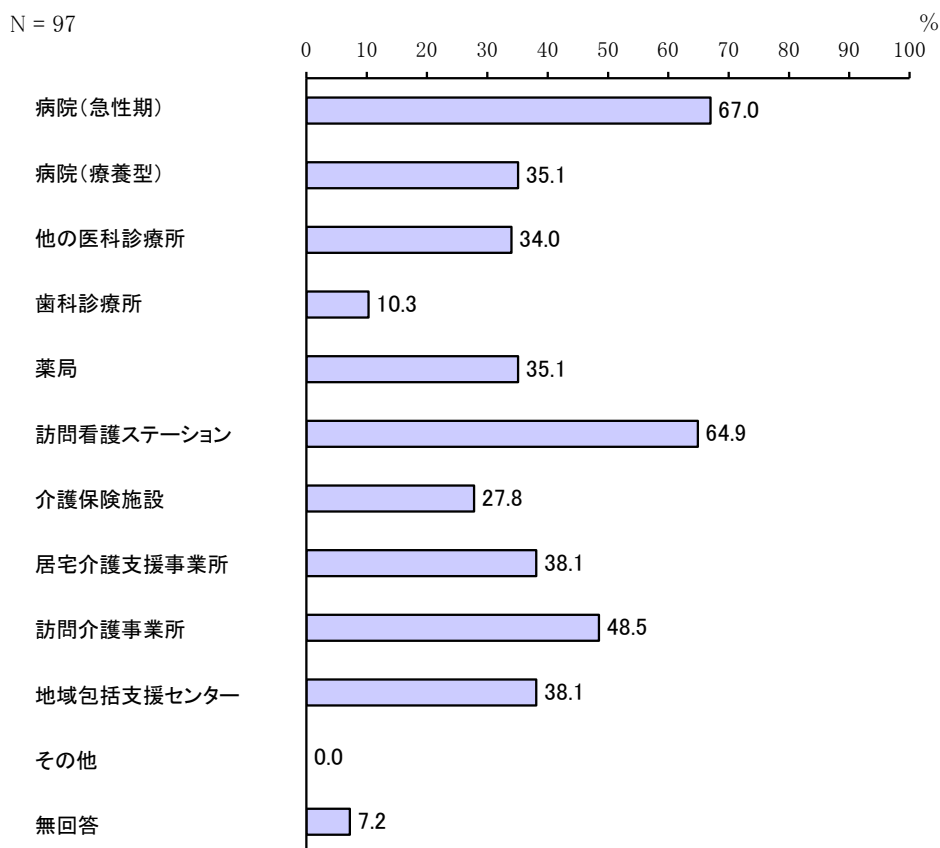
問 4-5 在宅医療を実施していて、どのようなことに苦労していますか。（あてはまるものすべてに○）

「時間的に拘束されること」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「体力的な負担が大きいこと」の割合が 51.5%、「病状急変時の受入体制の確保」の割合が 45.4%となっています。



問4-6 在宅医療を実施するにあたって、今までどの医療機関・事業所等と連携してこられましたか。(あてはまるものすべてに○)

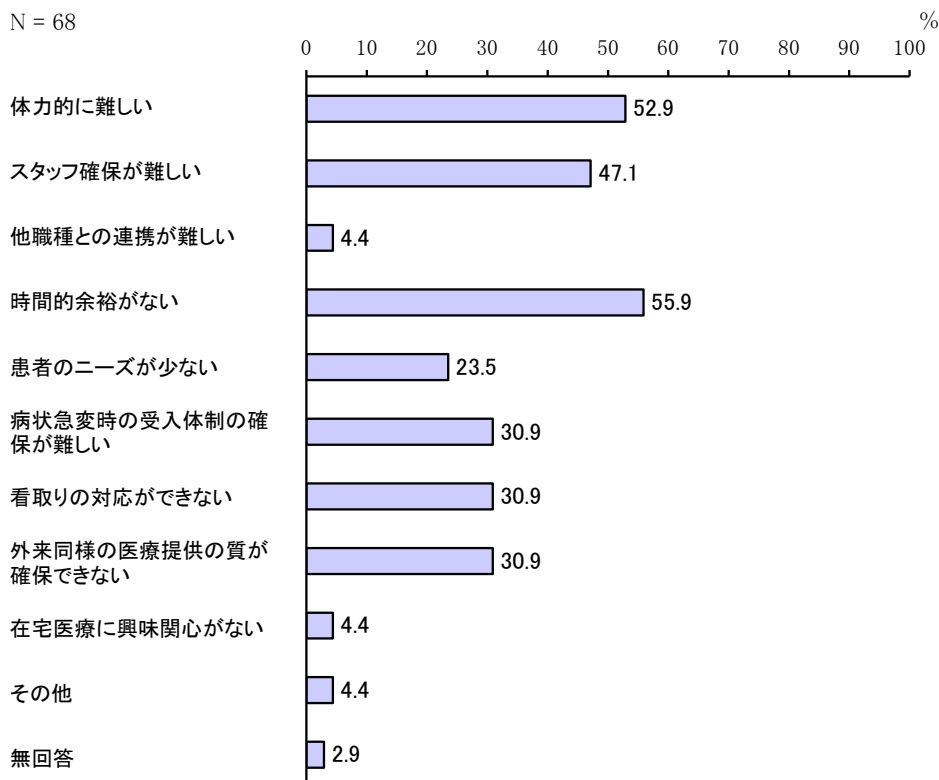
「病院(急性期)」の割合が67.0%と最も高く、次いで「訪問看護ステーション」の割合が64.9%、「訪問介護事業所」の割合が48.5%となっています。



問5 問3で「4」、「5」の選択肢を選ばれた方にお尋ねします。

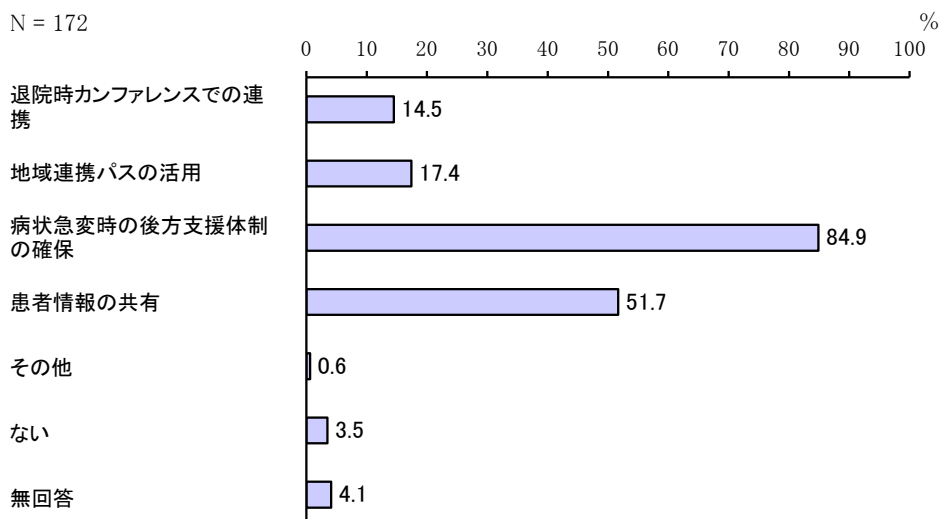
在宅医療を実施していない理由についてお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

「時間的余裕がない」の割合が55.9%と最も高く、次いで「体力的に難しい」の割合が52.9%、「スタッフ確保が難しい」の割合が47.1%となっています。



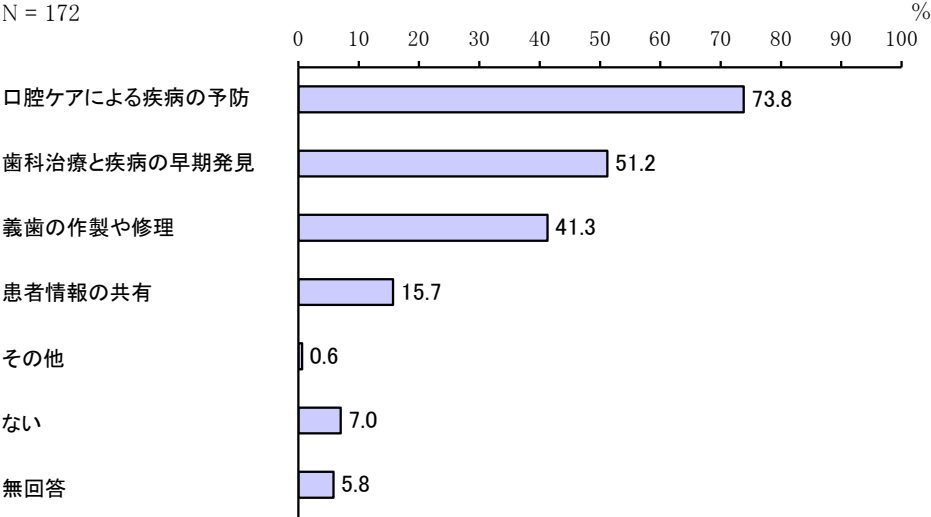
問6 在宅医療において、病院に期待する役割は何ですか。(○は3つまで可)

「病状急変時の後方支援体制の確保」の割合が84.9%と最も高く、次いで「患者情報の共有」の割合が51.7%、「地域連携パスの活用」の割合が17.4%となっています。



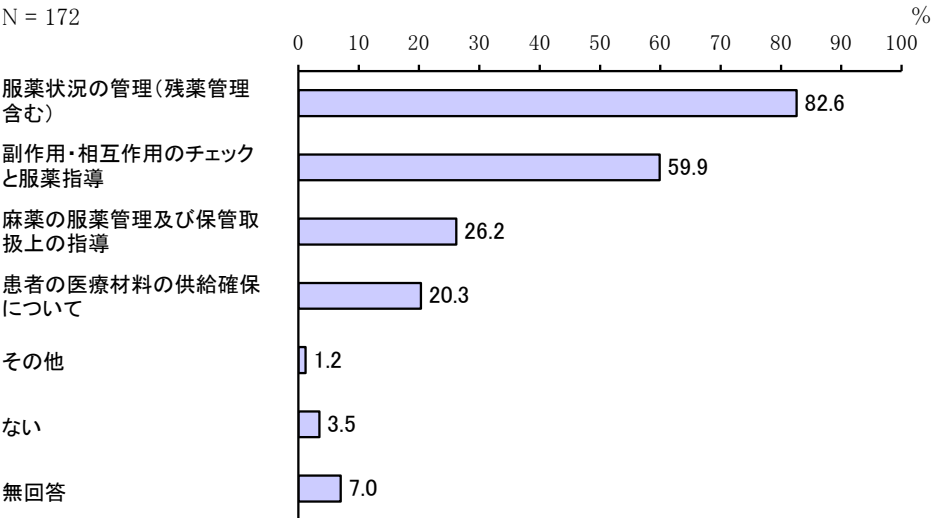
問7 在宅医療において、歯科診療所に期待する役割は何ですか。(〇は3つまで可)

「口腔ケアによる疾病の予防」の割合が73.8%と最も高く、次いで「歯科治療と疾病の早期発見」の割合が51.2%、「義歯の作製や修理」の割合が41.3%となっています。



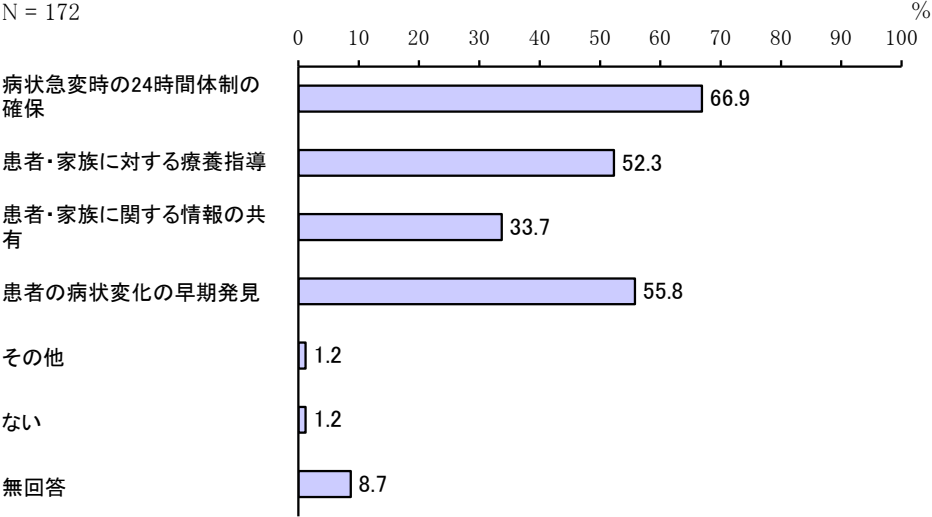
問8 在宅医療において、薬局に期待する役割は何ですか。(〇は3つまで可)

「服薬状況の管理（残薬管理含む）」の割合が82.6%と最も高く、次いで「副作用・相互作用のチェックと服薬指導」の割合が59.9%、「麻薬の服薬管理及び保管取扱上の指導」の割合が26.2%となっています。



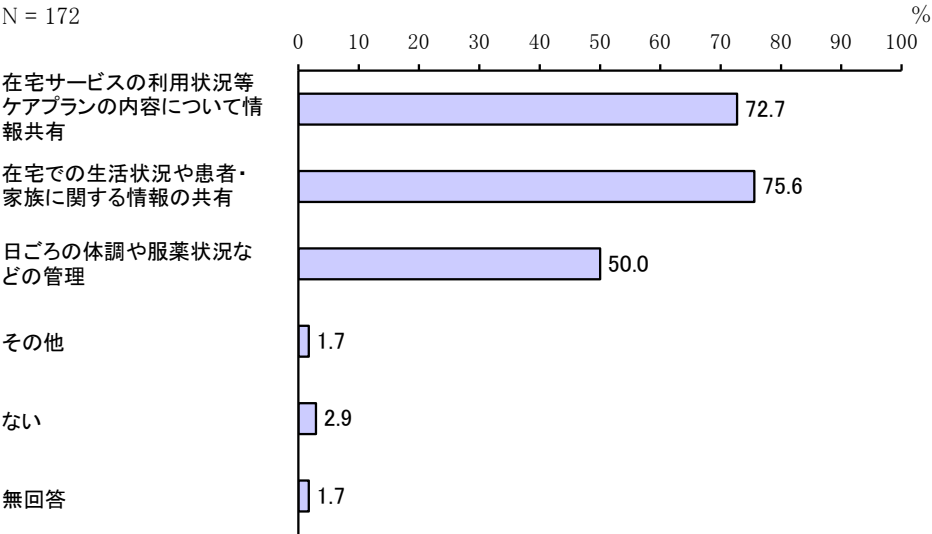
問 9 在宅医療において、訪問看護ステーションに期待する役割は何ですか。
 (○は3つまで可)

「病状急変時の24時間体制の確保」の割合が66.9%と最も高く、次いで「患者の病状変化の早期発見」の割合が55.8%、「患者・家族に対する療養指導」の割合が52.3%となっています。



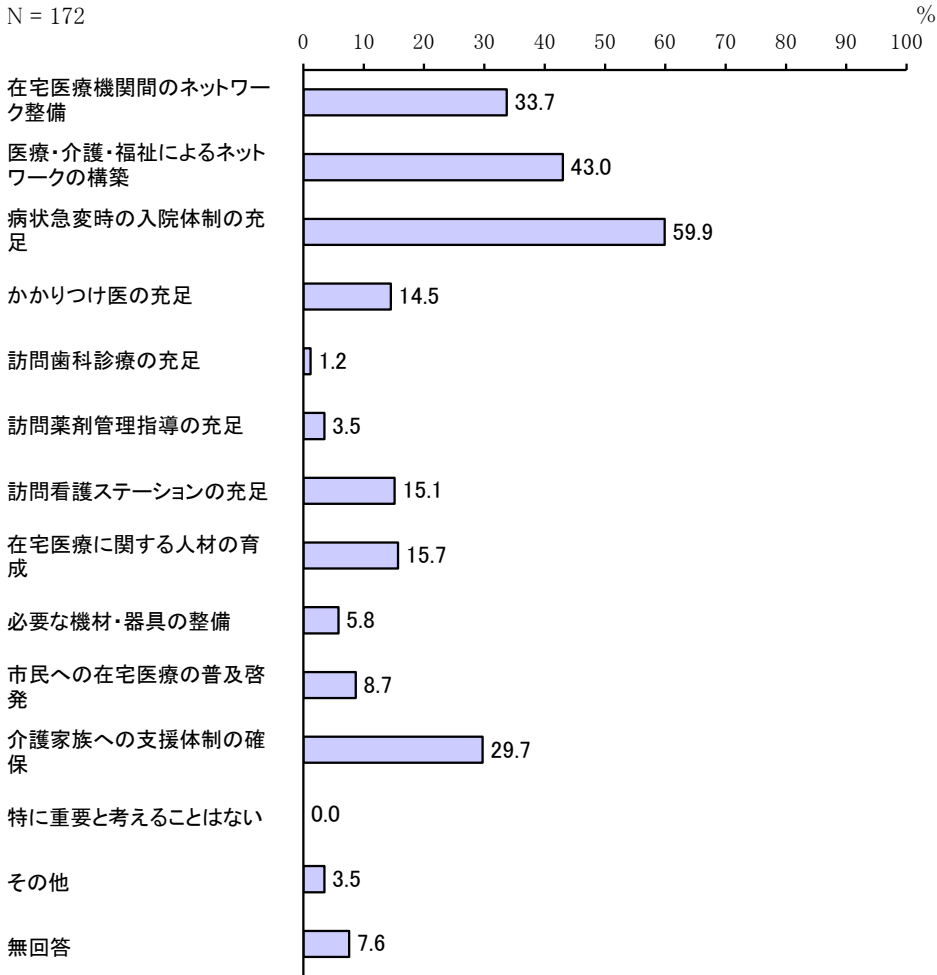
問 10 在宅医療において、介護支援専門員（ケアマネジャー）に期待する役割は何ですか。
 (○は3つまで可)

「在宅での生活状況や患者・家族に関する情報の共有」の割合が75.6%と最も高く、次いで「在宅サービスの利用状況等ケアプランの内容について情報共有」の割合が72.7%、「日ごろの体調や服薬状況などの管理」の割合が50.0%となっています。



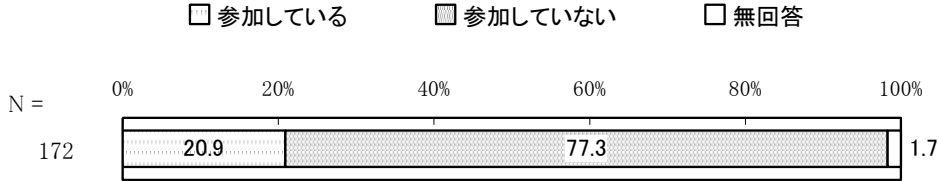
問 11 今後、在宅医療を推進していくうえで、重要と考えることは何ですか。(〇は3つまで可)

「病状急変時の入院体制の充足」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「医療・介護・福祉によるネットワークの構築」の割合が 43.0%、「在宅医療機関間のネットワーク整備」の割合が 33.7%となっています。



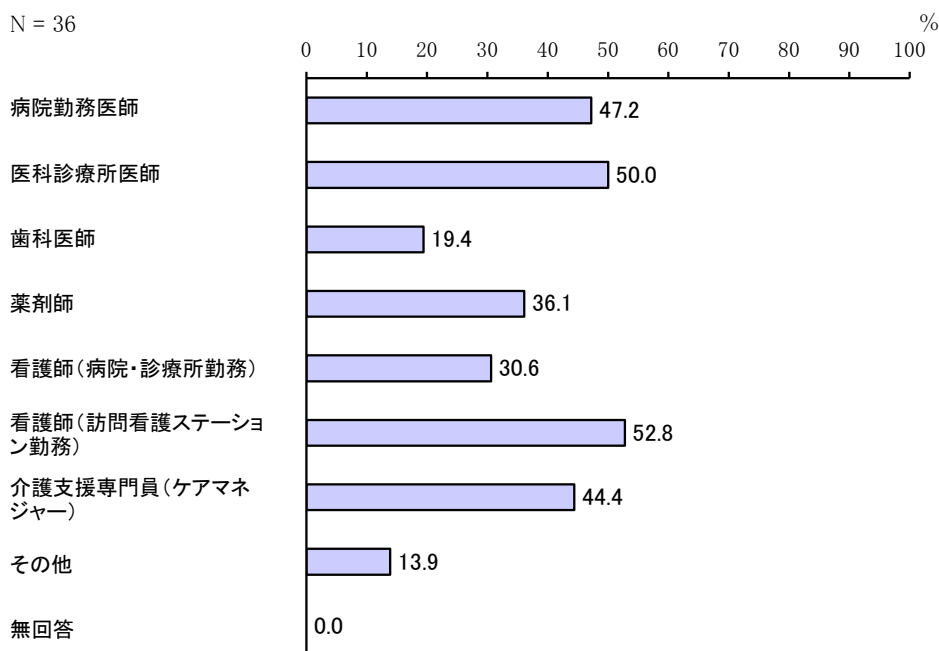
問 12 他職種が定期的に、情報交換や事例検討をする場に参加していますか。

「参加している」の割合が 20.9%、「参加していない」の割合が 77.3%となっています。



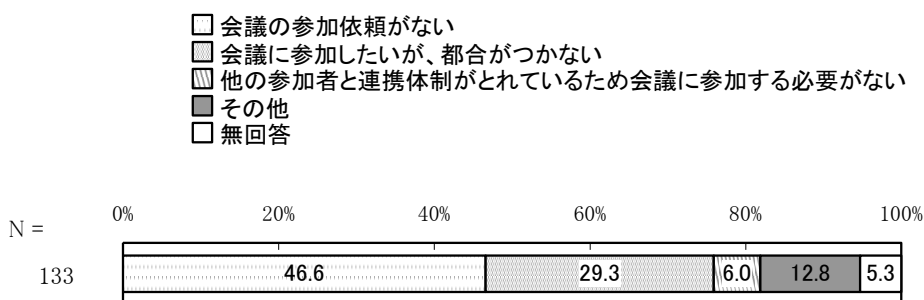
【他職種の参加者について、次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

「看護師（訪問看護ステーション勤務）」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「医科診療所医師」の割合が 50.0%、「病院勤務医師」の割合が 47.2%となっています。



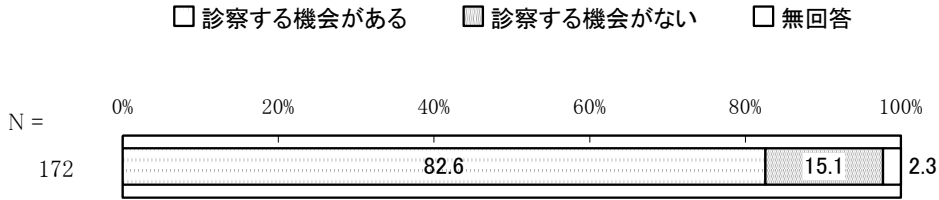
【参加していない理由について選択肢の中からあてはまるもの1つに○をつけてください】

「会議の参加依頼がない」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「会議に参加したいが、都合がつかない」の割合が 29.3%となっています。



問 13 日常診療（在宅に限らず）で、障害のある人の診療をすることはありますか。

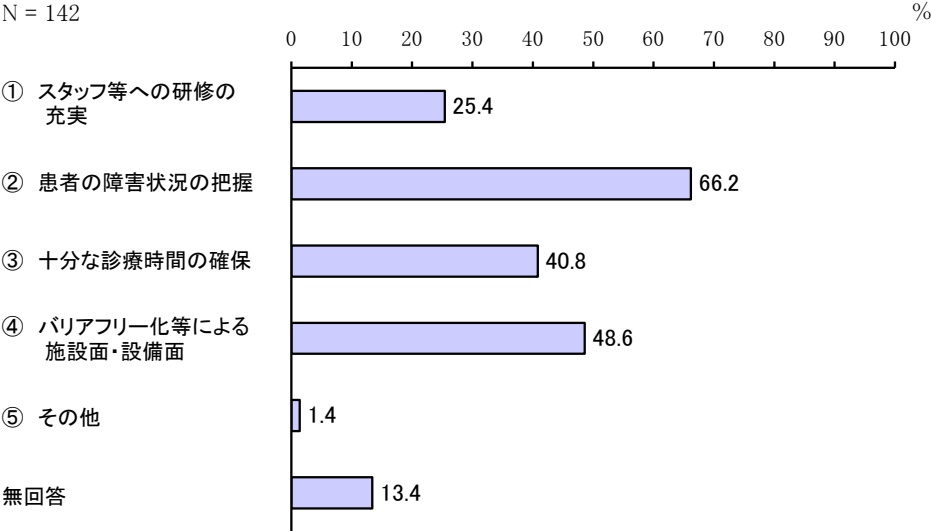
「診察する機会がある」の割合が 82.6%、「診察する機会がない」の割合が 15.1%となっています。



【診療の際に配慮していることについて、患者の障害種別ごとに、あてはまるものすべてに○をつけてください】

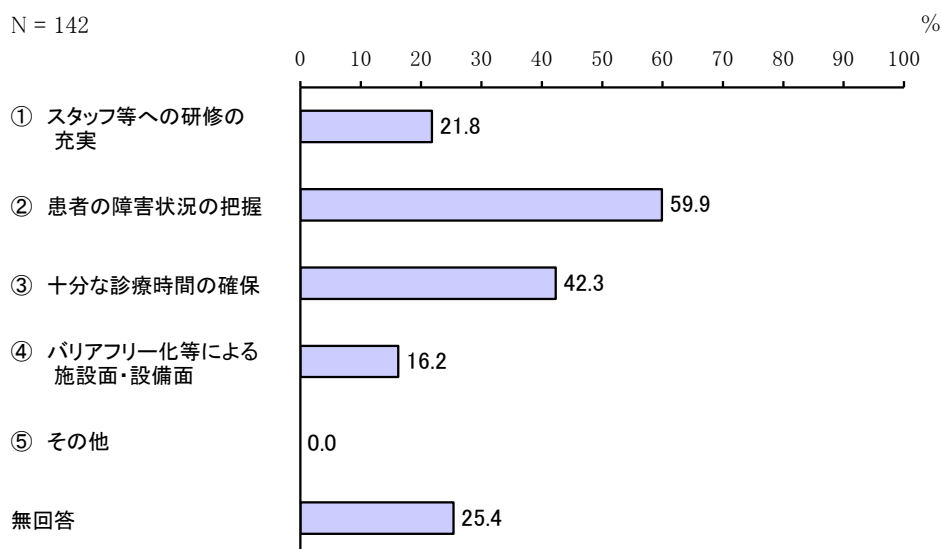
① 身体障害

「②患者の障害状況の把握」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「④バリアフリー化等による施設面・設備面」の割合が 48.6%、「③十分な診療時間の確保」の割合が 40.8%となっています。



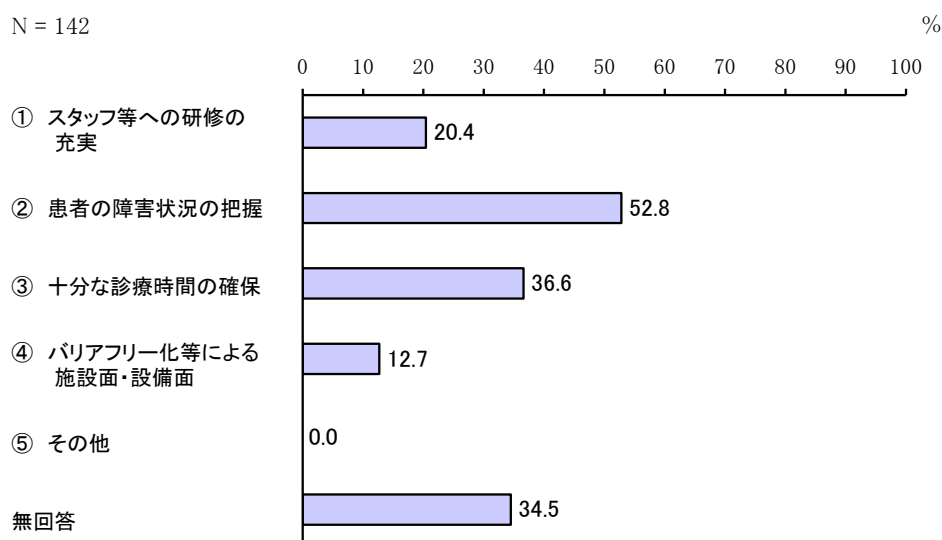
② 知的障害

「②患者の障害状況の把握」の割合が59.9%と最も高く、次いで「③十分な診療時間の確保」の割合が42.3%、「①スタッフ等への研修の充実」の割合が21.8%となっています。



③ 精神障害

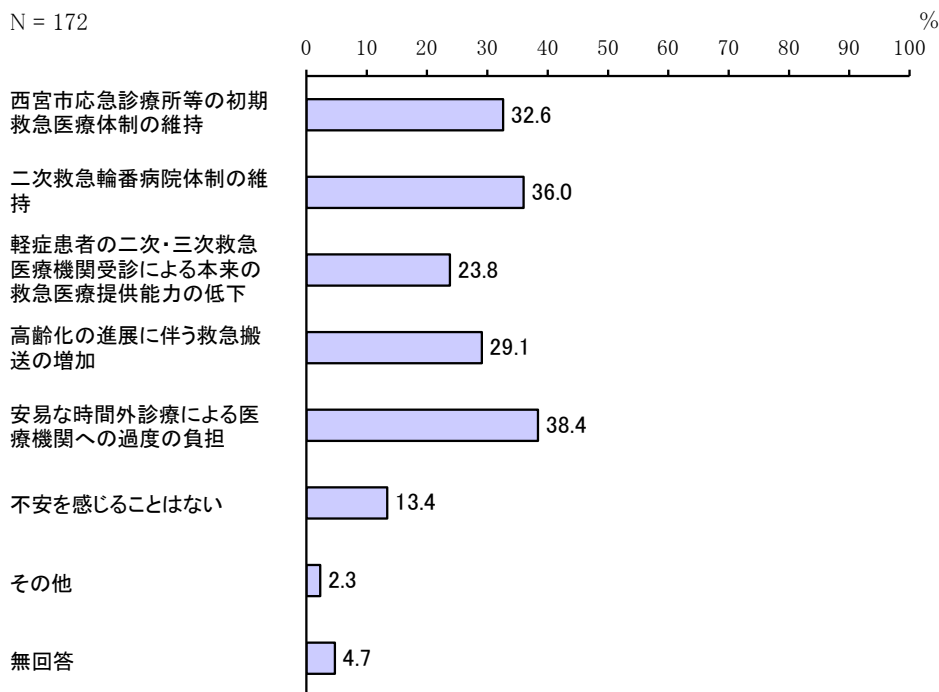
「②患者の障害状況の把握」の割合が52.8%と最も高く、次いで「③十分な診療時間の確保」の割合が36.6%、「①スタッフ等への研修の充実」の割合が20.4%となっています。



(3) 救急医療について

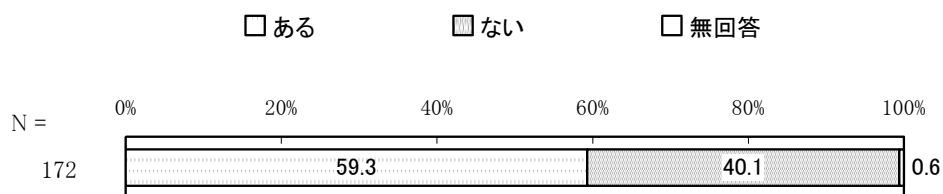
問 15 西宮市における休日夜間の救急医療体制について、不安を感じる点はありませんか。
(○は3つまで可)

「安易な時間外診療による医療機関への過度の負担」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「二次救急輪番病院体制の維持」の割合が 36.0%、「西宮市応急診療所等の初期救急医療体制の維持」の割合が 32.6%となっています。



問 16 貴診療所の診療時間外に救急患者の来院や電話での相談などがありますか。

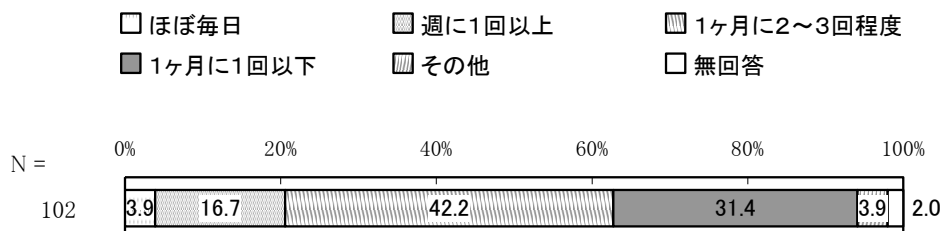
「ある」の割合が 59.3%、「ない」の割合が 40.1%となっています。



問 17 問 16 で「1」の選択肢を選ばれた方にお尋ねします。

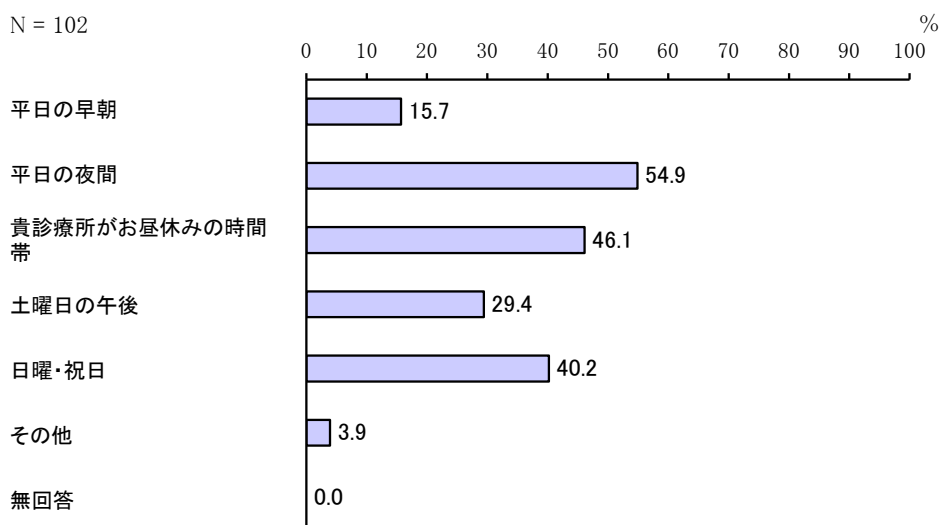
問 17-1 どのくらいの頻度でありますか。

「1ヶ月に2～3回程度」の割合が42.2%と最も高く、次いで「1ヶ月に1回以下」の割合が31.4%、「週に1回以上」の割合が16.7%となっています。



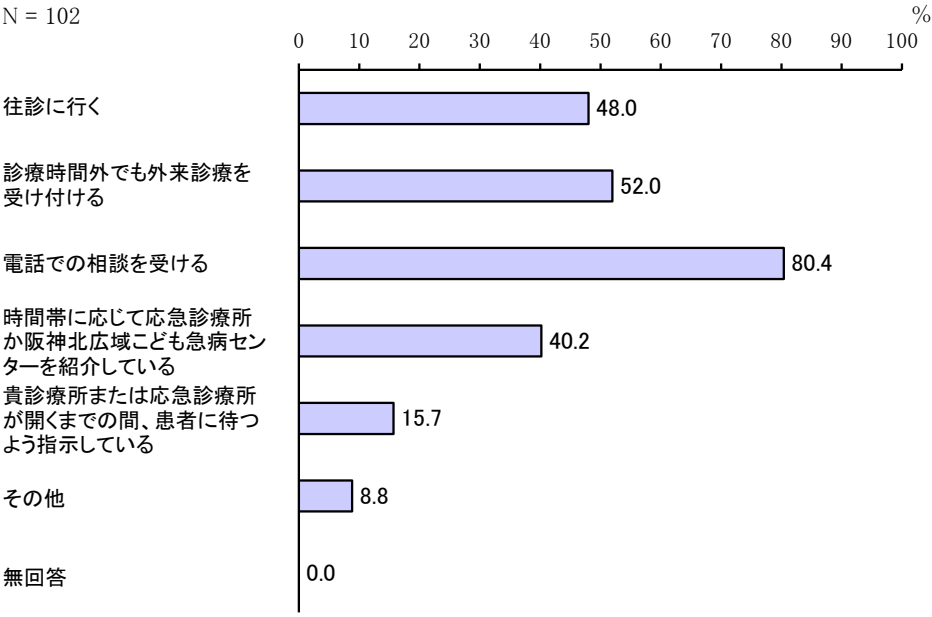
問 17-2 緊急の来院や電話相談などがあるのはいつ頃が多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

「平日の夜間」の割合が54.9%と最も高く、次いで「貴診療所がお昼休みの時間帯」の割合が46.1%、「日曜・祝日」の割合が40.2%となっています。



問 17-3 緊急時にどのような対応をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

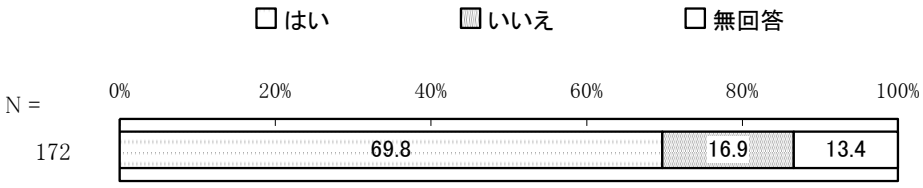
「電話での相談を受ける」の割合が 80.4%と最も高く、次いで「診療時間外でも外来診療を受け付ける」の割合が 52.0%、「往診に行く」の割合が 48.0%となっています。



(4) 精神科医療について

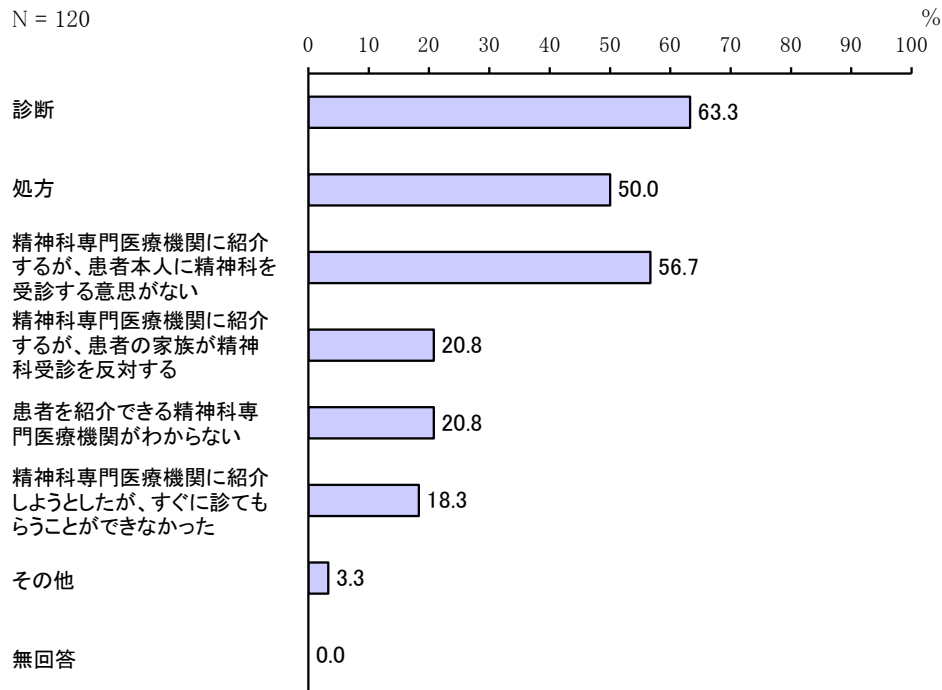
問 18 日常診療のなかで、精神疾患（認知症を除く）が疑われる患者への対応について、難しさや不安を感じられたことはありますか。

「はい」の割合が 69.8%、「いいえ」の割合が 16.9%となっています。



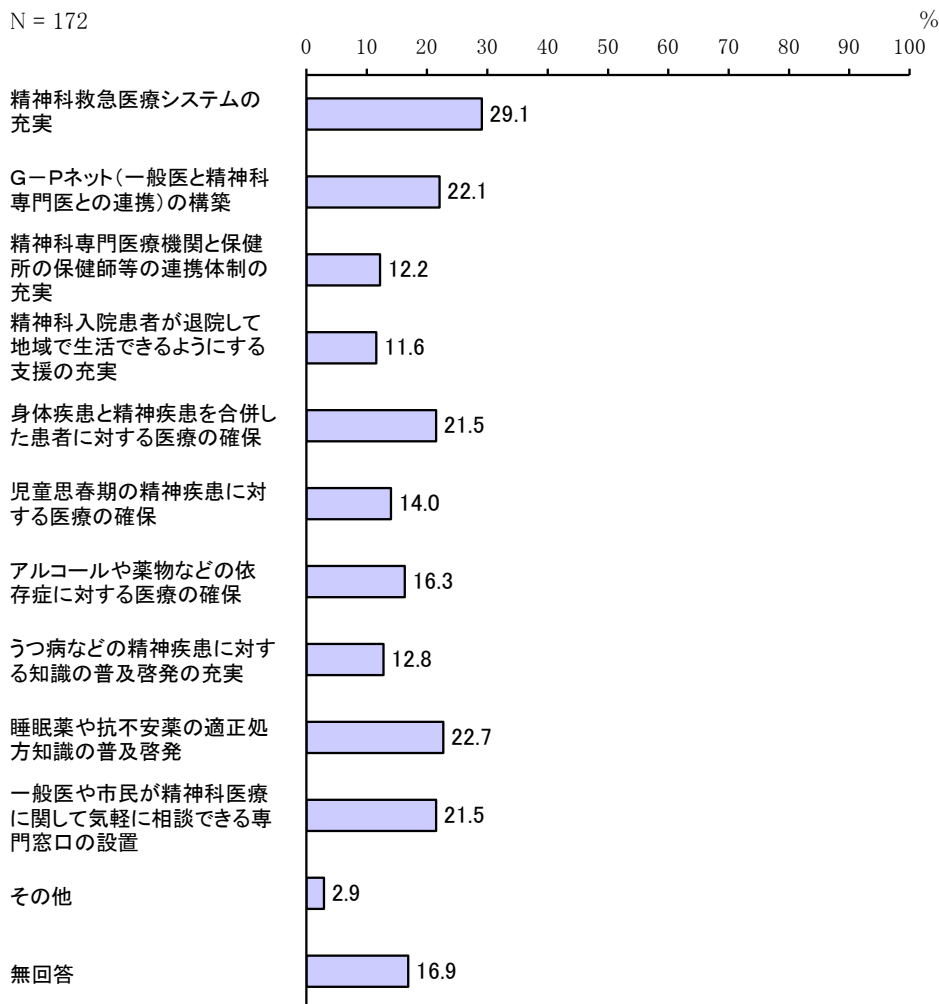
【どのような点で難しさや不安を感じられましたか。(あてはまるものすべてに○)】

「診断」の割合が63.3%と最も高く、次いで「精神科専門医療機関に紹介するが、患者本人に精神科を受診する意思がない」の割合が56.7%、「処方」の割合が50.0%となっています。



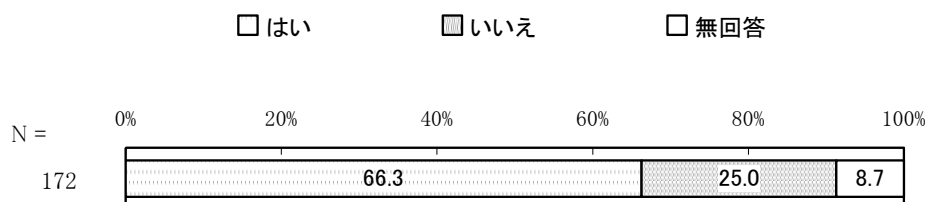
問 19 精神科医療をすすめるうえで、必要と感じていることは何ですか。
(○は3つまで可)

「精神科救急医療システムの充実」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「睡眠薬や抗不安薬の適正処方知識の普及啓発」の割合が 22.7%、「G-P ネット（一般医と精神科専門医との連携）の構築」の割合が 22.1%となっています。



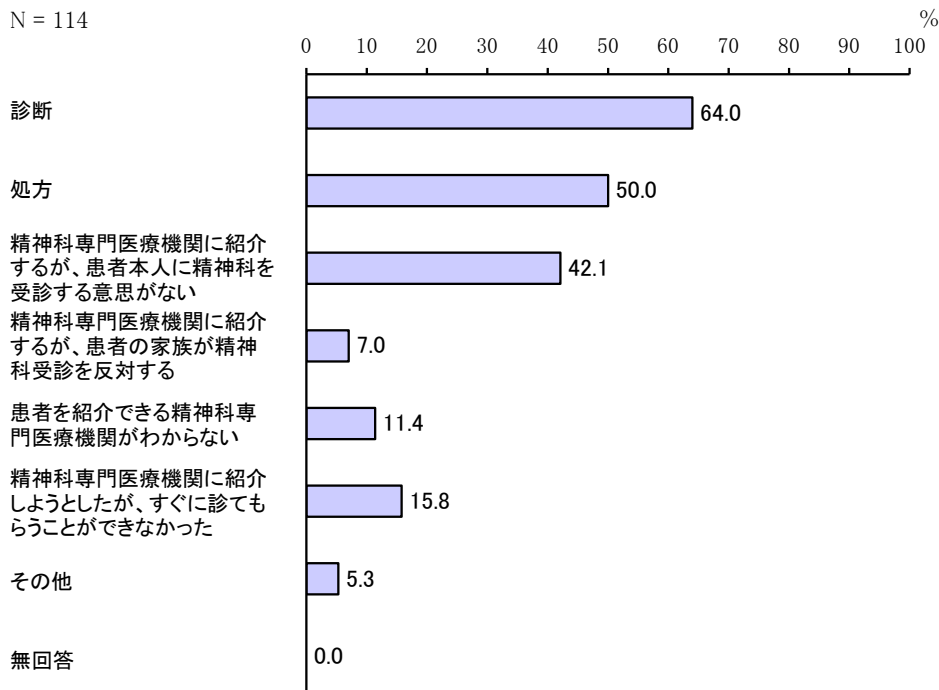
問 20 日常診療のなかで、認知症が疑われる患者への対応について、難しさや不安を感じられたことはありますか。

「はい」の割合が 66.3%、「いいえ」の割合が 25.0%となっています。



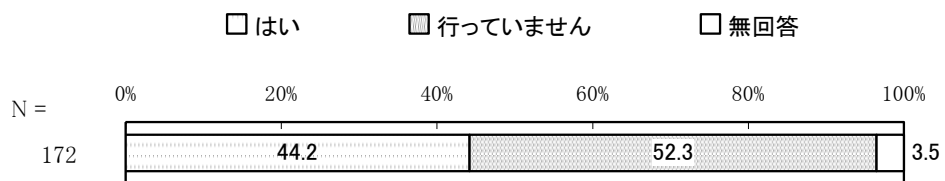
【どのような点で難しさや不安を感じられましたか。(あてはまるものすべてに○)】

「診断」の割合が64.0%と最も高く、次いで「処方」の割合が50.0%、「精神科専門医療機関に紹介するが、患者本人に精神科を受診する意思がない」の割合が42.1%となっています。



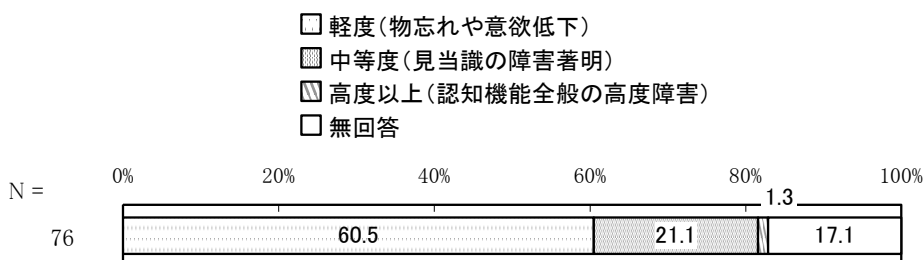
問 21 貴診療所では認知症の診断・治療を実施していますか。

「はい」の割合が44.2%、「行っていません」の割合が52.3%となっています。



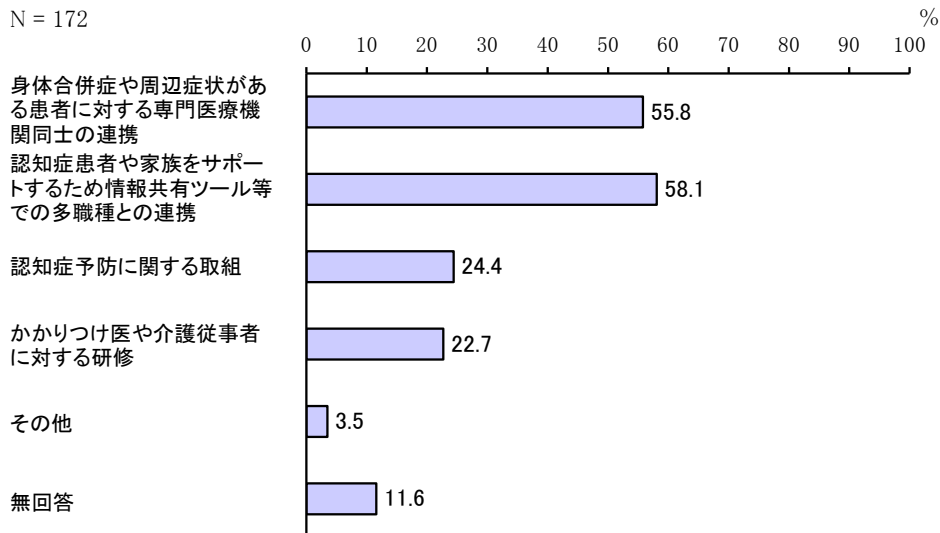
【認知症の診断・治療を受ける患者の、初診時の平均的な症状について○をつけてください。】

「軽度 (物忘れや意欲低下)」の割合が60.5%と最も高く、次いで「中等度 (見当識の障害著明)」の割合が21.1%となっています。



問 22 認知症対策をしていくうえで、必要と感じていることは何ですか。
(○は3つまで可)

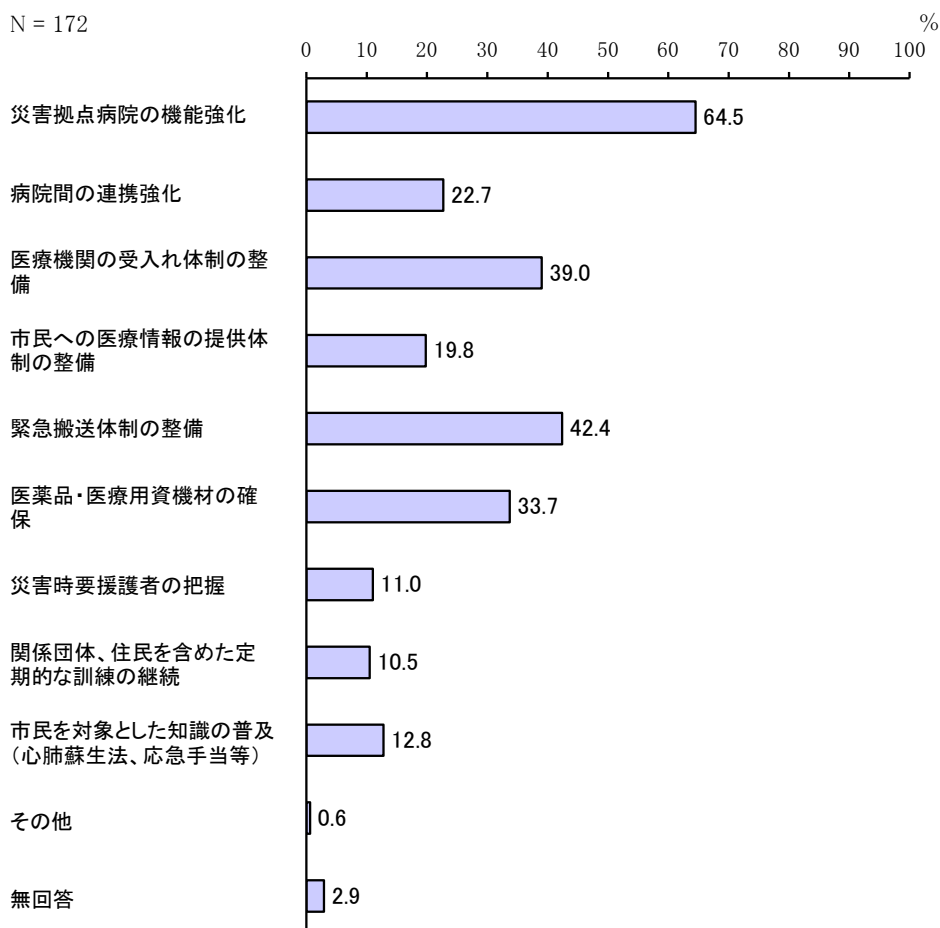
「認知症患者や家族をサポートするため情報共有ツール等での多職種との連携」の割合が58.1%と最も高く、次いで「身体合併症や周辺症状がある患者に対する専門医療機関同士の連携」の割合が55.8%、「認知症予防に関する取組」の割合が24.4%となっています。



(5) 災害医療について

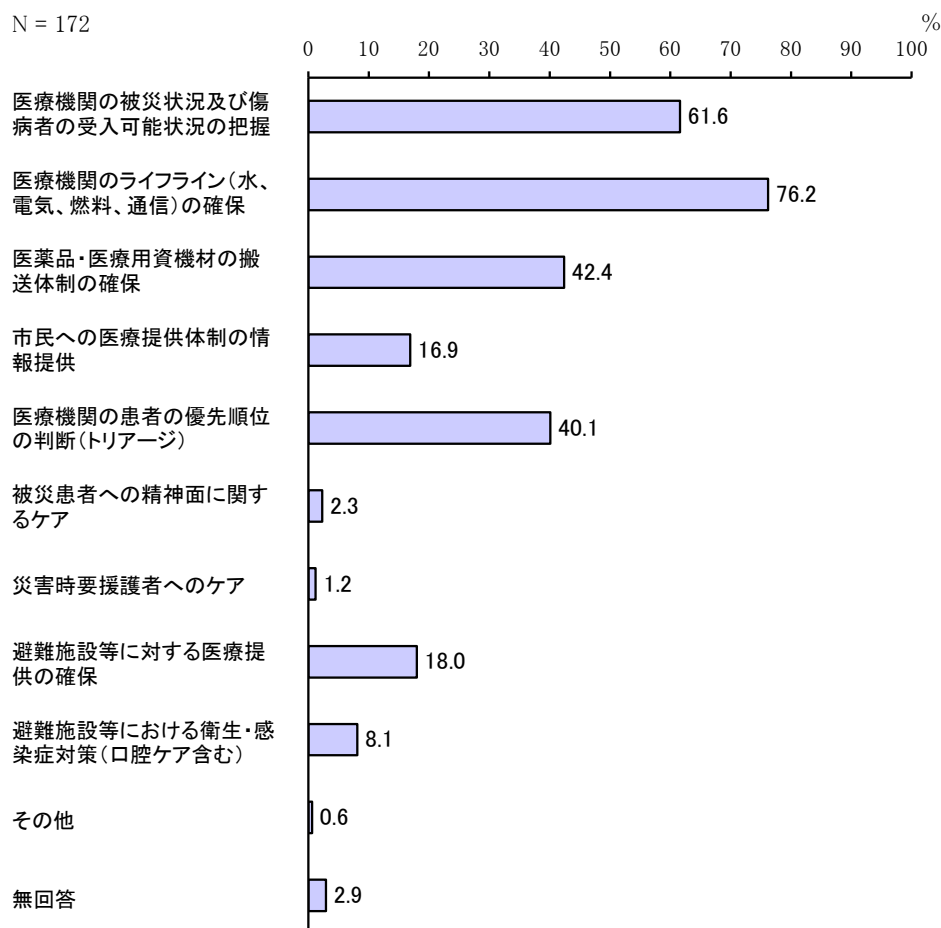
問 23 災害に備えた医療対策として、優先すべきと思われることを選んでください。
(○は3つまで可)

「災害拠点病院の機能強化」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「緊急搬送体制の整備」の割合が 42.4%、「医療機関の受入れ体制の整備」の割合が 39.0%となっています。



問 24 災害発生時の医療として、優先すべきと思われることを選んでください。
 (〇は3つまで可)

「医療機関のライフライン（水、電気、燃料、通信）の確保」の割合が 76.2%と最も高く、次いで「医療機関の被災状況及び傷病者の受入可能状況の把握」の割合が 61.6%、「医薬品・医療用資機材の搬送体制の確保」の割合が 42.4%となっています。

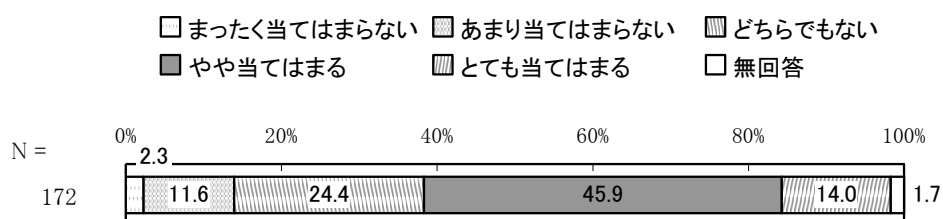


(6) 西宮市における医療提供体制について

問 25 西宮市における医療提供体制に対するあなたの評価について当てはまると思う数字を1つずつ選んで○で囲んでください。

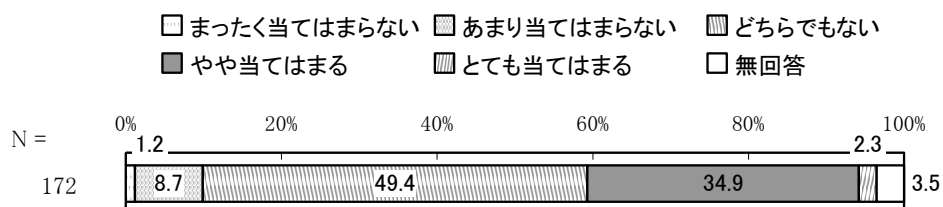
(1) 救急医療が充実している

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が 59.9%、「どちらでもない」の割合が 24.4%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が 13.9%となっています。



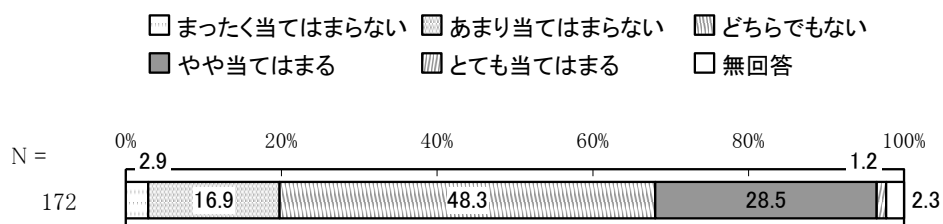
(2) 在宅医療が充実している

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が 37.2%、「どちらでもない」の割合が 49.4%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が 9.9%となっています。



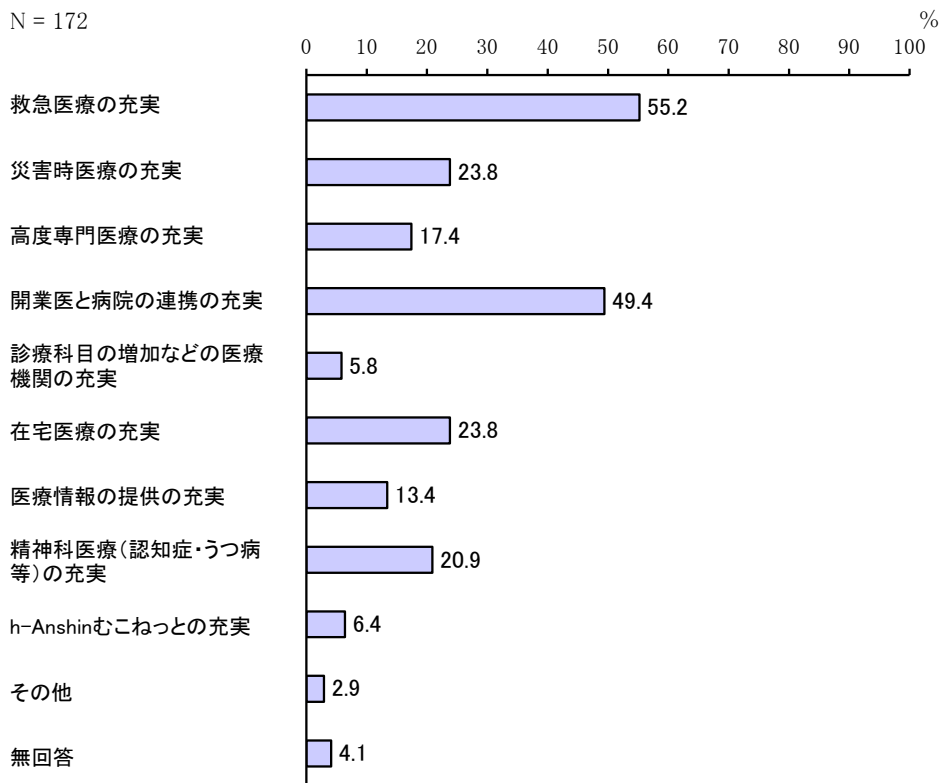
(3) 医療（医療機関のかかりかた、救急医療の利用、看取り等）に対する情報が十分提供されている

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が 29.7%、「どちらでもない」の割合が 48.3%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が 19.8%となっています。



問 26 西宮市における医療提供体制で、今後、特に充実すべきものは何ですか。
 (〇は3つまで可)

「救急医療の充実」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「開業医と病院の連携の充実」の割合が 49.4%、「災害時医療の充実」、「在宅医療の充実」の割合が 23.8%となっています。

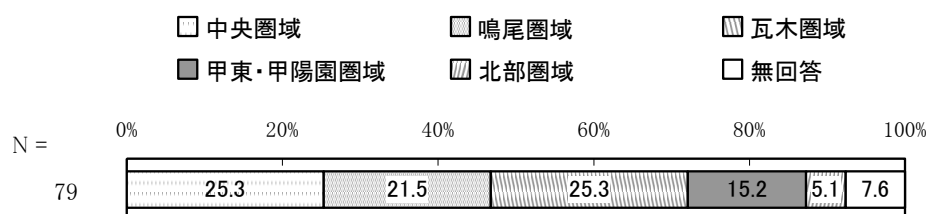


2 歯科診療所

(1) 施設のことについて

問1 貴院の所在する中学校区はどちらですか。

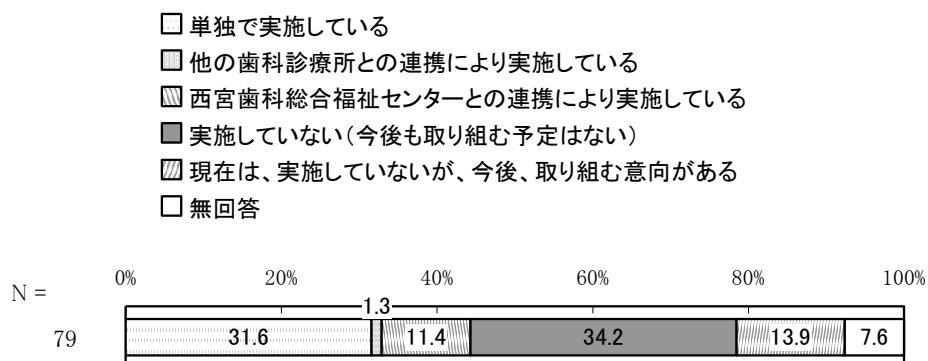
※ 中学校区の回答結果を5つの圏域で集約しています。



(2) 在宅医療について

問2 貴院では在宅歯科医療を実施していますか。

「実施していない（今後も取り組む予定はない）」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「単独で実施している」の割合が 31.6%、「現在は、実施していないが、今後、取り組む意向がある」の割合が 13.9%います。

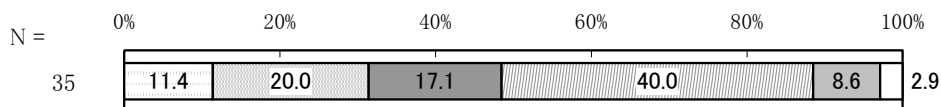


問3 問2で「1」～「3」の選択肢を選ばれた方にお尋ねします。

問3-1 貴院で実施している在宅歯科医療対応の時間帯について教えてください。

「時間帯は決めていない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「外来診療時間外のみ」の割合が20.0%、「現在は、実施していないが、今後、取り組む意向がある」の割合が13.9%となっています。

- 外来診療時間内のみ
 外来診療時間外のみ
 24時間体制
 時間帯を決めている
 時間帯は決めていない
 その他
 無回答



問3-2 貴院で在宅歯科医療を実施した患者数についてお尋ねします。現在、訪問歯科診療中のおおよその患者数をご記入ください

1. 現在、在宅歯科医療のおおよその患者数

人数	実施数	人数	実施数
1人	8	5人	3
2人	7	6人	2
3人	3	10人	3
4人	3	30人	1
		合計 (130人)	30

【訪問歯科診療を行っている場所別の患者数】

① 自宅

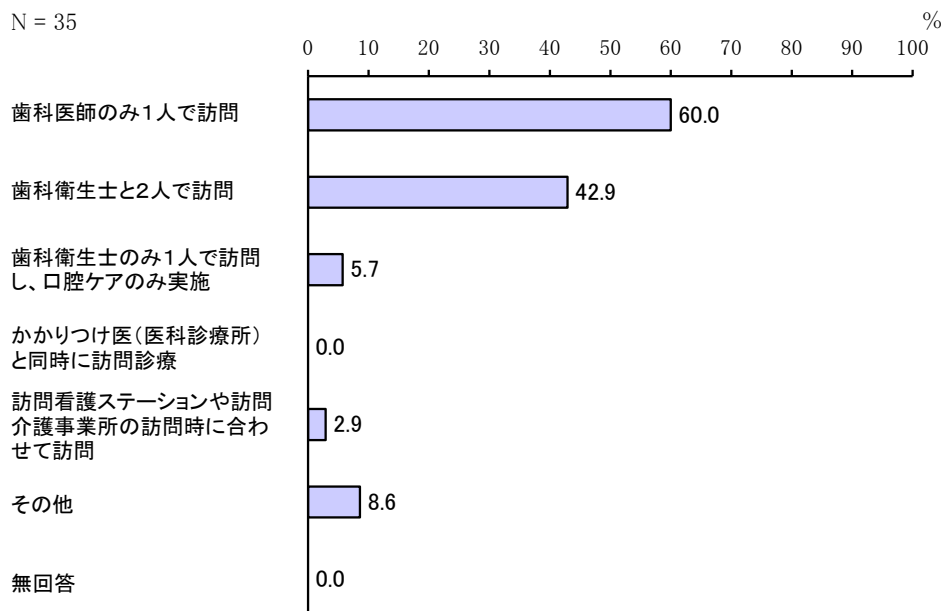
人数	実施数	人数	実施数
1人	8	5人	2
2人	5	6人	2
3人	4	8人	2
4人	2	10人	1
		合計 (80人)	26

② 施設

人数	実施数	人数	実施数
1人	6	8人	1
2人	1	20人	1
5人	1	合計 (41人)	10

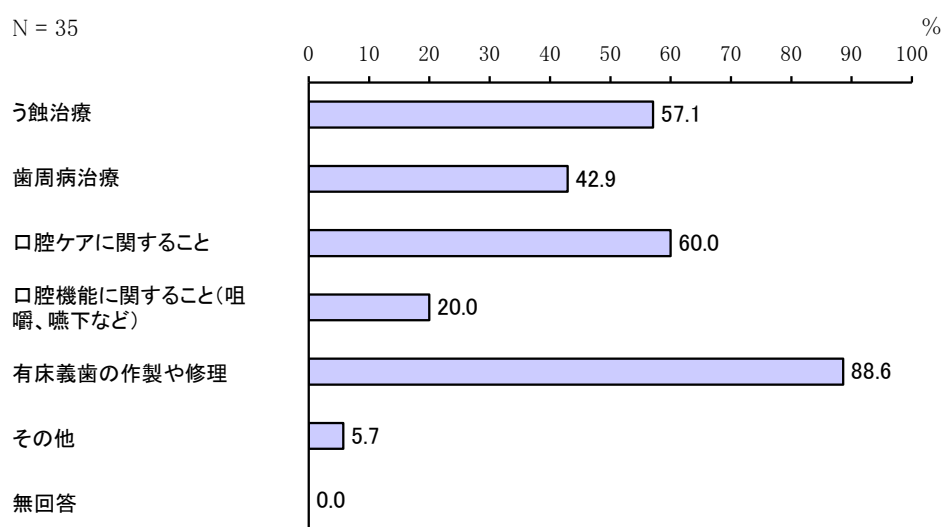
問 3-3 貴院の在宅歯科医療体制についてお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

「歯科医師のみ1人で訪問」の割合が60.0%と最も高く、次いで「歯科衛生士と2人で訪問」の割合が42.9%となっています。



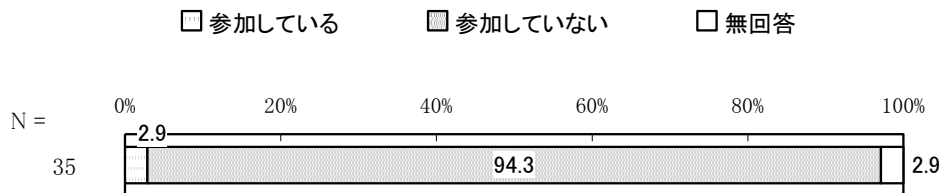
問 3-4 在宅歯科医療において実際行われている治療やケアについてお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

「有床義歯の作製や修理」の割合が88.6%と最も高く、次いで「口腔ケアに関すること」の割合が60.0%、「う蝕治療」の割合が57.1%となっています。



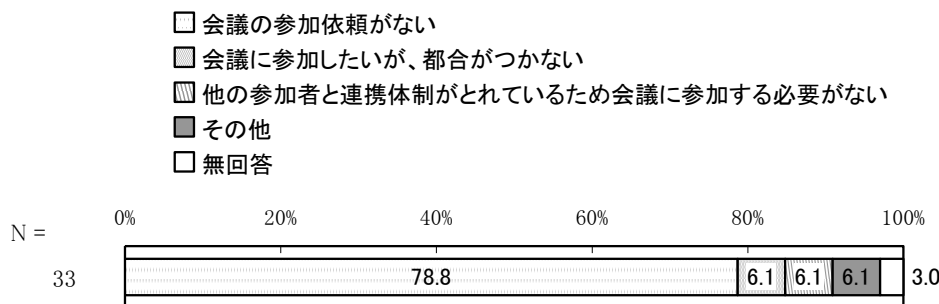
問3-5 病院からの退院患者（受け持ち患者）の退院に向けて、退院時カンファレンスに参加していますか。

「参加している」の割合が2.9%、「参加していない」の割合が94.3%となっています。



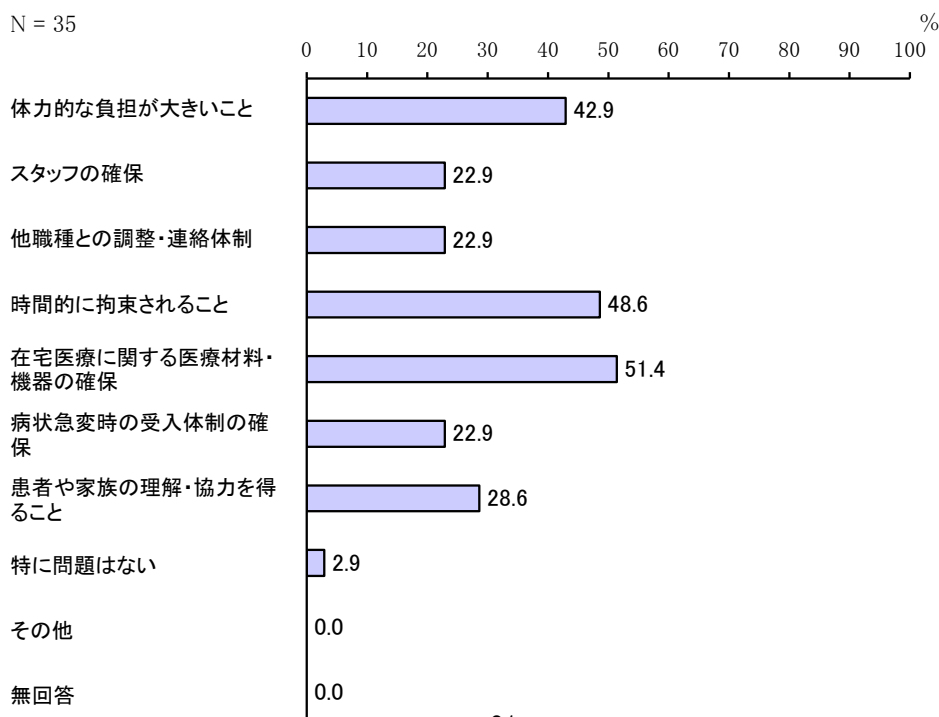
【参加していない理由について選択肢の中からあてはまるもの1つに○をつけてください】

「会議の参加依頼がない」の割合が78.8%と最も高くなっています。



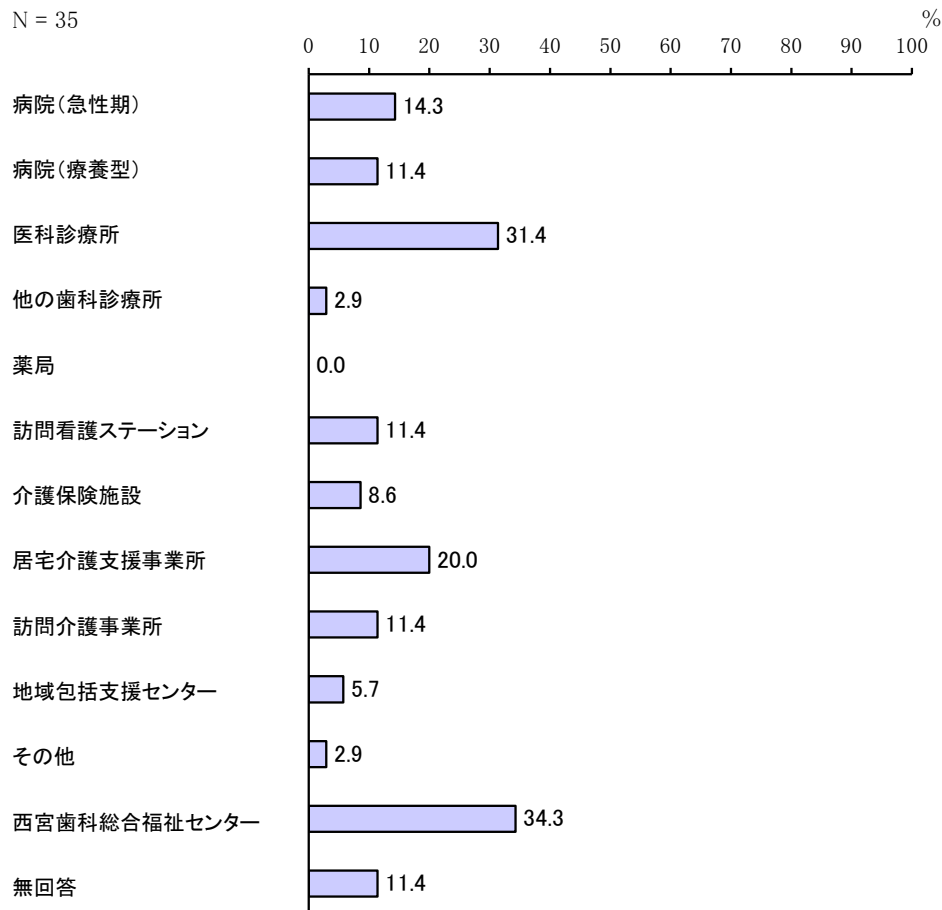
問3-6 在宅歯科医療を実施していて、どのようなことに苦労していますか。（あてはまるものすべてに○）

「在宅医療に関する医療材料・機器の確保」の割合が51.4%と最も高く、次いで「時間的に拘束されること」の割合が48.6%、「体力的な負担が大きいこと」の割合が42.9%となっています。



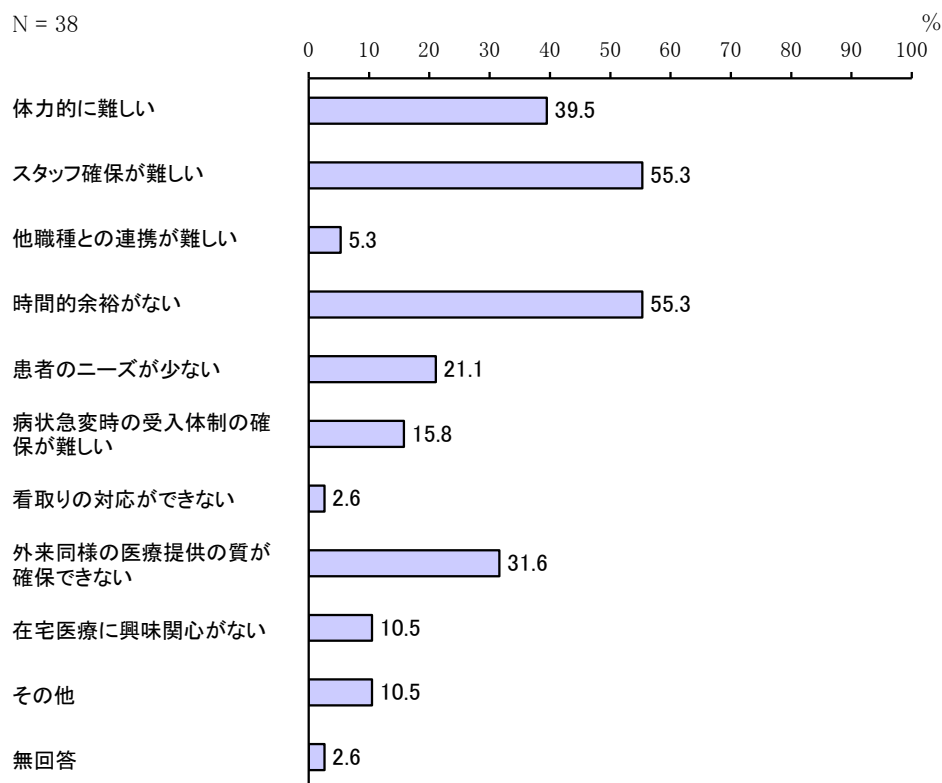
問3-7 在宅歯科医療を実施するにあたって、今までどの医療機関・事業所等と連携してこられましたか。(あてはまるものすべてに○)

「西宮歯科総合福祉センター」の割合が34.3%と最も高く、次いで「医科診療所」の割合が31.4%、「居宅介護支援事業所」の割合が20.0%となっています。



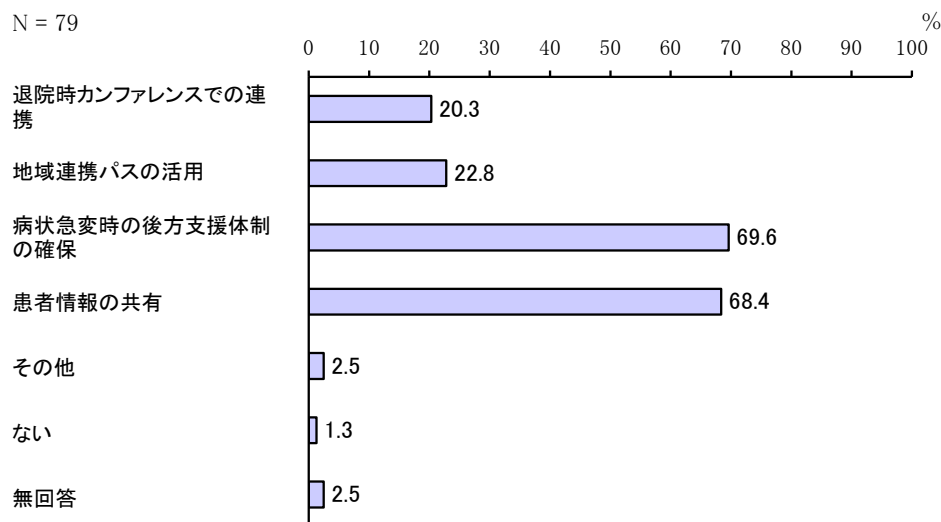
問4 問2で「4」、「5」の選択肢を選ばれた方にお尋ねします。
在宅歯科医療を実施していない理由についてお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)

「スタッフ確保が難しい」、「時間的余裕がない」の割合が55.3%と最も高く、次いで、「体力的に難しい」の割合が39.5%となっています。



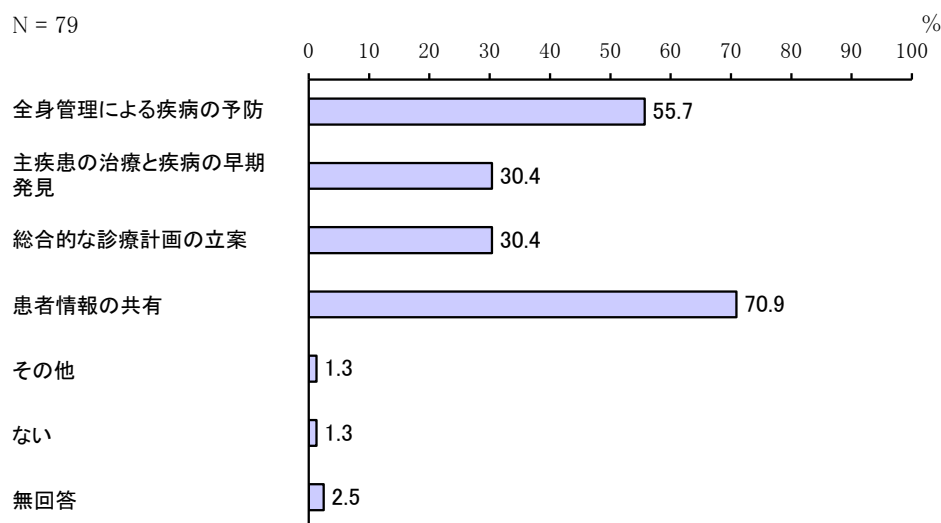
問5 在宅歯科医療において、病院に期待する役割は何ですか。(〇は3つまで可)

「病状急変時の後方支援体制の確保」の割合が69.6%と最も高く、次いで「患者情報の共有」の割合が68.4%、「地域連携パスの活用」の割合が22.8%となっています。



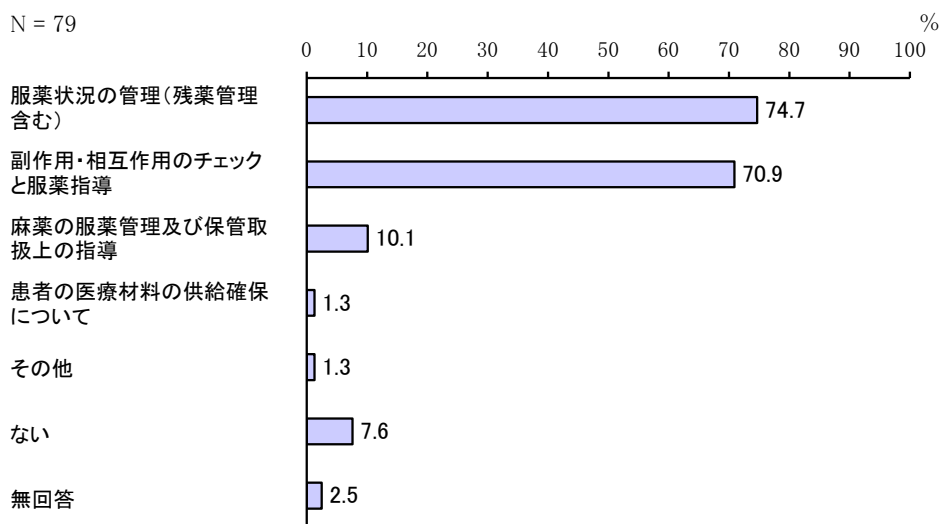
問6 在宅歯科医療において、医科診療所に期待する役割は何ですか。(〇は3つまで可)

「患者情報の共有」の割合が70.9%と最も高く、次いで「全身管理による疾病の予防」の割合が55.7%、「主疾患の治療と疾病の早期発見」、「総合的な診療計画の立案」の割合が30.4%となっています。



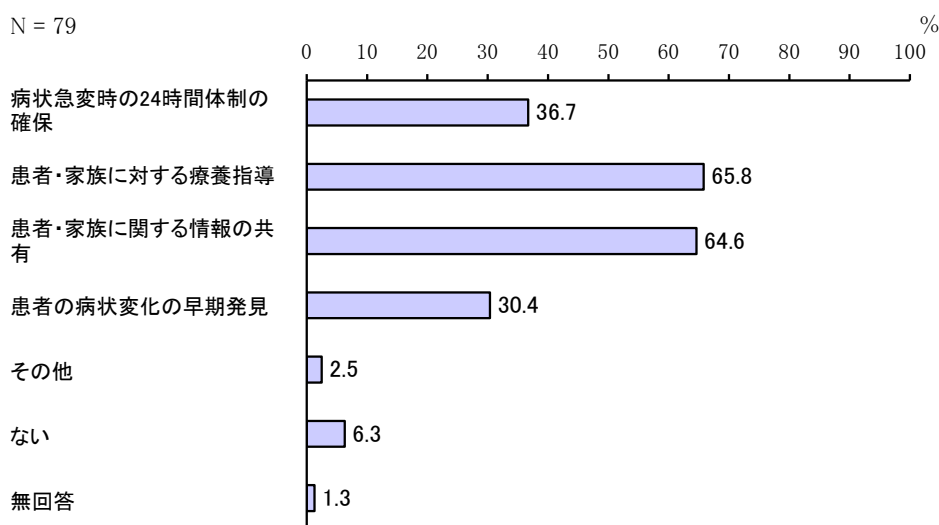
問7 在宅歯科医療において、薬局に期待する役割は何ですか。(〇は3つまで可)

「服薬状況の管理(残薬管理含む)」の割合が74.7%と最も高く、次いで「副作用・相互作用のチェックと服薬指導」の割合が70.9%、「麻薬の服薬管理及び保管取扱上の指導」の割合が10.1%となっています。



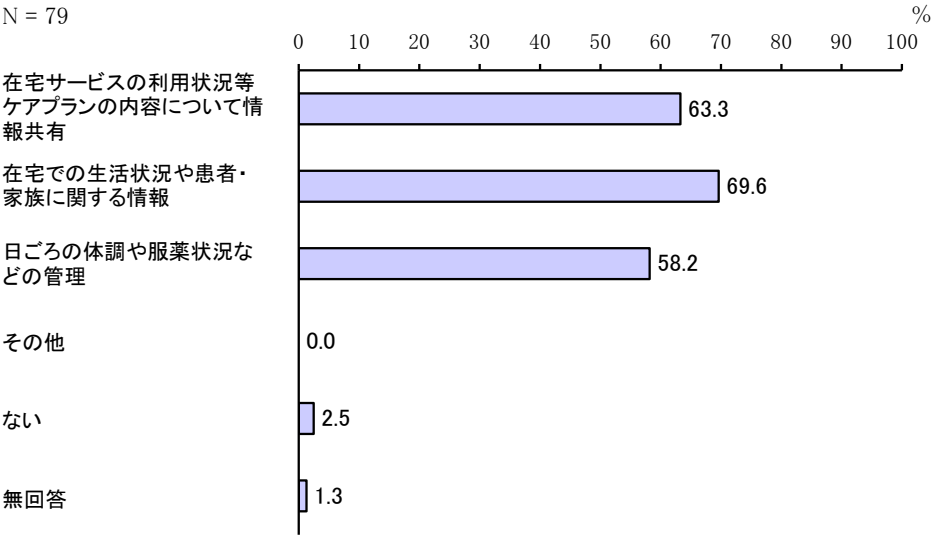
問8 在宅歯科医療において、訪問看護ステーションに期待する役割は何ですか。(〇は3つまで可)

「患者・家族に対する療養指導」の割合が65.8%と最も高く、次いで「患者・家族に関する情報の共有」の割合が64.6%、「病状急変時の24時間体制の確保」の割合が36.7%となっています。



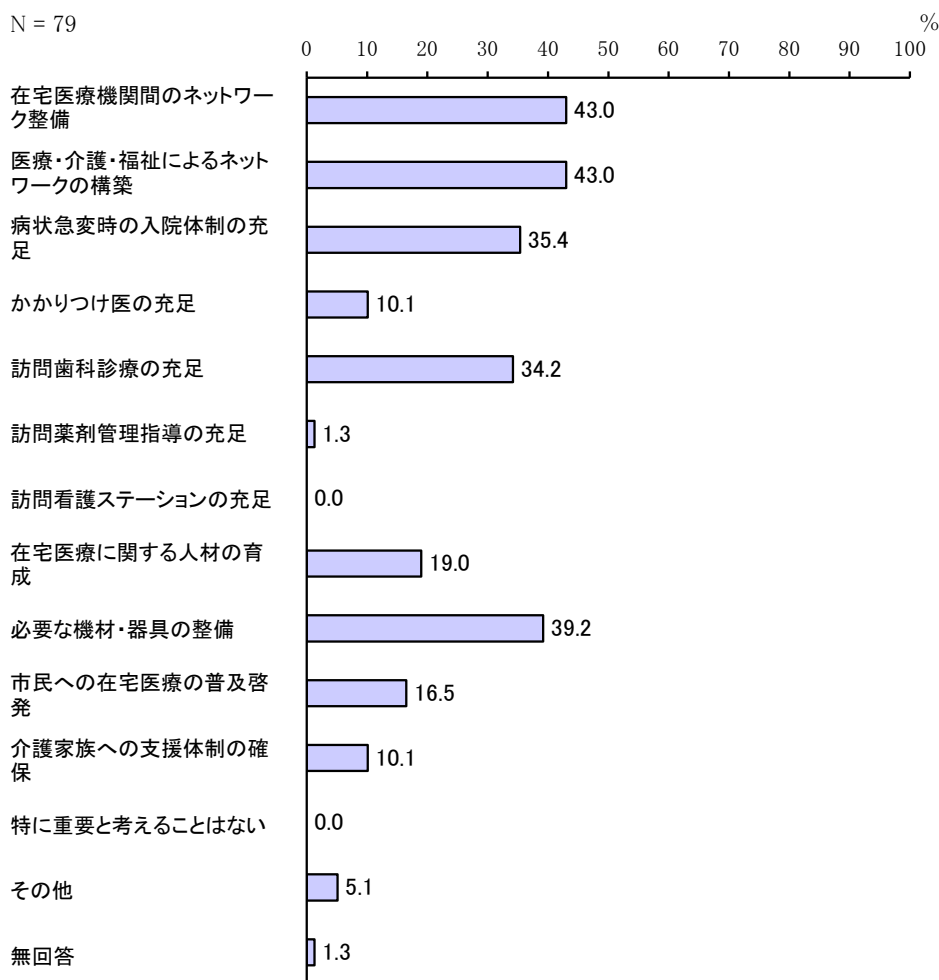
問9 在宅歯科医療において、介護支援専門員（ケアマネジャー）に期待する役割は何ですか。（〇は3つまで可）

「在宅での生活状況や患者・家族に関する情報」の割合が69.6%と最も高く、次いで「在宅サービスの利用状況等ケアプランの内容について情報共有」の割合が63.3%、「日ごろの体調や服薬状況などの管理」の割合が58.2%となっています。



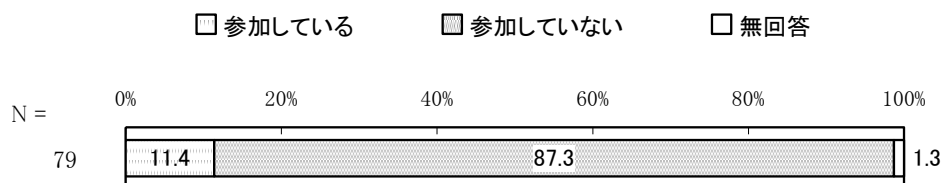
問10 今後、在宅歯科医療を推進していくうえで、重要と考えることは何ですか。
(〇は3つまで可)

「在宅医療機関間のネットワーク整備」、「医療・介護・福祉によるネットワークの構築」の割合が43.0%と最も高く、次いで、「必要な機材・器具の整備」の割合が39.2%となっています。



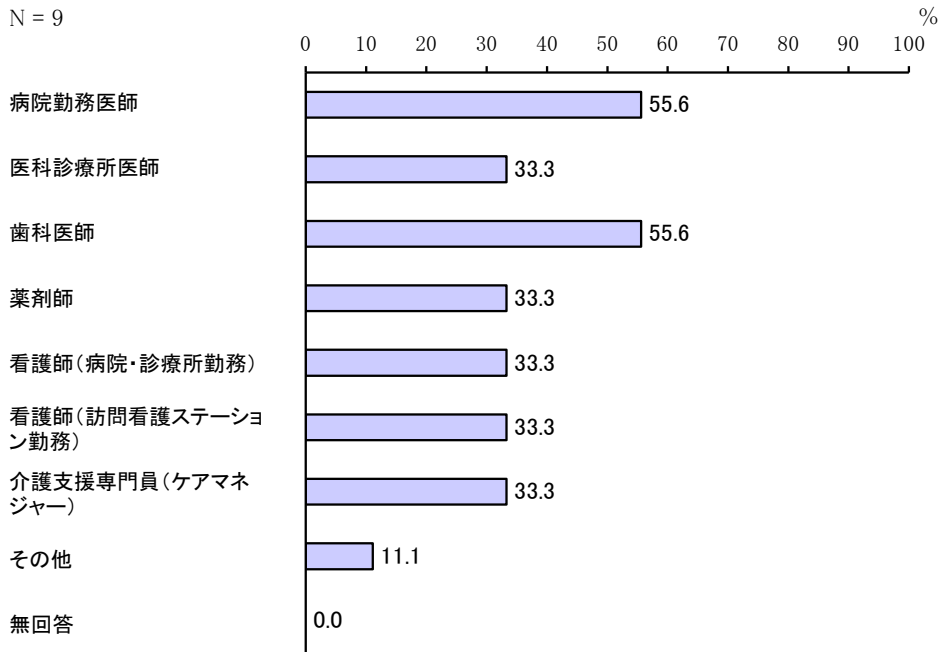
問11 他職種が定期的に、情報交換や事例検討をする場に参加していますか。

「参加している」の割合が11.4%、「参加していない」の割合が87.3%となっています。



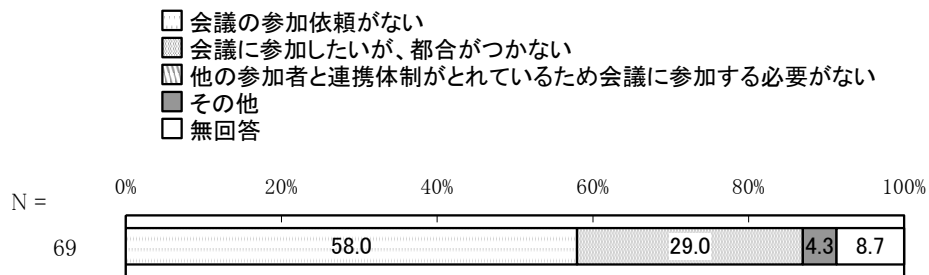
【他職種の参加者について、次の選択肢の中からあてはまるもの1つに○をつけてください】

「病院勤務医師」、「歯科医師」が5件、「医科診療所医師」、「薬剤師」、「看護師（病院・診療所勤務）」、「看護師（訪問看護ステーション勤務）」、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が3件となっています。



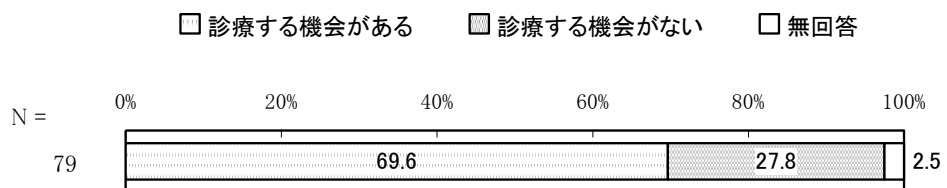
【参加していない理由について、肢の中からあてはまるもの1つに○をつけてください】

「会議の参加依頼がない」の割合が58.0%と最も高く、次いで「会議に参加したいが、都合がつかない」の割合が29.0%となっています。



問12 日常歯科診療（在宅に限らず）で、障害のある人の診療をすることはありますか。

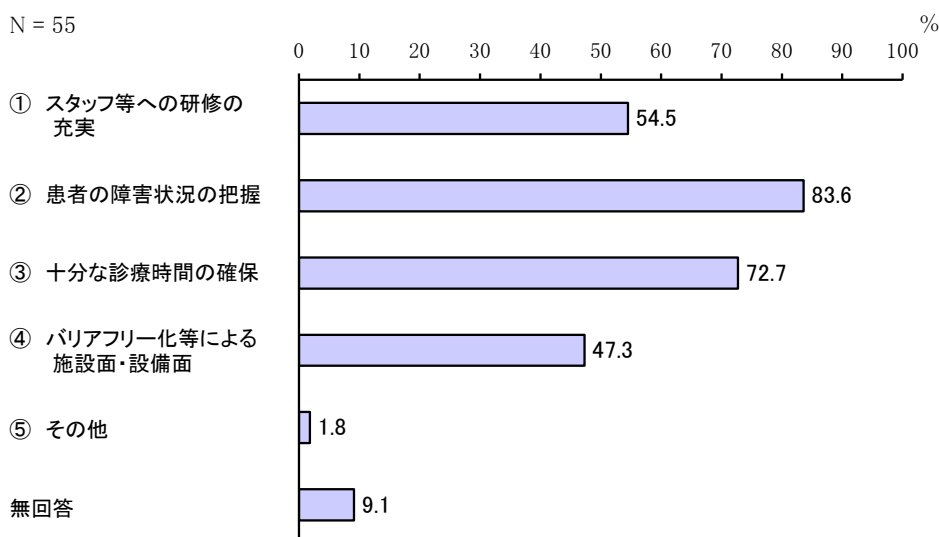
「診療する機会がある」の割合が69.6%、「診療する機会がない」の割合が27.8%となっています。



【診療の際に配慮していることについて、患者の障害種別ごとに、あてはまるものすべてに○をつけてください】

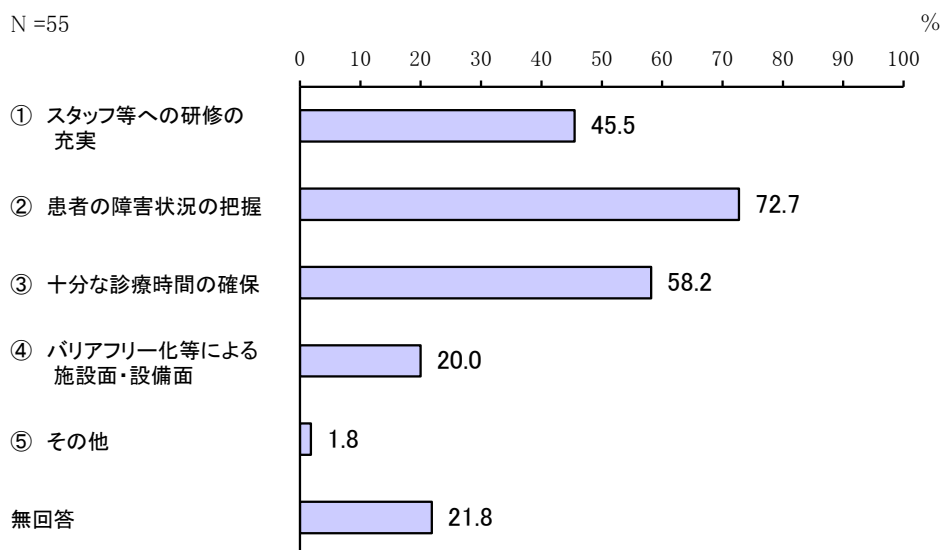
① 身体障害

「②患者の障害状況の把握」の割合が83.6%と最も高く、次いで「③十分な診療時間の確保」の割合が72.7%、「①スタッフ等への研修の充実」の割合が54.5%となっています。



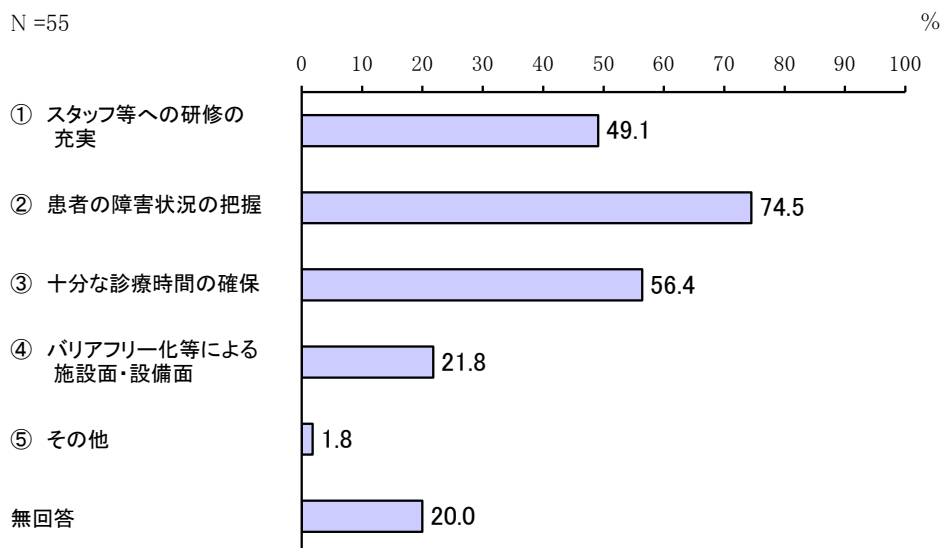
② 知的障害

「②患者の障害状況の把握」の割合が72.7%と最も高く、次いで「③十分な診療時間の確保」の割合が58.2%、「①スタッフ等への研修の充実」の割合が45.5%となっています。



③ 精神障害

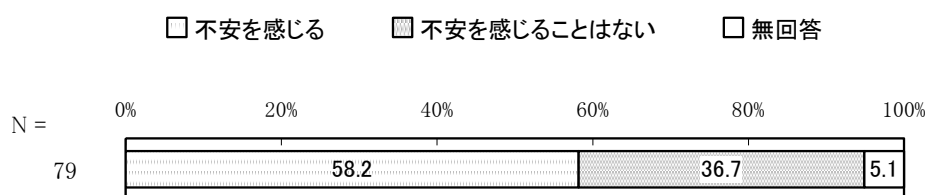
「②患者の障害状況の把握」の割合が74.5%と最も高く、次いで「③十分な診療時間の確保」の割合が56.4%、「①スタッフ等への研修の充実」の割合が48.1%となっています。



(3) 救急医療について

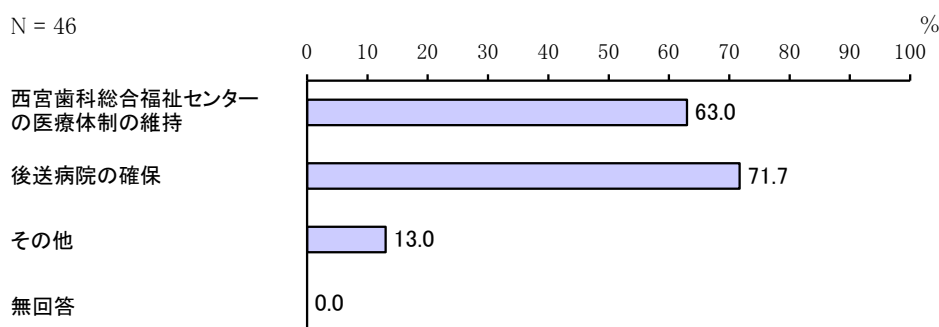
問14 西宮市における休日夜間の緊急的な歯科診療体制について、不安を感じる点がありますか。

「不安を感じる」の割合が58.2%、「不安を感じることはない」の割合が36.7%となっています。



【次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

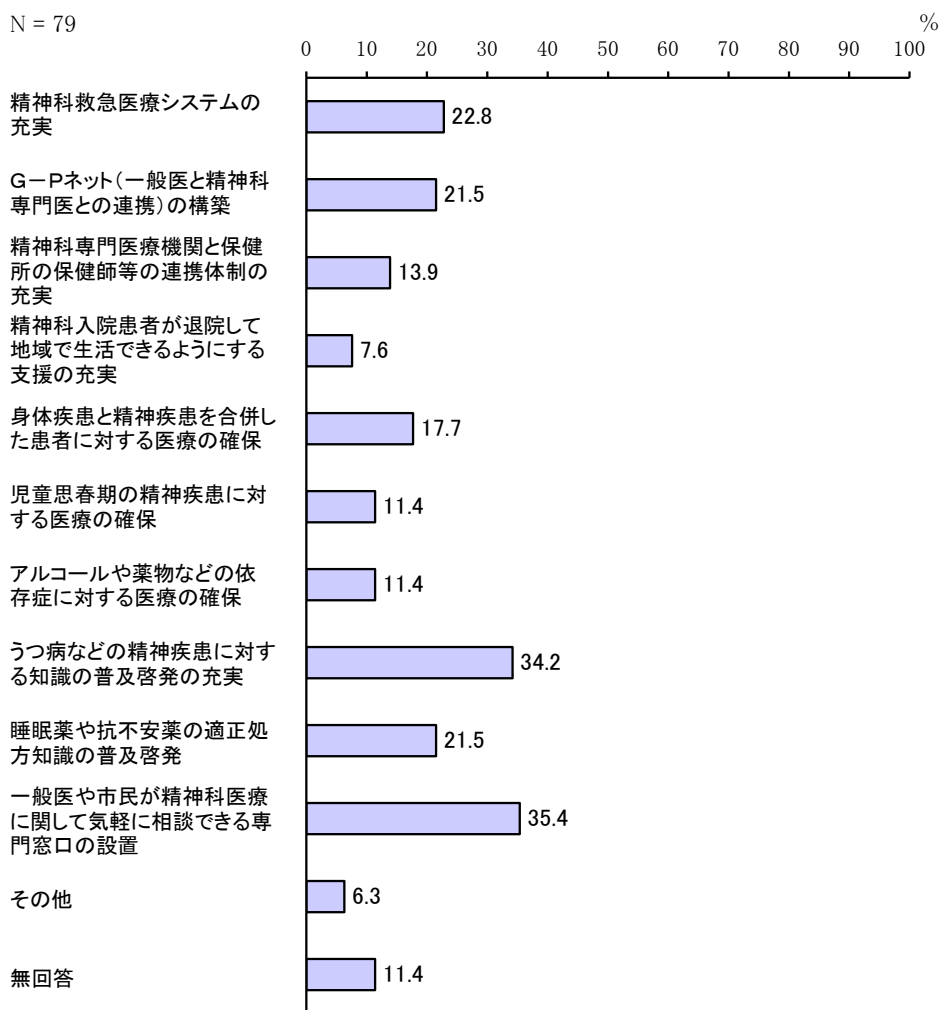
「後送病院の確保」の割合が71.7%、「西宮歯科総合福祉センターの医療体制の維持」の割合が63.0%となっています。



(4) 精神科医療について

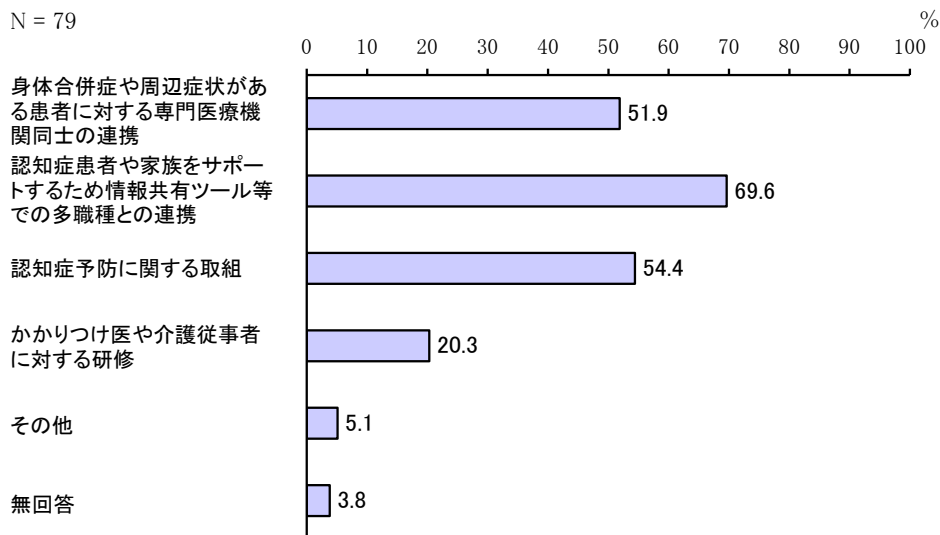
問15 精神科医療をすすめるうえで、必要と感じていることは何ですか。
(〇は3つまで可)

「一般医や市民が精神科医療に関して気軽に相談できる専門窓口の設置」の割合が35.4%と最も高く、次いで「うつ病などの精神疾患に対する知識の普及啓発の充実」の割合が34.2%、「精神科救急医療システムの充実」の割合が22.8%となっています。



問 1 6 認知症対策をしていくうえで、必要と感じていることは何ですか。
(○は3つまで可)

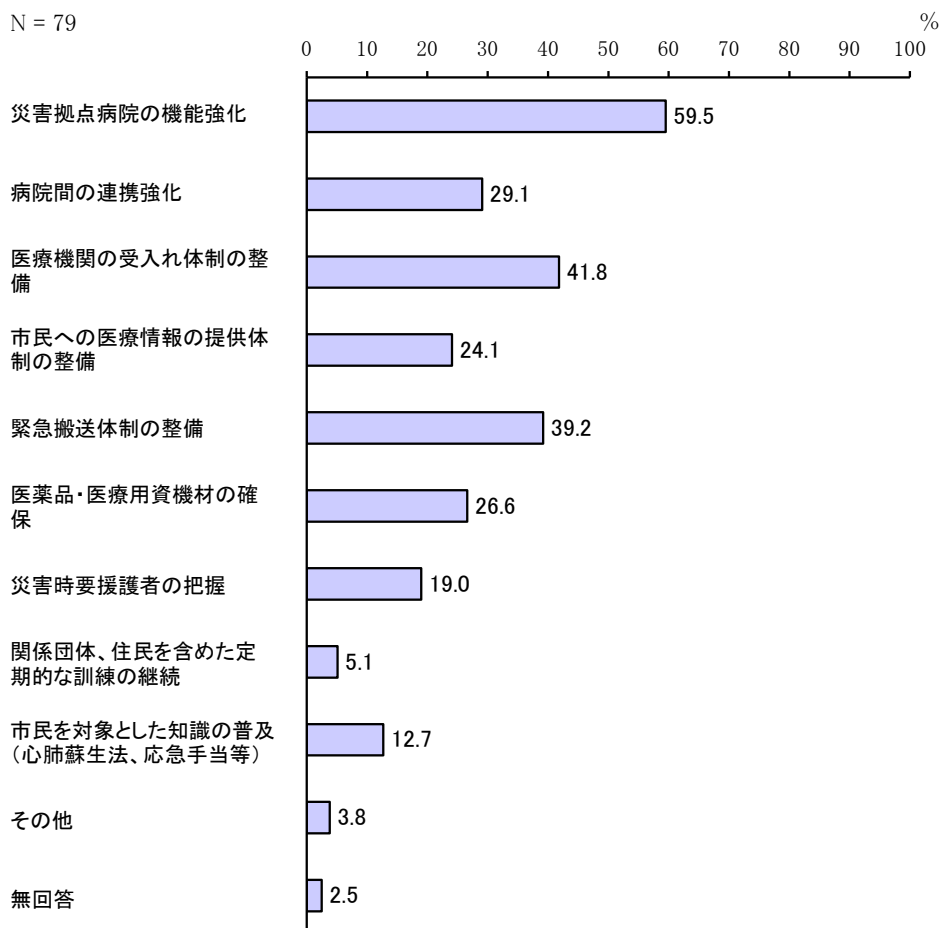
「認知症患者や家族をサポートするため情報共有ツール等での多職種との連携」の割合が69.6%と最も高く、次いで「認知症予防に関する取組」の割合が54.4%、「身体合併症や周辺症状がある患者に対する専門医療機関同士の連携」の割合が51.9%となっています。



(5) 災害医療について

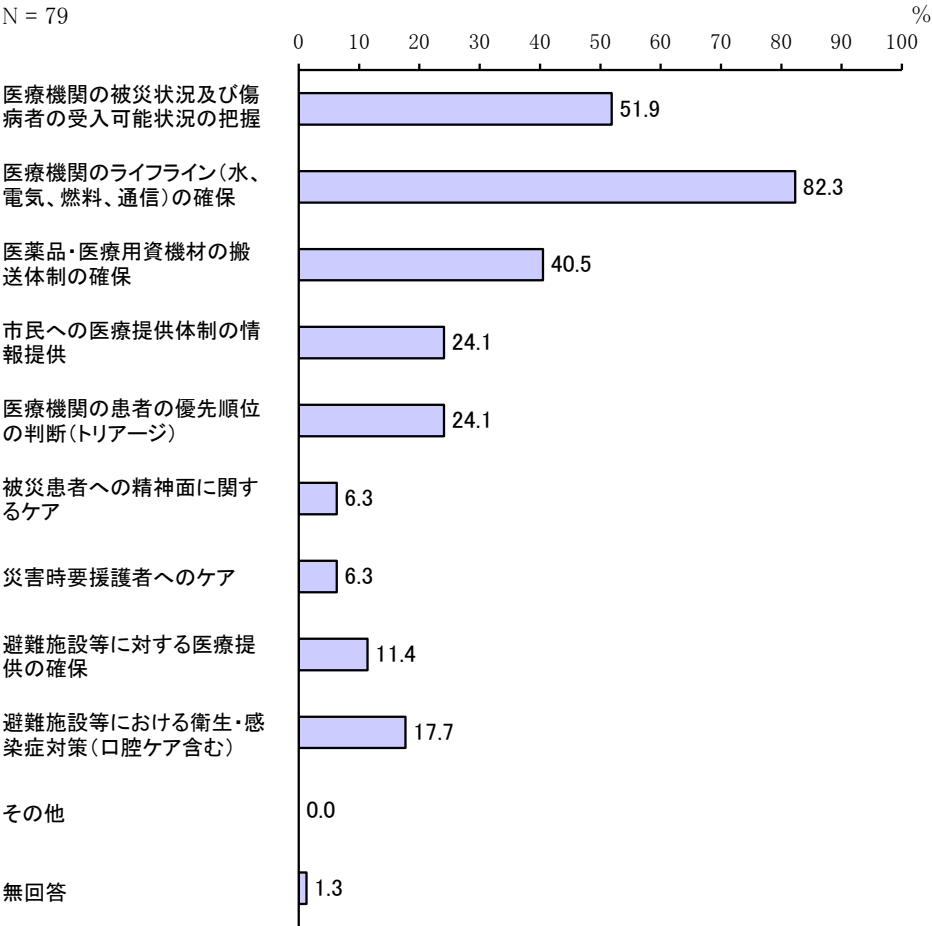
問 17 災害に備えた医療対策として、優先すべきと思われることを選んでください。
(○は3つまで可)

「災害拠点病院の機能強化」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「医療機関の受入れ体制の整備」の割合が 41.8%、「緊急搬送体制の整備」の割合が 39.2%となっています。



問 1 8 災害発生時の医療として、優先すべきと思われることを選んでください。
 (〇は3つまで可)

「医療機関のライフライン（水、電気、燃料、通信）の確保」の割合が 82.3%と最も高く、次いで「医療機関の被災状況及び傷病者の受入可能状況の把握」の割合が 51.9%、「医薬品・医療用資機材の搬送体制の確保」の割合が 40.5%となっています。

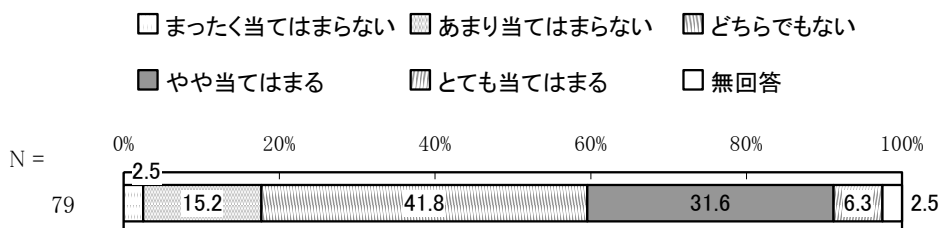


(6) 西宮市における医療提供体制について

問 19 西宮市における医療提供体制に対するあなたの評価について当てはまると思う数字を1つずつ選んで○で囲んでください。

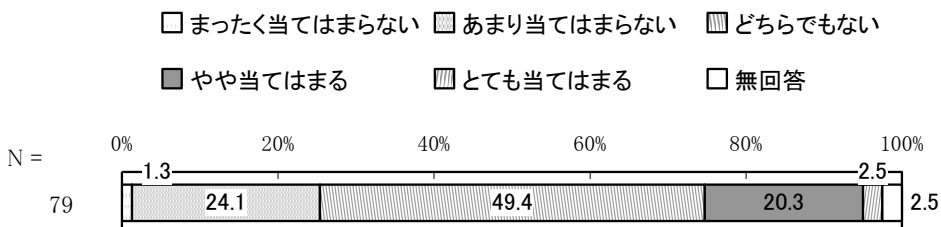
(1) 救急医療が充実している

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が37.9%、「どちらでもない」の割合が41.8%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が17.7%となっています。



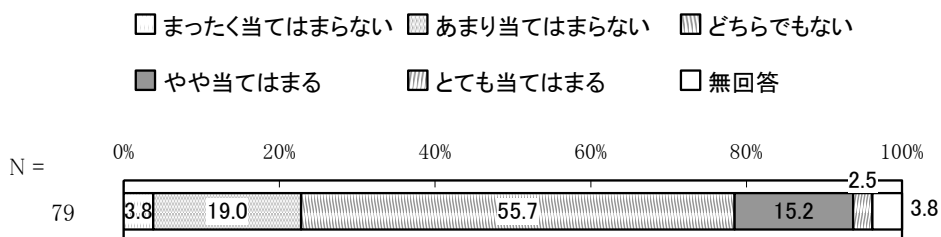
(2) 在宅医療が充実している

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が22.8%、「どちらでもない」の割合が49.4%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が25.4%となっています。



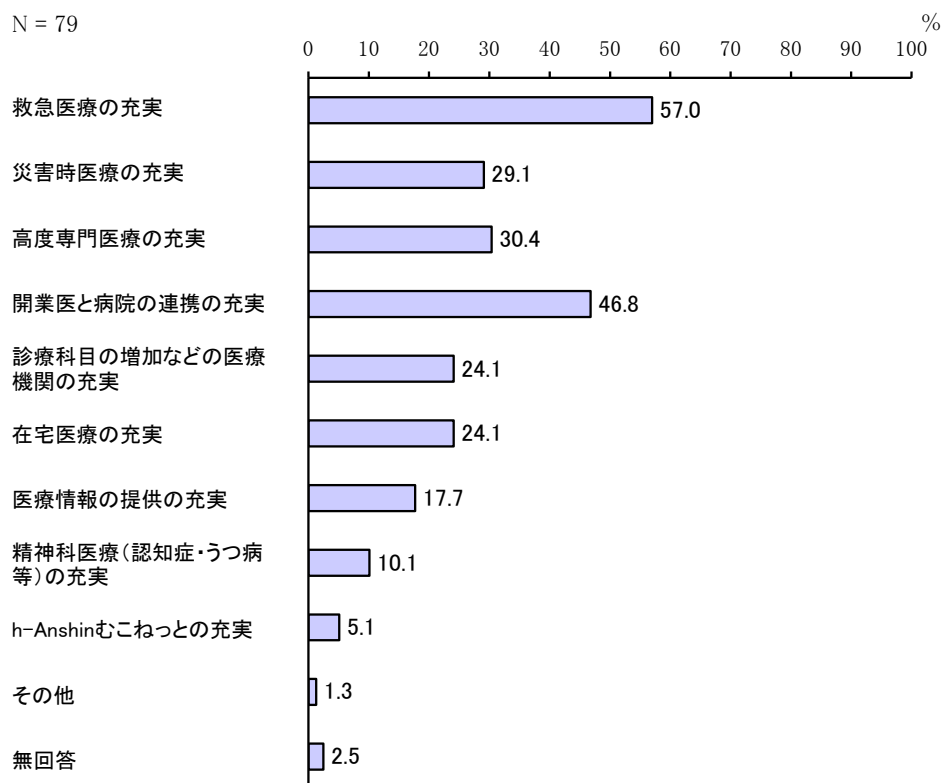
(3) 医療（医療機関のかかりかた、救急医療の利用、看取り等）に対する情報が十分提供されている

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が17.7%、「どちらでもない」の割合が55.7%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が22.8%となっています。



問 2 0 西宮市における医療提供体制で、今後、特に充実すべきものは何ですか。
(○は3つまで可)

「救急医療の充実」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「開業医と病院の連携の充実」の割合が 46.8%、「高度専門医療の充実」の割合が 30.4%となっています。

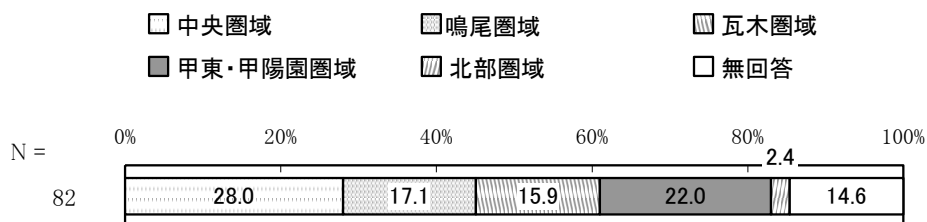


3 薬局

(1) 施設のことについて

問1 貴薬局の所在する中学校区はどちらですか。

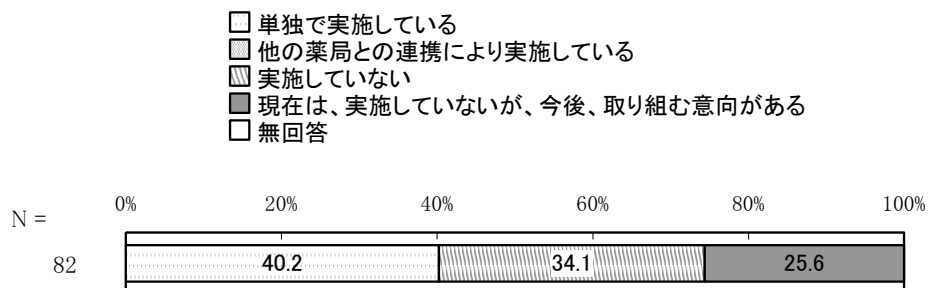
※ 中学校区の回答結果を5つの圏域で集約しています。



(2) 在宅医療について

問2 貴薬局では、訪問薬剤管理指導を実施していますか

「単独で実施している」の割合が40.2%と最も高く、次いで「実施していない」の割合が34.1%、「現在は、実施していないが、今後、取り組む意向がある」の割合が25.6%となっています。



問3 問2で「1」、「2」の選択肢を選ばれた方にお尋ねします。

問3-1 貴薬局で訪問薬剤管理指導を実施した患者数についてお尋ねします。

1. 現在、訪問薬剤管理指導のおおよその患者数

人 数	実施数	人 数	実施数
1人	6	17人	1
2人	5	20人	2
3人	5	28人	1
5人	1	30人	1
7人	1	42人	1
10人	1	50人	1
14人	2	53人	1
15人	1		
16人	1	合計 (372人)	31

その内のがん患者数

人 数	実施数
1人	4
2人	3
5人	1
合計 (15人)	8

【訪問薬剤管理指導を行っている場所別の患者数】

① 自宅

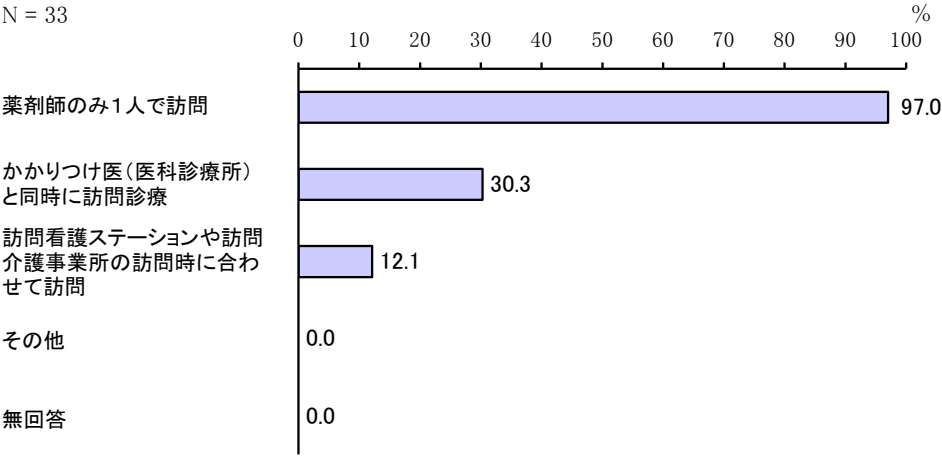
人 数	実施数	人 数	実施数
1人	7	8人	1
2人	6	10人	2
3人	3	14人	1
4人	1	20人	2
5人	1	36人	1
7人	1	合計 (162人)	26

② 施設

人 数	実施数	人 数	実施数
1人	5	30人	1
6人	1	43人	1
12人	1	50人	1
15人	1		
24人	1	合計 (194人)	13

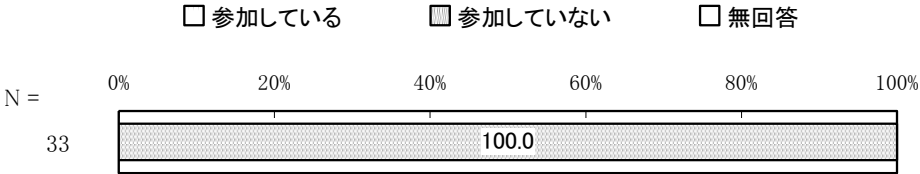
問 3-2 貴薬局の訪問薬剤管理指導体制についてお尋ねします。
(あてはまるものすべてに○)

「薬剤師のみ1人で訪問」の割合が97.0%と最も高く、次いで「かかりつけ医（医科診療所）と同時に訪問診療」の割合が30.3%、「訪問看護ステーションや訪問介護事業所の訪問時に合わせて訪問」の割合が12.1%となっています。



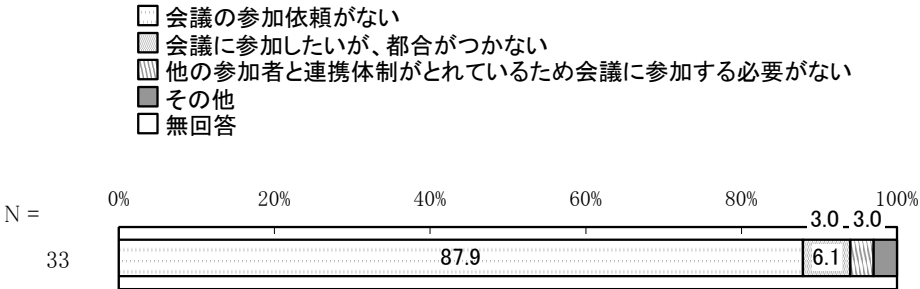
問 3-3 病院からの退院患者（受け持ち患者）の退院に向けて、退院時カンファレンスに参加していますか。

「参加していない」の割合が100.0%となっています。



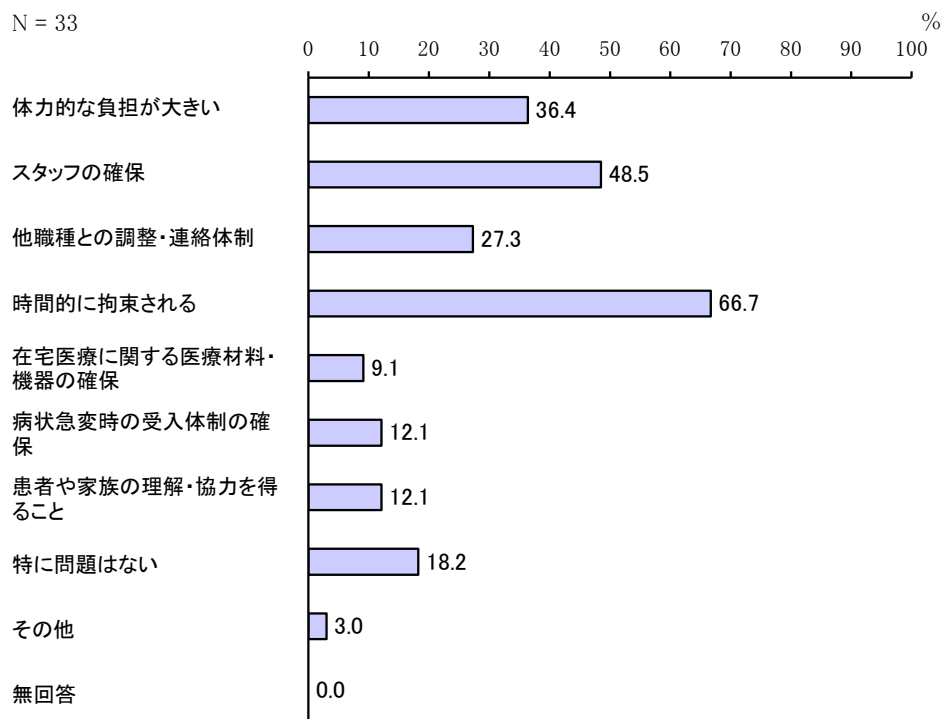
【参加していない理由について選択肢の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。】

「会議の参加依頼がない」の割合が87.9%と最も高くなっています。



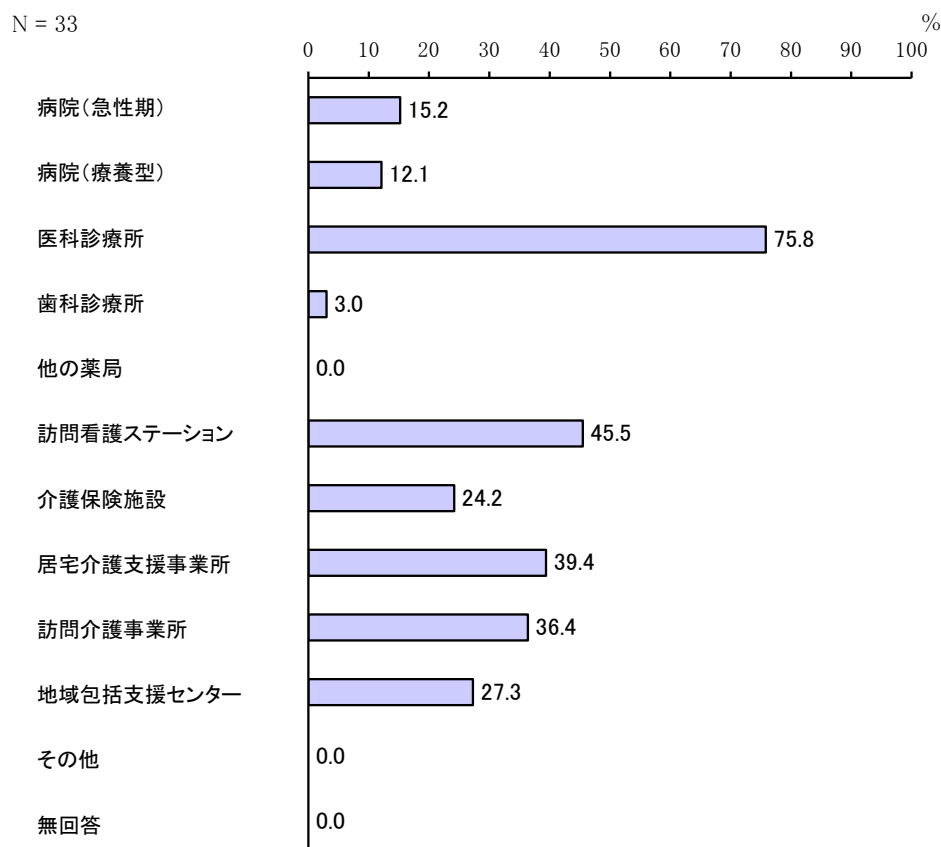
問3-4 訪問薬剤管理指導を実施していて、どのようなことに苦勞していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「時間的に拘束される」の割合が66.7%と最も高く、次いで「スタッフの確保」の割合が48.5%、「体力的な負担が大きい」の割合が36.4%となっています。



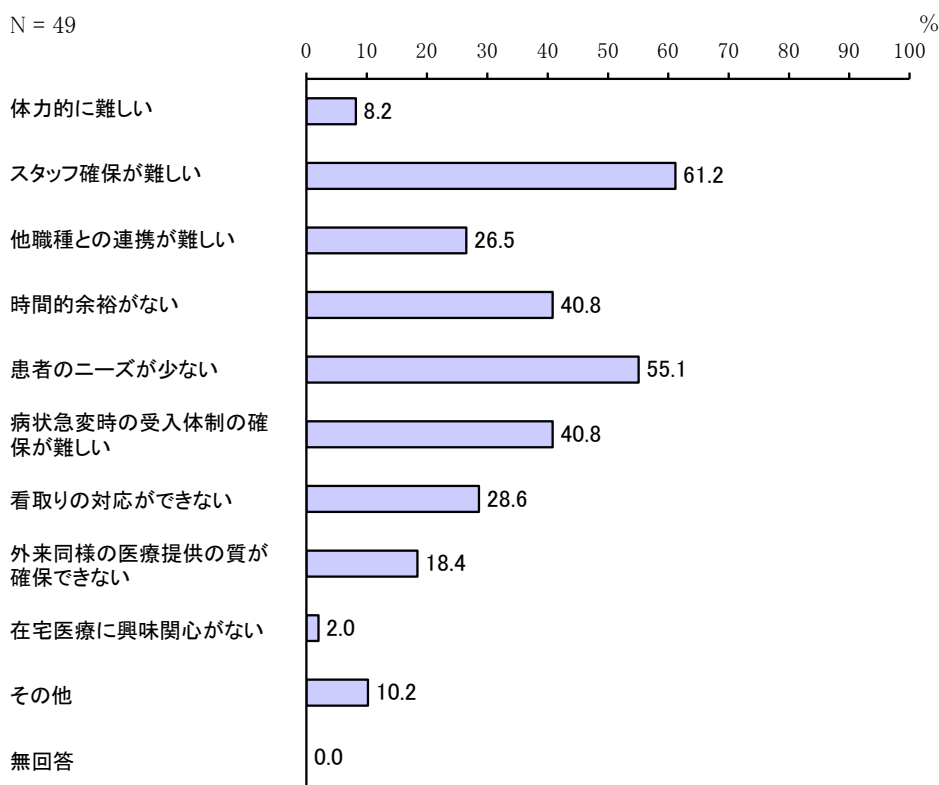
問3-5 訪問薬剤管理指導を実施するにあたって、今までどの医療機関・事業所等と連携してこられましたか。(あてはまるものすべてに○)

「医科診療所」の割合が75.8%と最も高く、次いで「訪問看護ステーション」の割合が45.5%、「居宅介護支援事業所」の割合が39.4%となっています。



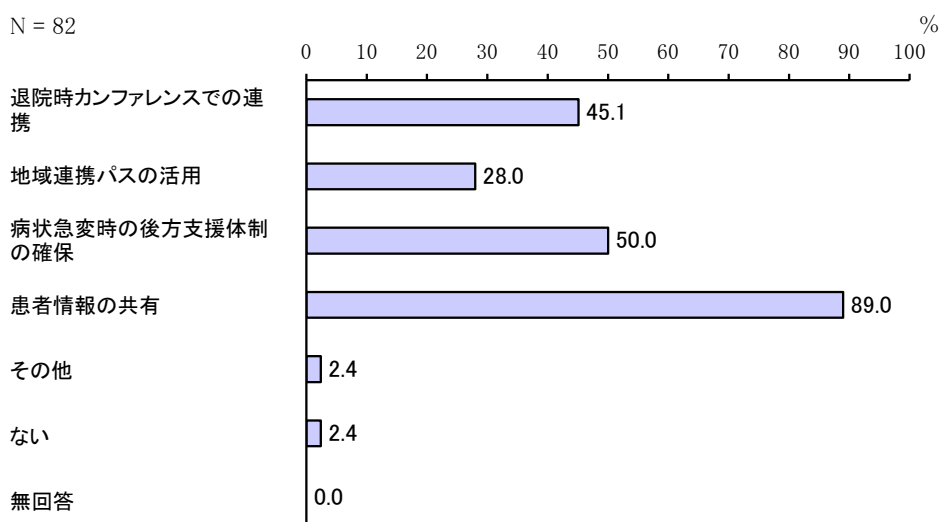
問4 問2で「3」、「4」の選択肢を選ばれた方にお尋ねします。
 訪問薬剤管理指導を実施していない理由についてお聞かせください。
 (あてはまるものすべてに○)

「スタッフ確保が難しい」の割合が61.2%と最も高く、次いで「患者のニーズが少ない」の割合が55.1%、「時間的余裕がない」、「病状急変時の受入体制の確保が難しい」の割合が40.8%となっています。



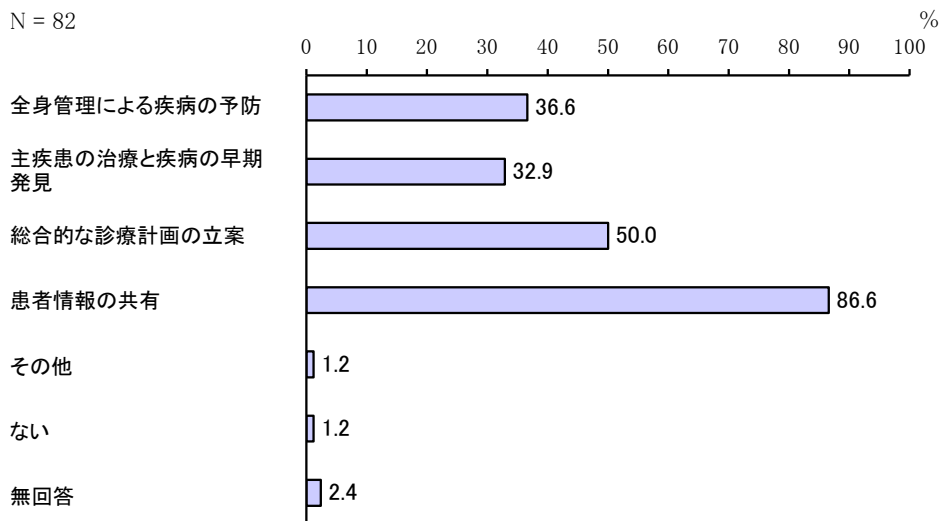
問5 訪問薬剤管理指導において、病院に期待する役割は何ですか。(○は3つまで可)

「患者情報の共有」の割合が89.0%と最も高く、次いで「病状急変時の後方支援体制の確保」の割合が50.0%、「退院時カンファレンスでの連携」の割合が45.1%となっています。



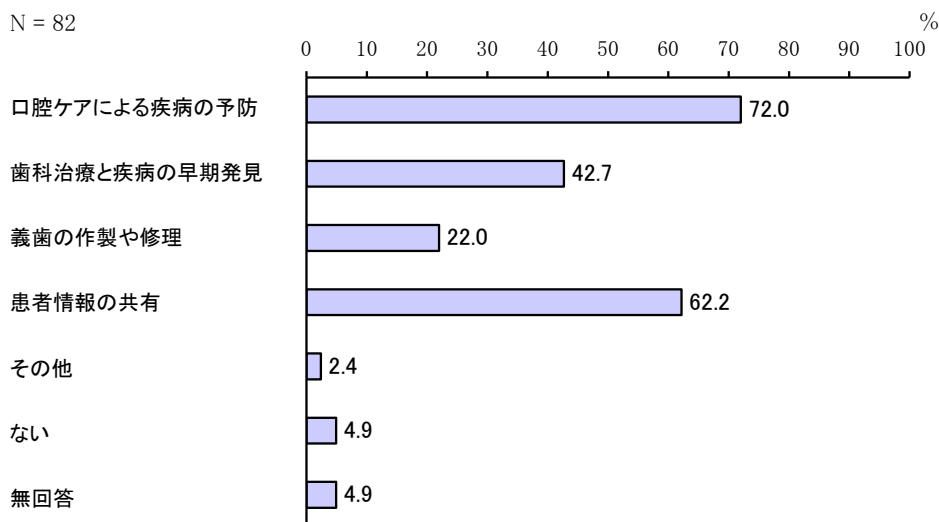
**問6 訪問薬剤管理指導において、医科診療所に期待する役割は何ですか。
(○は3つまで可)**

「患者情報の共有」の割合が86.6%と最も高く、次いで「総合的な診療計画の立案」の割合が50.0%、「全身管理による疾病の予防」の割合が36.6%となっています。



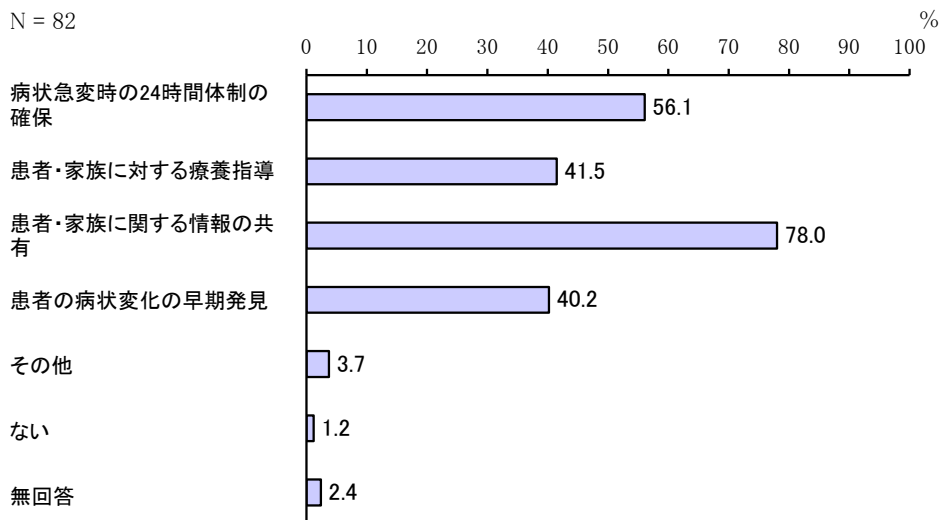
**問7 訪問薬剤管理指導において、歯科診療所に期待する役割は何ですか。
(○は3つまで可)**

「口腔ケアによる疾病の予防」の割合が72.0%と最も高く、次いで「患者情報の共有」の割合が62.2%、「歯科治療と疾病の早期発見」の割合が42.7%となっています。



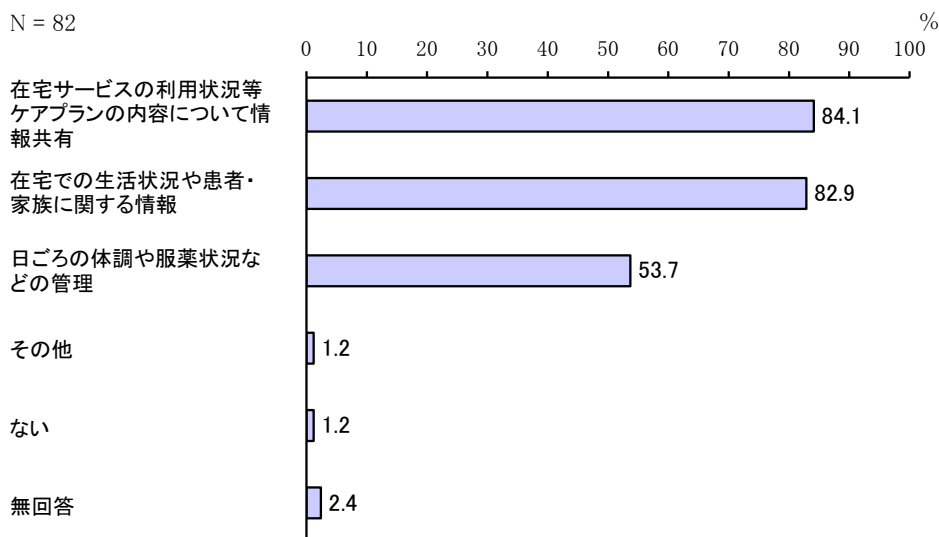
問 8 訪問薬剤管理指導において、訪問看護ステーションに期待する役割は何ですか。(〇は3つまで可)

「患者・家族に関する情報の共有」の割合が78.0%と最も高く、次いで「病状急変時の24時間体制の確保」の割合が56.1%、「患者・家族に対する療養指導」の割合が41.5%となっています。



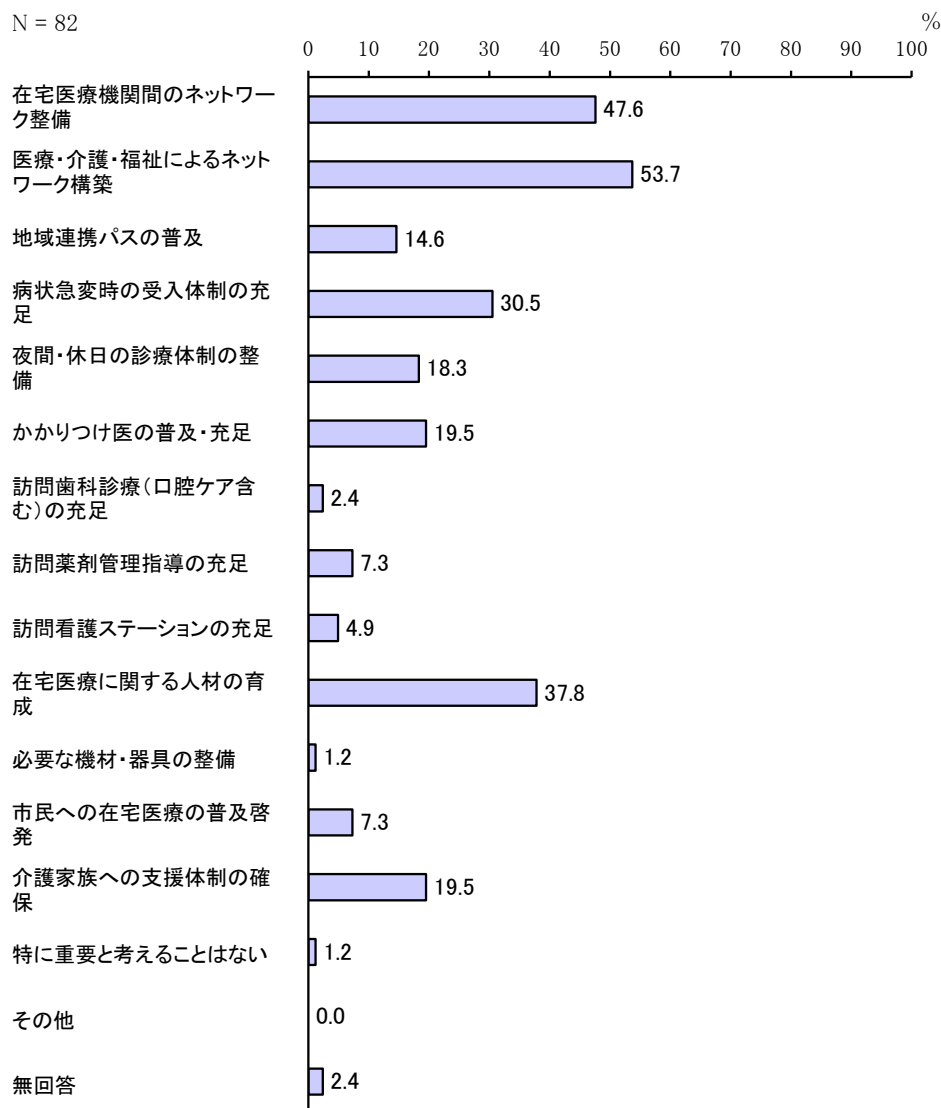
問 9 訪問薬剤管理指導において、介護支援専門員（ケアマネジャー）に期待する役割は何ですか。(〇は3つまで可)

「在宅サービスの利用状況等ケアプランの内容について情報共有」の割合が84.1%と最も高く、次いで「在宅での生活状況や患者・家族に関する情報」の割合が82.9%、「日ごろの体調や服薬状況などの管理」の割合が53.7%となっています。



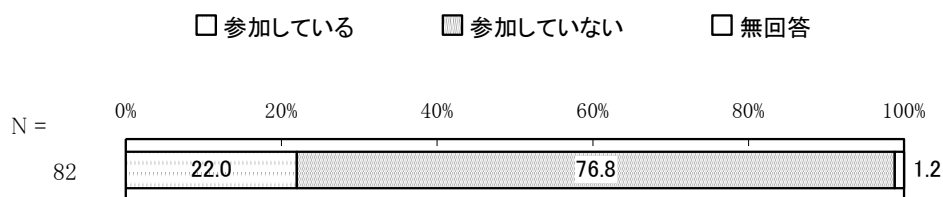
問 10 今後、訪問薬剤管理指導を推進していくうえで、重要と考えることは何ですか。(〇は3つまで可)

「医療・介護・福祉によるネットワーク構築」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「在宅医療機関間のネットワーク整備」の割合が 47.6%、「在宅医療に関する人材の育成」の割合が 37.8%となっています。



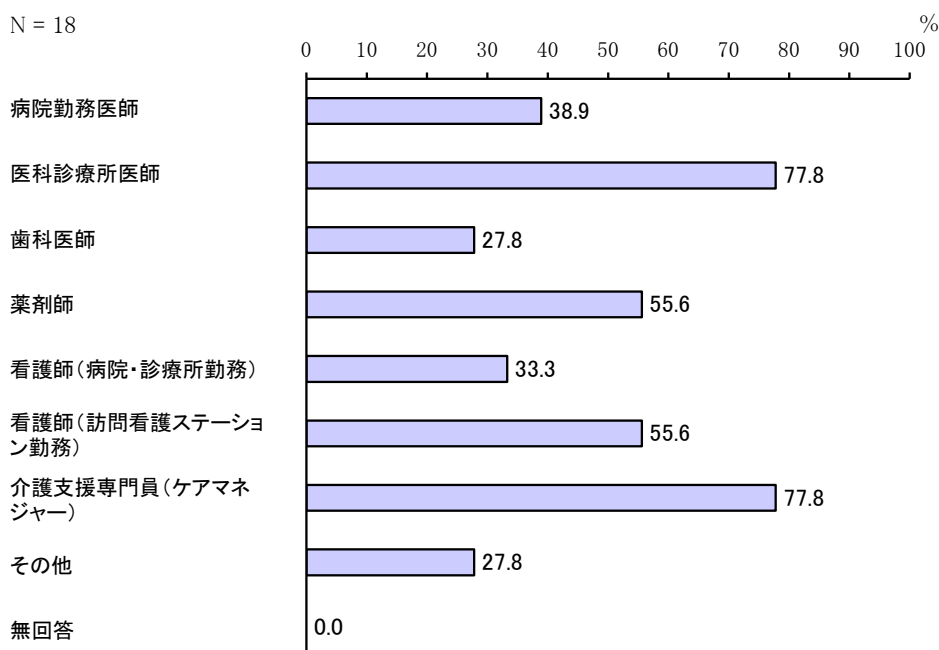
問 11 他職種が定期的に、情報交換や事例検討をする場に参加していますか。

「参加している」の割合が 22.0%、「参加していない」の割合が 76.8%となっています。



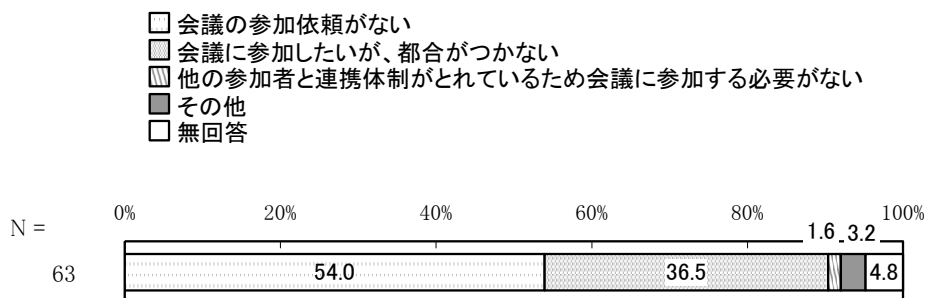
【他職種の参加者について、次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

「医科診療所医師」、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」の割合が 77.8%と最も高く、次いで、「薬剤師」、「看護師（訪問看護ステーション勤務）」の割合が 55.6%となっています。



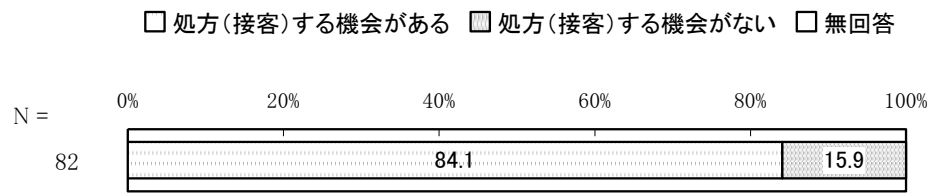
【参加していない理由について選択肢の中からあてはまるもの1つに○をつけてください】

「会議の参加依頼がない」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「会議に参加したいが、都合がつかない」の割合が 36.5%となっています。



問 12 日常の業務（在宅に限らず）で、障害のある人の処方（接客）をすることはありますか。

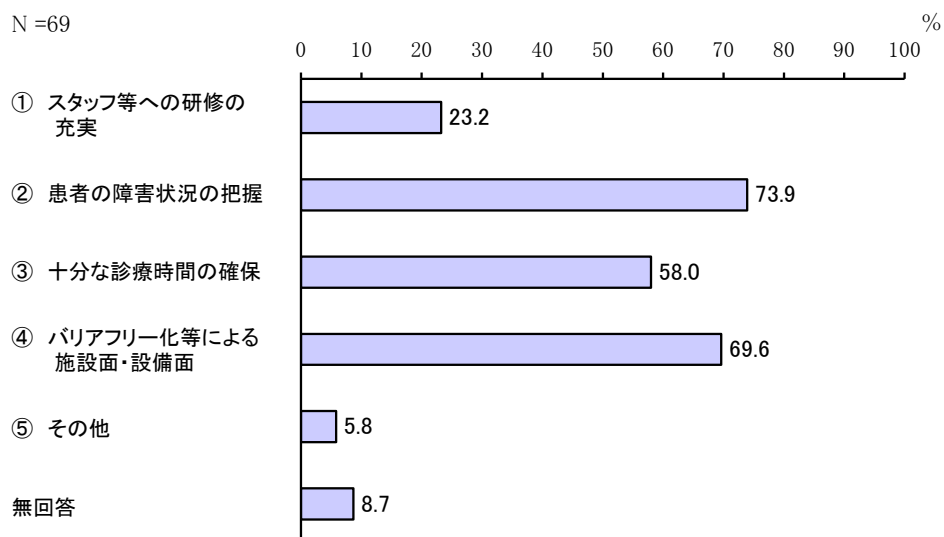
「処方（接客）する機会がある」の割合が 84.1%、「処方（接客）する機会がない」の割合が 15.9%となっています。



【処方（接客）の際に配慮していることについて、患者の障害種別ごとに、あてはまるものすべてに○をつけてください】

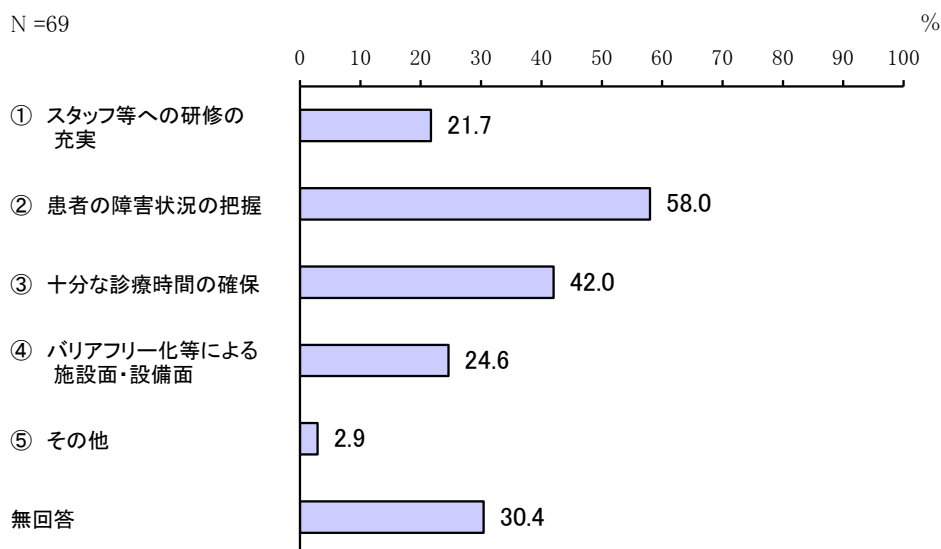
① 身体障害

「②患者の障害状況の把握」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「④バリアフリー化等による施設面・設備面」の割合が 69.6%、「③十分な診療時間の確保」の割合が 58.0%となっています。



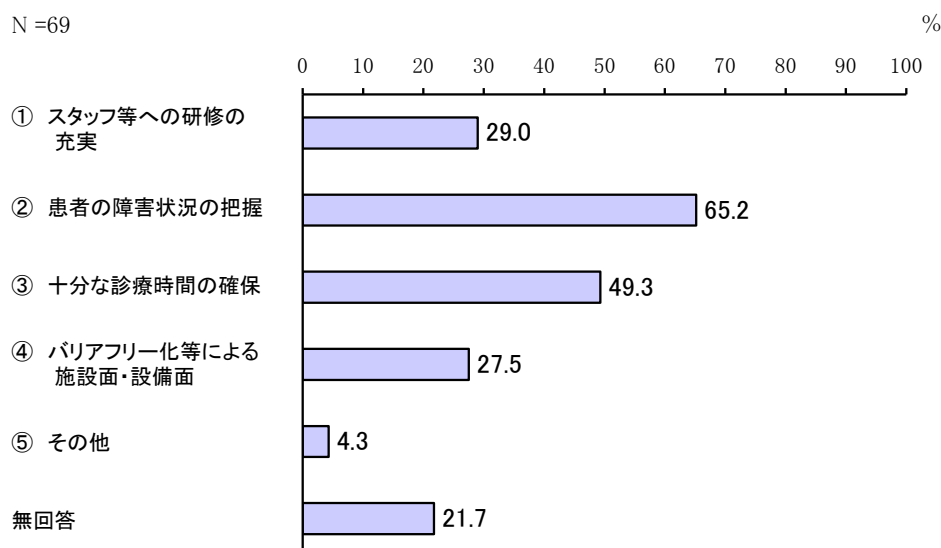
② 知的障害

「②患者の障害状況の把握」の割合が58.0%と最も高く、次いで「③十分な診療時間の確保」の割合が42.0%、「④バリアフリー化等による施設面・設備面」の割合が24.6%となっています。



③ 精神障害

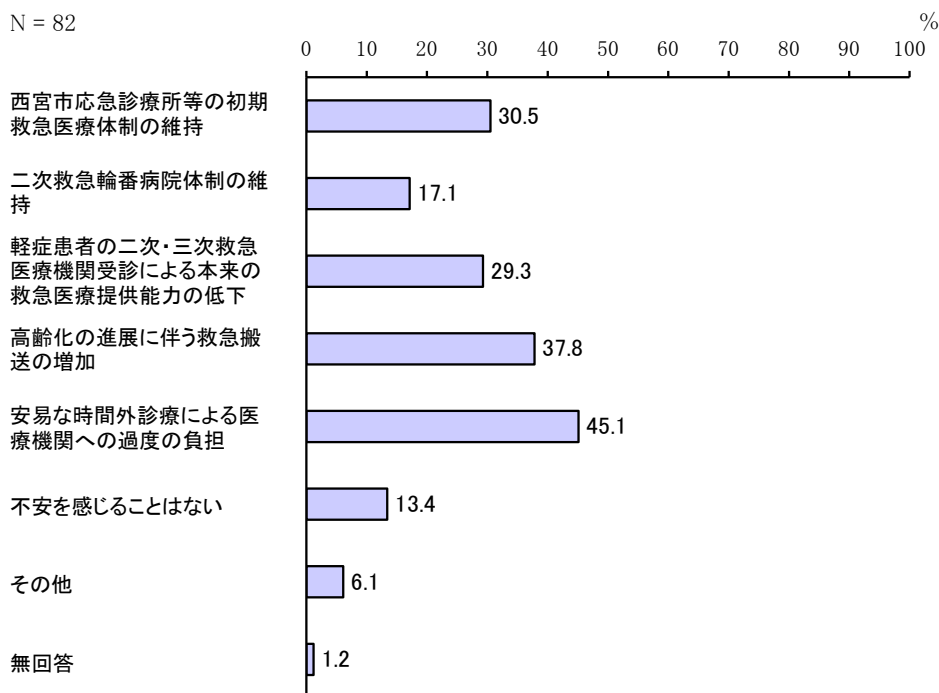
「②患者の障害状況の把握」の割合が65.2%と最も高く、次いで「③十分な診療時間の確保」の割合が49.3%、「①スタッフ等への研修の充実」の割合が29.0%となっています。



(3) 救急医療について

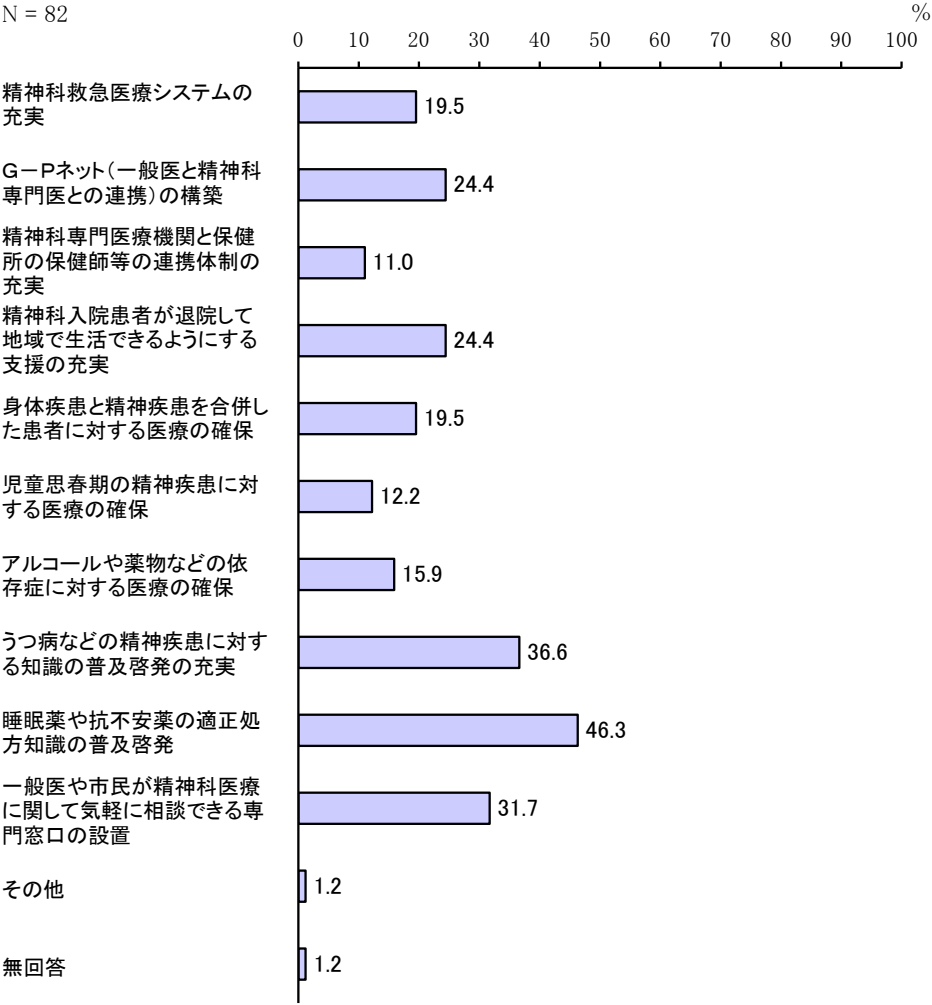
問 14 西宮市における休日夜間の救急医療体制について、不安を感じる点はありませんか。
(○は3つまで可)

「安易な時間外診療による医療機関への過度の負担」の割合が45.1%と最も高く、次いで「高齢化の進展に伴う救急搬送の増加」の割合が37.8%、「西宮市応急診療所等の初期救急医療体制の維持」の割合が30.5%となっています。



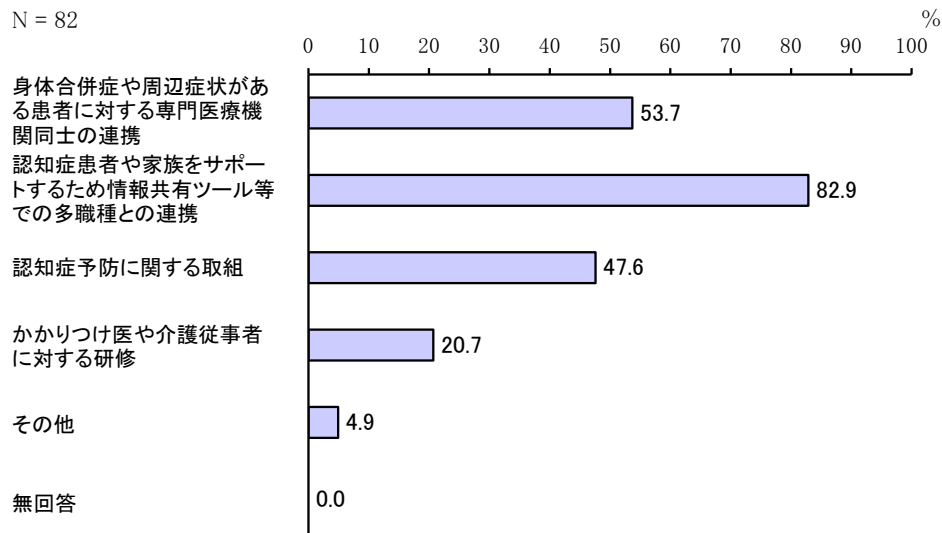
問 15 精神科医療をすすめるうえで、必要と感じていることは何ですか。
 (〇は3つまで可)

「睡眠薬や抗不安薬の適正処方知識の普及啓発」の割合が46.3%と最も高く、次いで「うつ病などの精神疾患に対する知識の普及啓発の充実」の割合が36.6%、「一般医や市民が精神科医療に関して気軽に相談できる専門窓口の設置」の割合が31.7%となっています。



問 16 認知症対策をしていくうえで、必要と感じていることは何ですか。
(○は3つまで可)

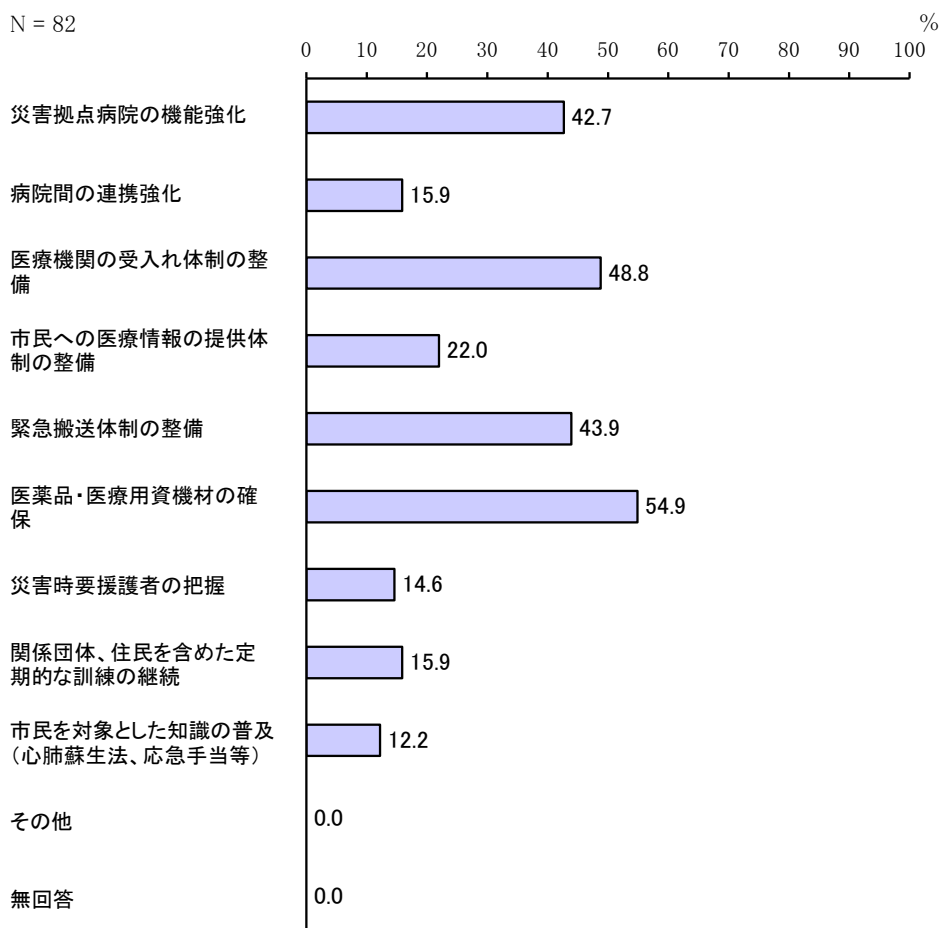
「認知症患者や家族をサポートするため情報共有ツール等での多職種との連携」の割合が82.9%と最も高く、次いで「身体合併症や周辺症状がある患者に対する専門医療機関同士の連携」の割合が53.7%、「認知症予防に関する取組」の割合が47.6%となっています。



(5) 災害医療について

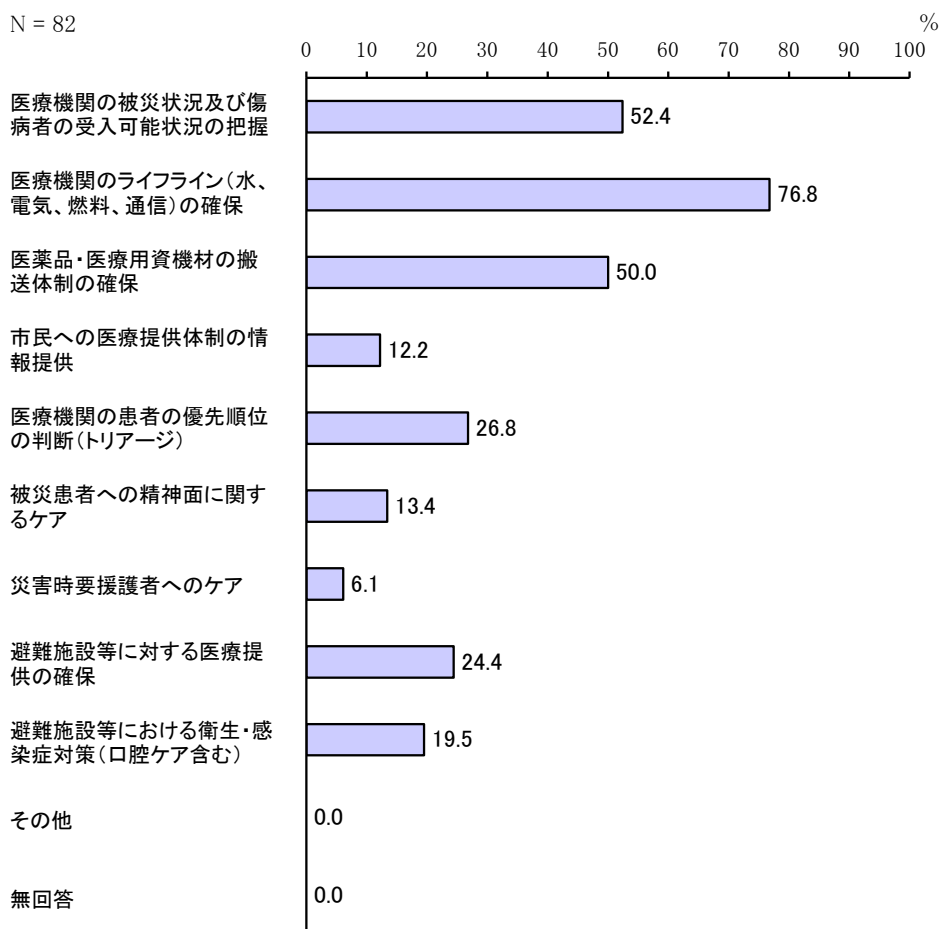
問 17 災害に備えた医療対策として、優先すべきと思われることを選んでください。
(○は3つまで可)

「医薬品・医療用資機材の確保」の割合が54.9%と最も高く、次いで「医療機関の受入れ体制の整備」の割合が48.8%、「緊急搬送体制の整備」の割合が43.9%となっています。



問 18 災害発生時の医療として、優先すべきと思われることを選んでください。
(○は3つまで可)

「医療機関のライフライン（水、電気、燃料、通信）の確保」の割合が76.8%と最も高く、次いで「医療機関の被災状況及び傷病者の受入可能状況の把握」の割合が52.4%、「医薬品・医療用資機材の搬送体制の確保」の割合が50.0%となっています。

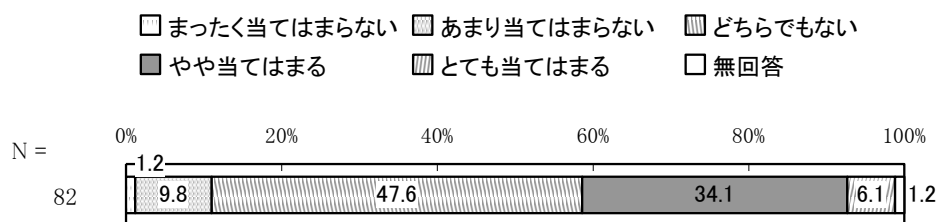


(6) 西宮市における医療提供体制について

問 19 西宮市における医療提供体制に対するあなたの評価について当てはまると思う数字を1つずつ選んで○で囲んでください。

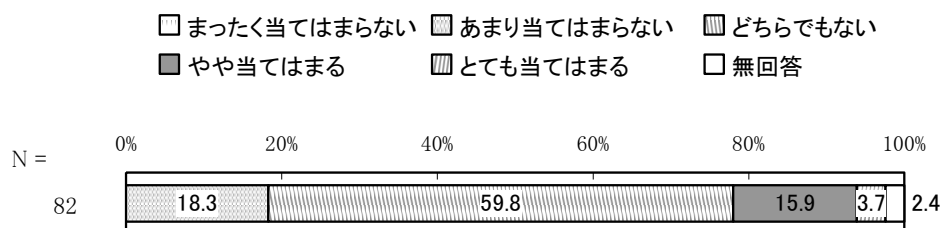
(1) 救急医療が充実している

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が40.2%、「どちらでもない」の割合が47.6%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が11.0%となっています。



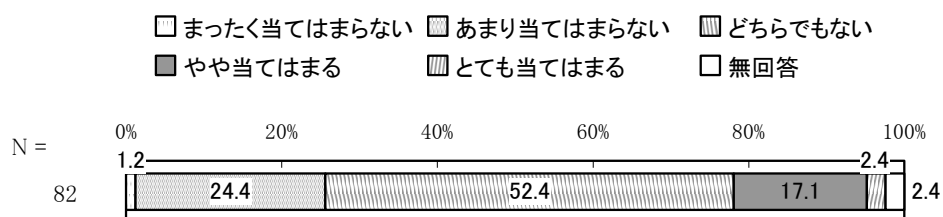
(2) 在宅医療が充実している

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が19.6%、「どちらでもない」の割合が59.8%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が18.3%となっています。



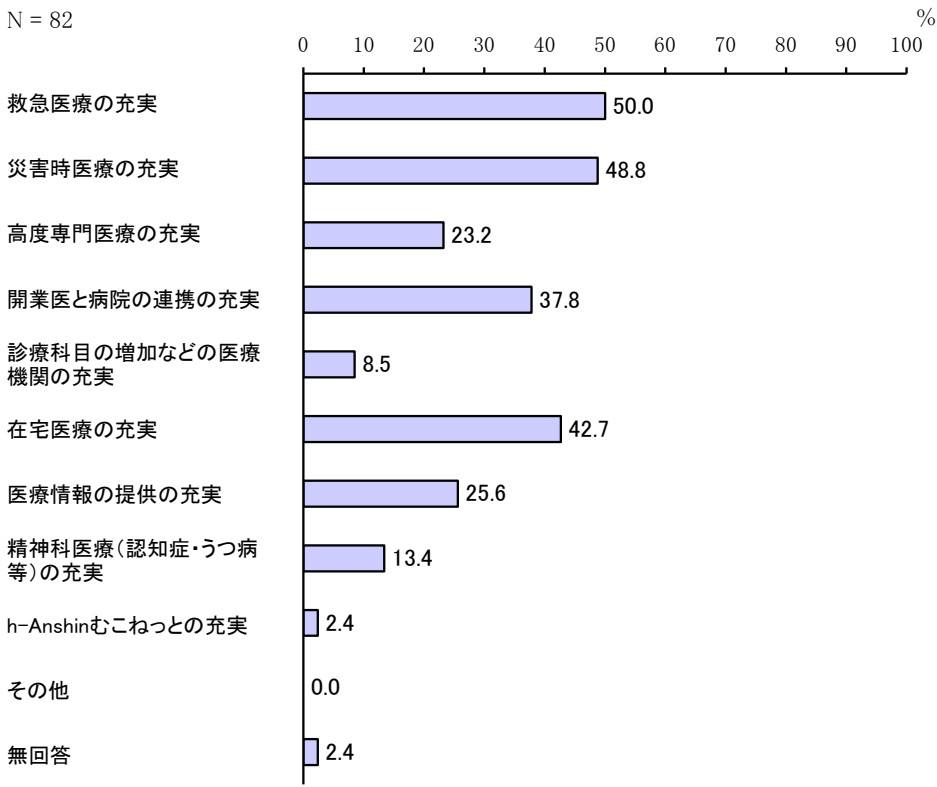
(3) 医療（医療機関のかかりかた、救急医療の利用、看取り等）に対する情報が十分提供されている

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が19.5%、「どちらでもない」の割合が52.4%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が25.6%となっています。



問 20 西宮市における医療提供体制で、今後、特に充実すべきものは何ですか。
 (〇は3つまで可)

「救急医療の充実」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「災害時医療の充実」の割合が 48.8%、
 「在宅医療の充実」の割合が 42.7%となっています。

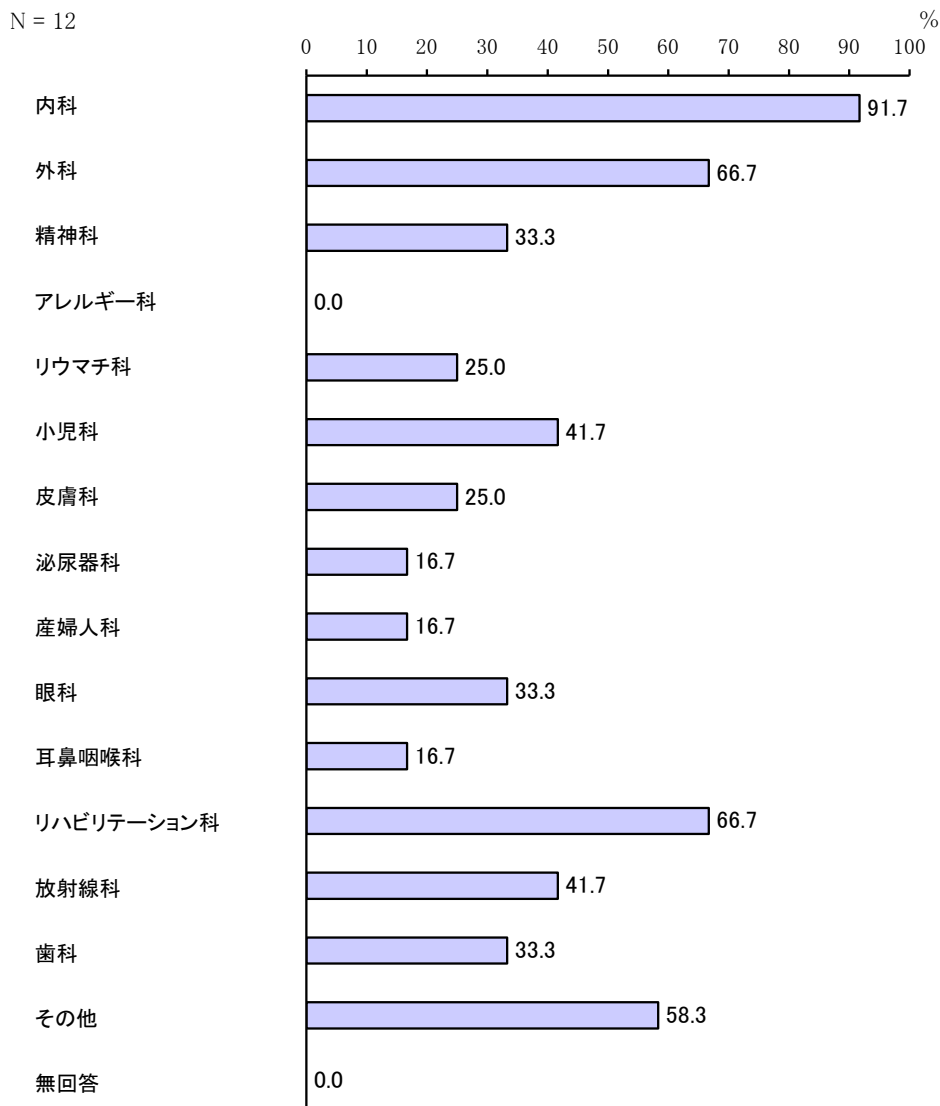


4 病院

(1) 施設のことについて

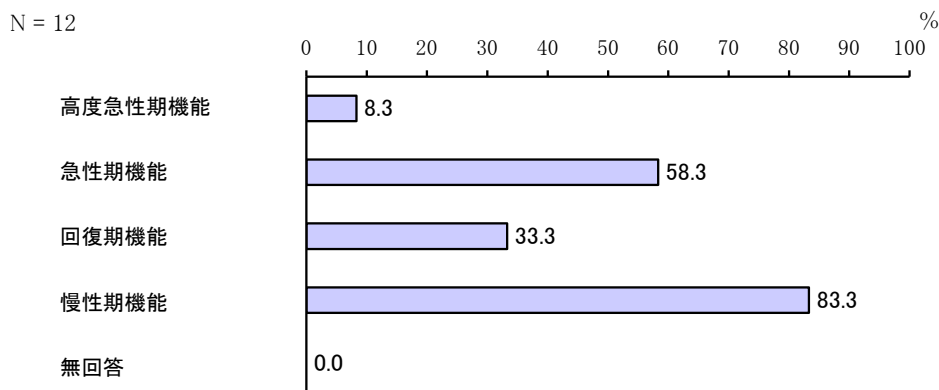
問1 貴院の主要な標榜科目についてお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

「内科」の割合が91.7%と最も高く、次いで「外科」、「リハビリテーション科」の割合が66.7%となっています。



問2 貴院の病棟における医療機能についてお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

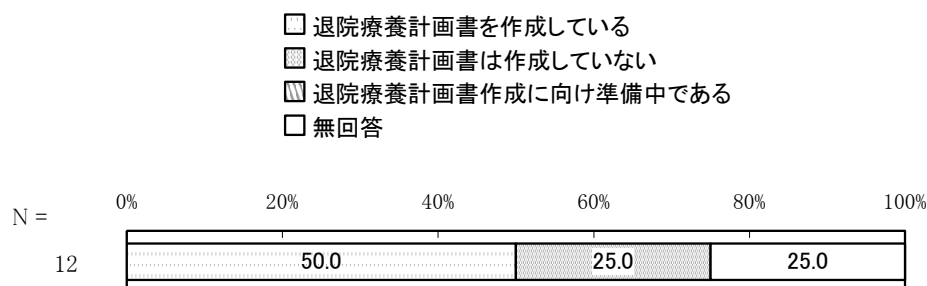
「慢性期機能」の割合が83.3%と最も高く、次いで「急性期機能」の割合が58.3%、「回復期機能」の割合が33.3%となっています。



(2) 在宅医療について

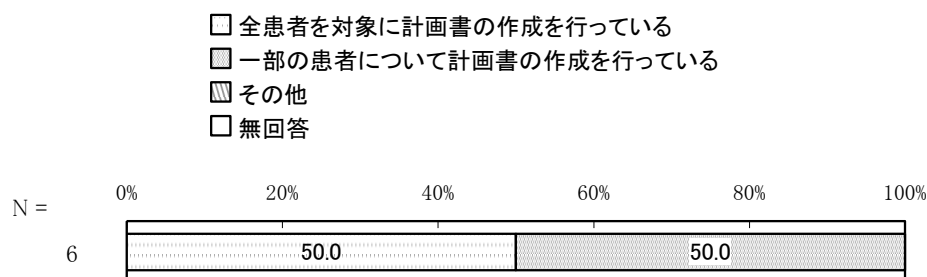
問3 貴病院の退院療養計画書の導入状況についてお尋ねします。

「退院療養計画書を作成している」の割合が50.0%と最も高く、次いで「退院療養計画書は作成していない」の割合が25.0%となっています。



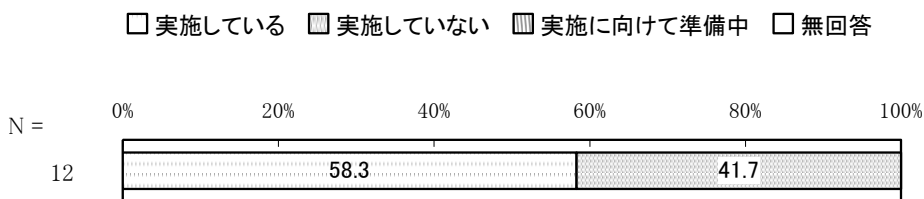
【退院療養計画書を作成している】

「全患者を対象に計画書の作成を行っている」、「一部の患者について計画書の作成を行っている」が3件となっています。



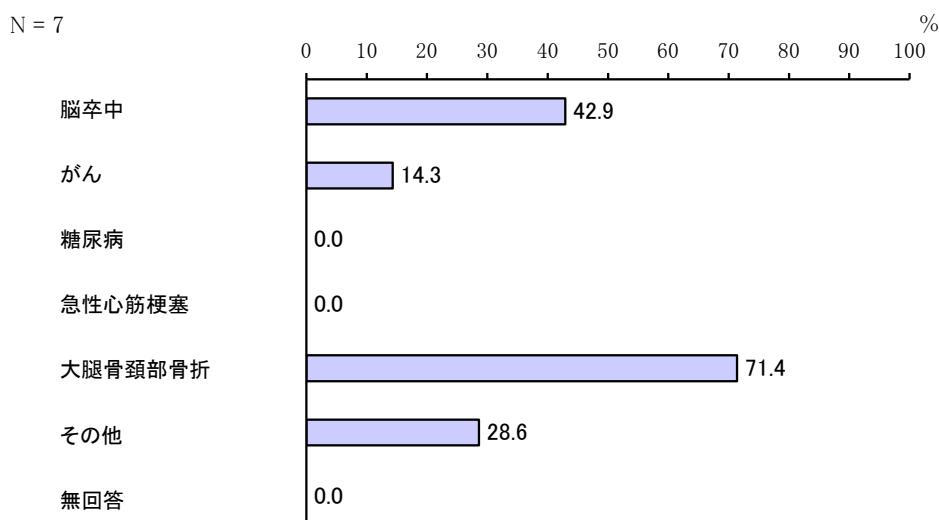
問4 貴病院の地域連携クリティカルパスの導入状況についてお尋ねします。

「実施している」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「実施していない」の割合が 41.7%となっています。



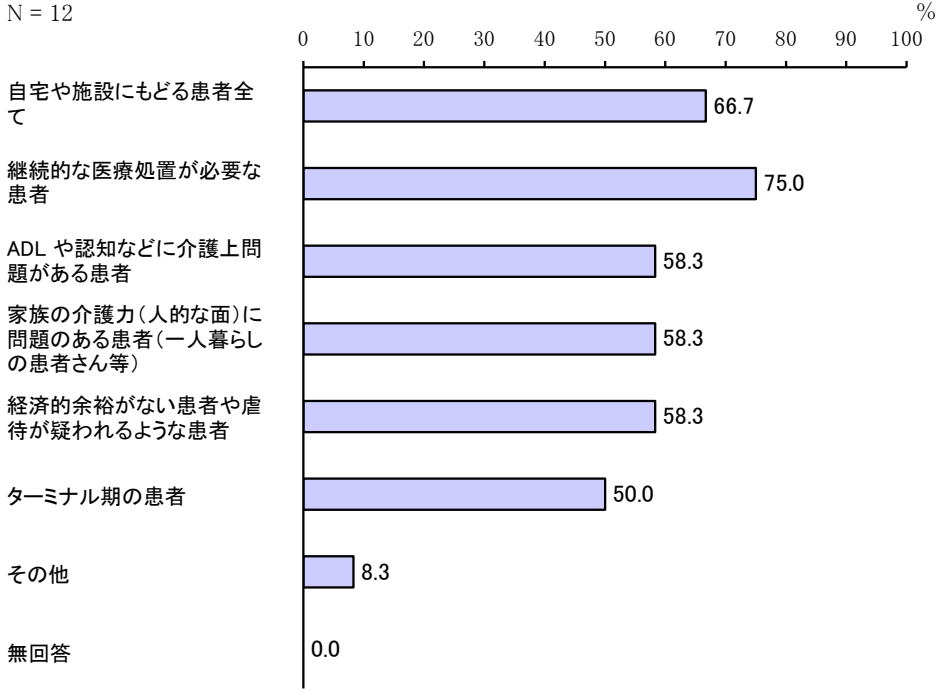
【導入しているものすべてに○をつけてください】

「大腿骨頸部骨折」が 5 件、「脳卒中」が 3 件、「がん」が 1 件となっています。



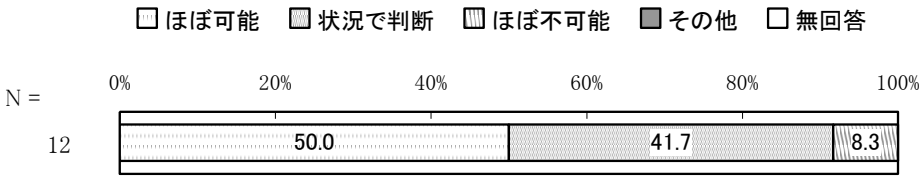
**問5 貴病院において退院支援等をどのような患者へ行う必要があると思われますか。
(あてはまるものすべてに○)**

「継続的な医療処置が必要な患者」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「自宅や施設にもどる患者全て」の割合が 66.7%、「ADL や認知などに介護上問題がある患者」、「家族の介護力（人的な面）に問題のある患者（一人暮らしの患者さん等）」、「経済的余裕がない患者や虐待が疑われるような患者」の割合が 58.3%となっています。



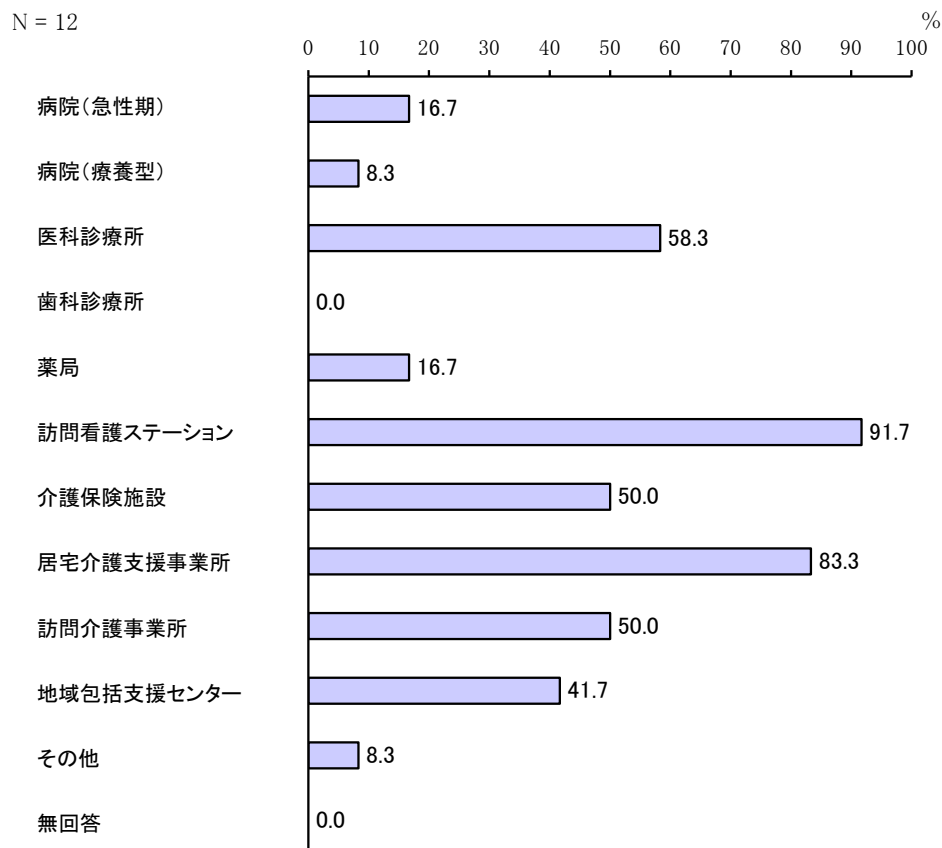
問6 退院後、在宅移行した患者の体調が悪化した場合、自院で受け入れる体制がとれていますか。

「ほぼ可能」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「状況で判断」の割合が 41.7%となっています。



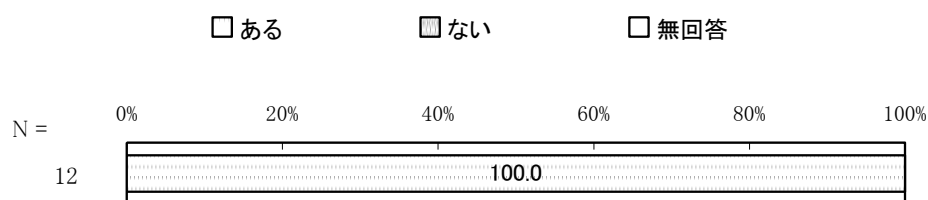
問7 退院時の在宅移行の際、今まで、下記のどの事業所・施設と連携してられましたか。(あてはまるものすべてに○)

「訪問看護ステーション」の割合が91.7%と最も高く、次いで「居宅介護支援事業所」の割合が83.3%、「医科診療所」の割合が58.3%となっています。



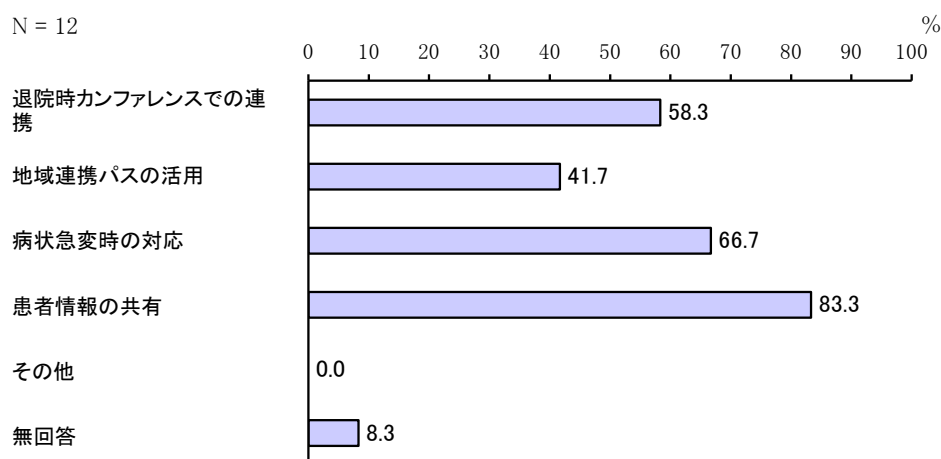
問 8 在宅医療を推進するために、医科診療所と連携できることはありますか。

「ある」の割合が 100.0%となっています。



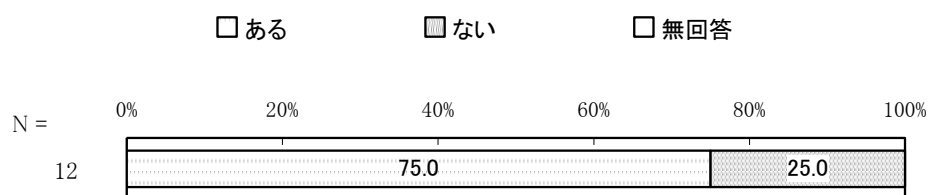
【次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

「患者情報の共有」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「病状急変時の対応」の割合が 66.7%、「退院時カンファレンスでの連携」の割合が 58.3%となっています。



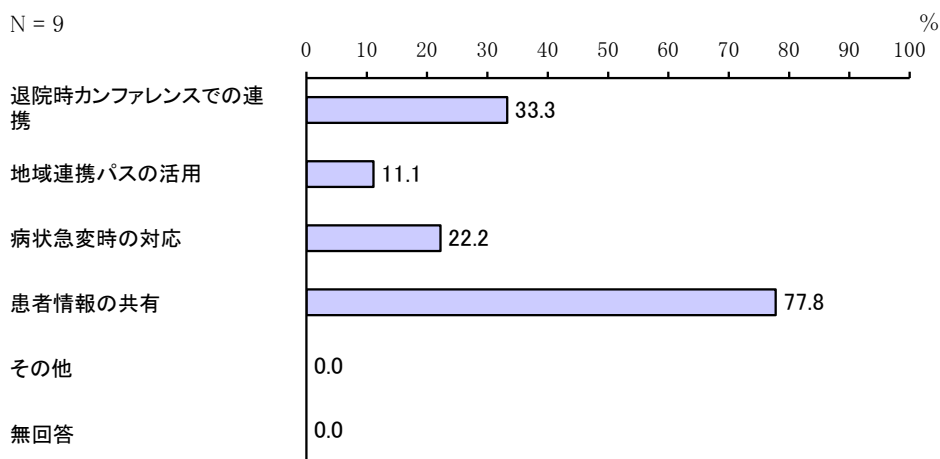
問9 在宅医療を推進するために、歯科診療所と連携できることはありますか。

「ある」の割合が75.0%、「ない」の割合が25.0%となっています。



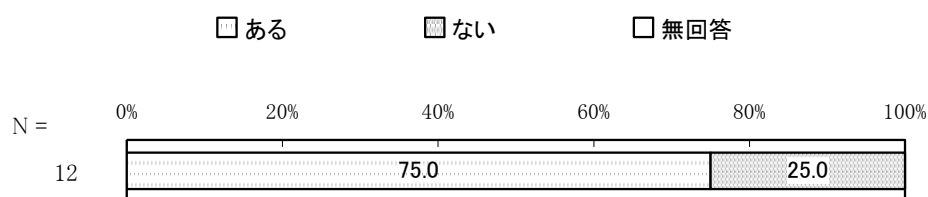
【次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

「患者情報の共有」が7件、「退院時カンファレンスでの連携」が3件、「病状急変時の対応」が2件となっています。



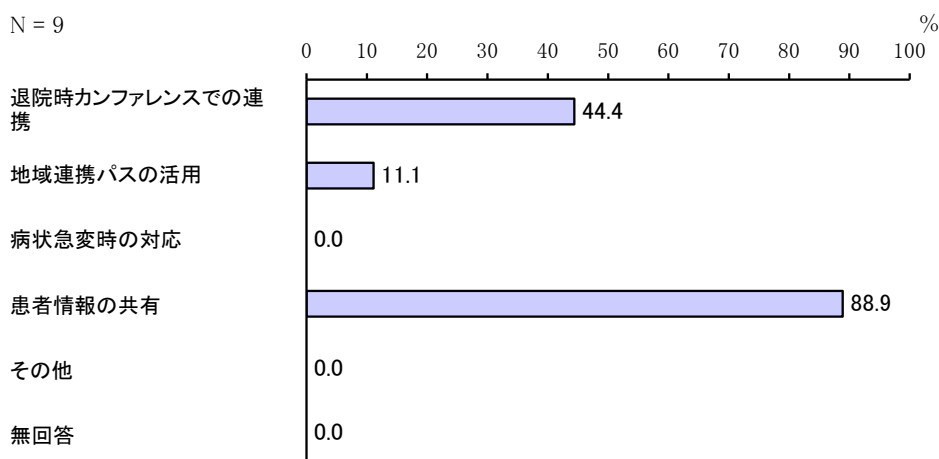
問 10 在宅医療を推進するために、薬局と連携できることはありますか。

「ある」の割合が 75.0%、「ない」の割合が 25.0%となっています。



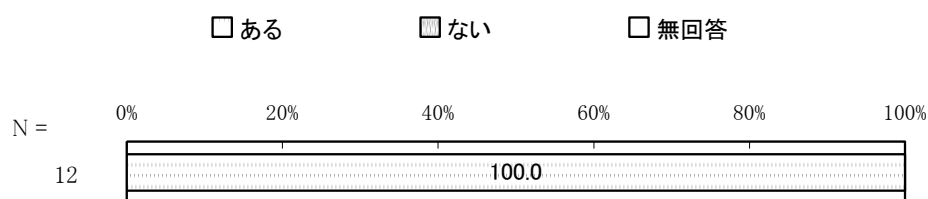
【次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

「患者情報の共有」が 8 件、「退院時カンファレンスでの連携」が 4 件、「地域連携パスの活用」が 1 件となっています。



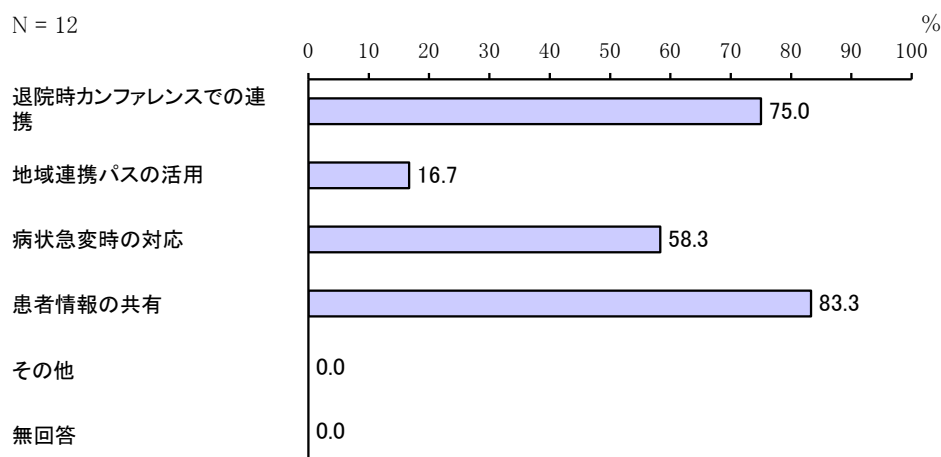
問11 在宅医療を推進するために、訪問看護ステーションと連携できることはありますか。

「ある」の割合が100.0%となっています。



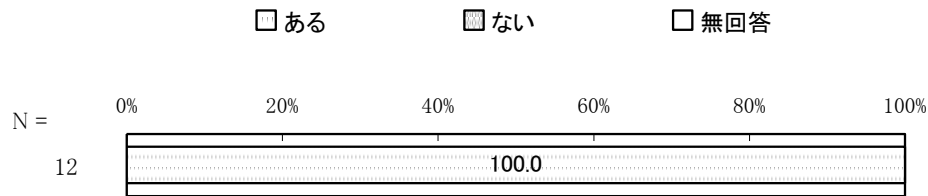
【次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

「患者情報の共有」の割合が83.3%と最も高く、次いで「退院時カンファレンスでの連携」の割合が75.0%、「病状急変時の対応」の割合が58.3%となっています。



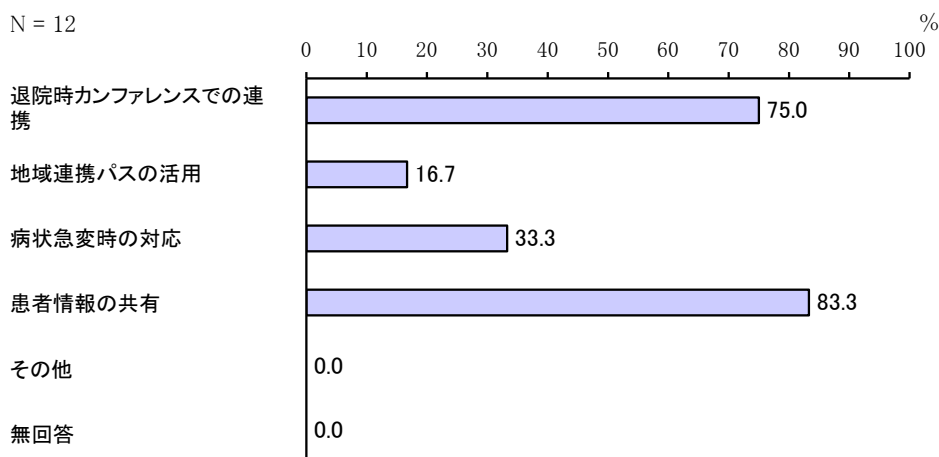
問 12 在宅医療を推進するために、介護支援専門員（ケアマネジャー）と連携できることはありますか。

「ある」の割合が 100.0%となっています。



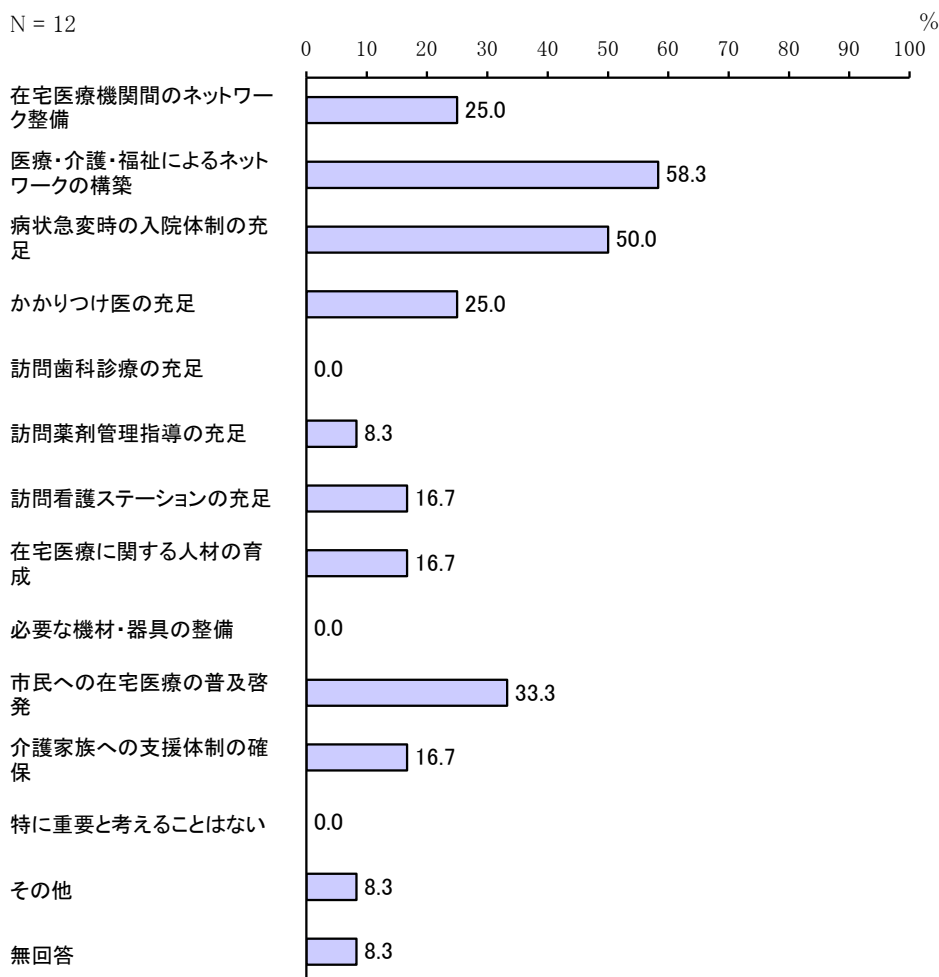
【次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

「患者情報の共有」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「退院時カンファレンスでの連携」の割合が 75.0%、「病状急変時の対応」の割合が 33.3%となっています。



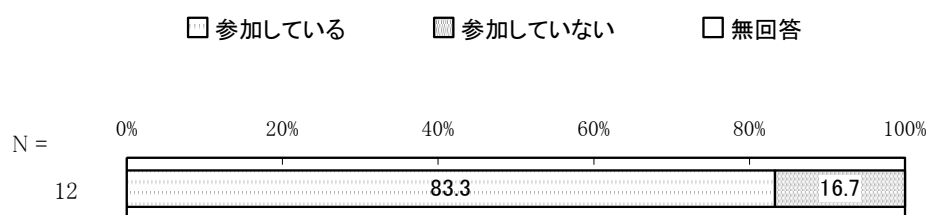
問 13 今後、在宅医療を推進していくうえで、重要と考えることは何ですか。
(○は3つまで可)

「医療・介護・福祉によるネットワークの構築」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「病状急変時の入院体制の充足」の割合が 50.0%、「市民への在宅医療の普及啓発」の割合が 33.3%となっています。



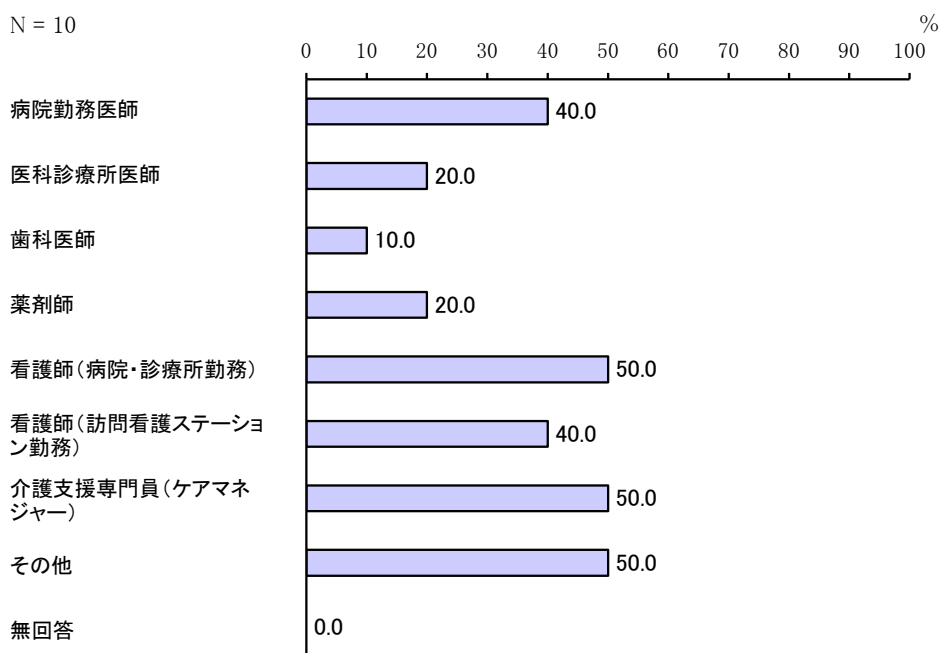
問 14 他職種が定期的に、情報交換や事例検討をする場に参加していますか。

「参加している」の割合が 83.3%、「参加していない」の割合が 16.7%となっています。



【他職種の参加者について、次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください】

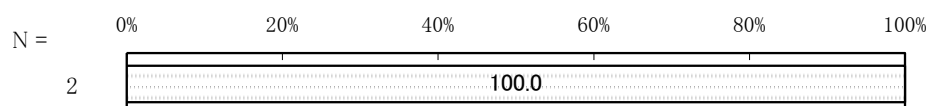
「看護師（病院・診療所勤務）」、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」の割合が 50.0%と最も高く、次いで、「病院勤務医師」、「看護師（訪問看護ステーション勤務）」の割合が 40.0%となっています。



【参加していない理由について選択肢の中からあてはまるもの1つに○をつけてください】

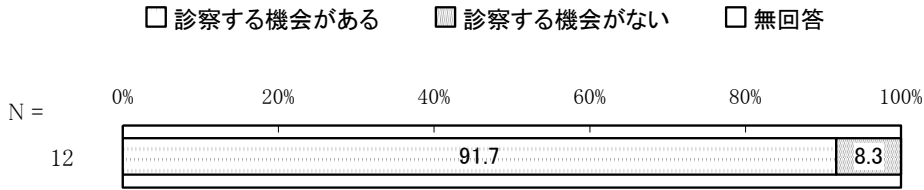
「会議の参加依頼がない」が 2 件となっています。

- 会議の参加依頼がない
- 会議に参加したいが、都合が見つからない
- 他の参加者と連携体制がとれているため会議に参加する必要がない
- その他
- 無回答



問 15 日常診療で、障害のある人の診療をすることはありますか。

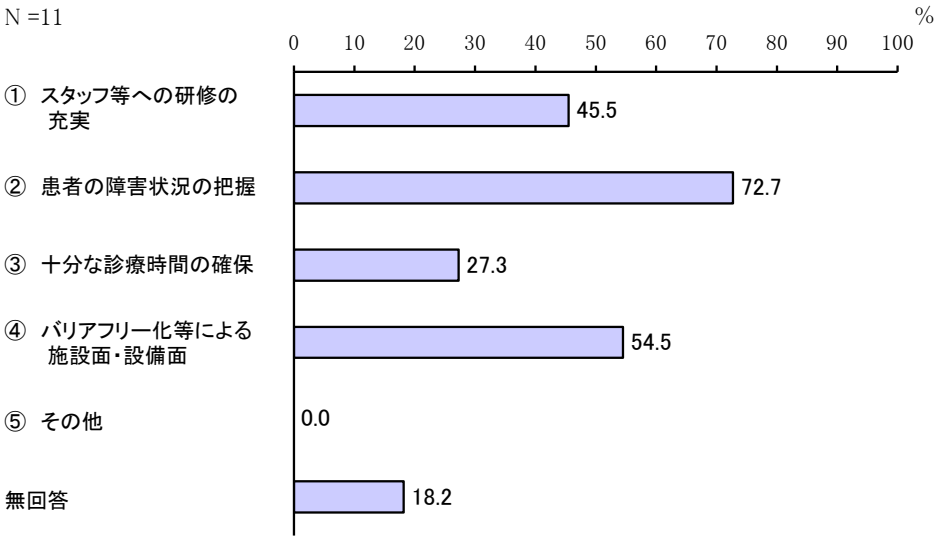
「診察する機会がある」の割合が 91.7%、「診察する機会がない」の割合が 8.3%となっています。



【診療の際に配慮していることについて、患者の障害種別ごとに、あてはまるものすべてに○をつけてください】

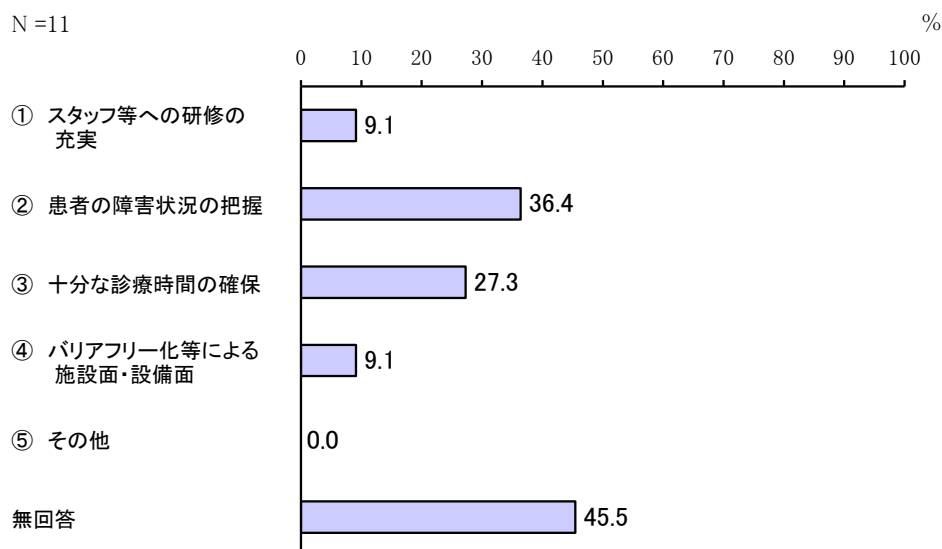
① 身体障害

「②患者の障害状況の把握」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「④バリアフリー化等による施設面・設備面」の割合が 54.5%、「①スタッフ等への研修の充実」の割合が 45.5%となっています。



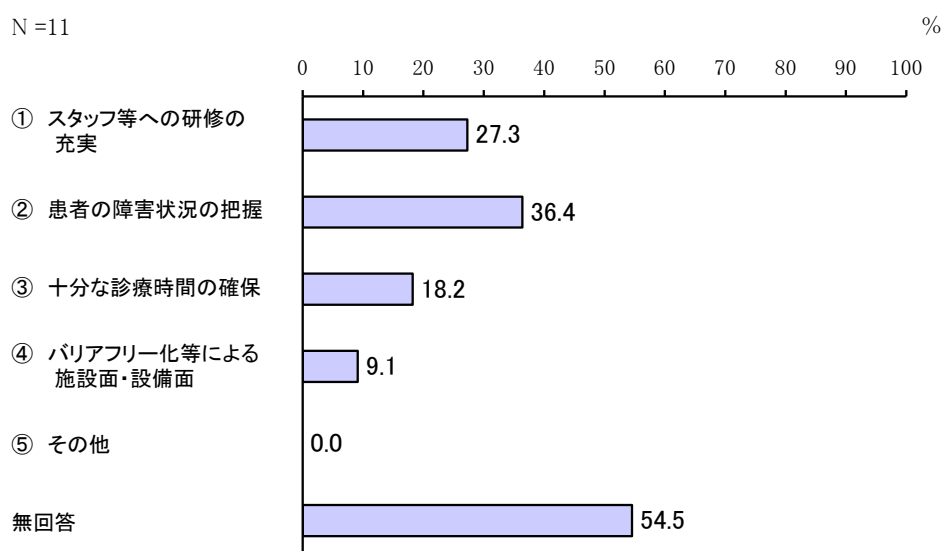
② 知的障害

「②患者の障害状況の把握」の割合が36.4%と最も高く、次いで「③十分な診療時間の確保」の割合が27.3%となっています。



③ 精神障害

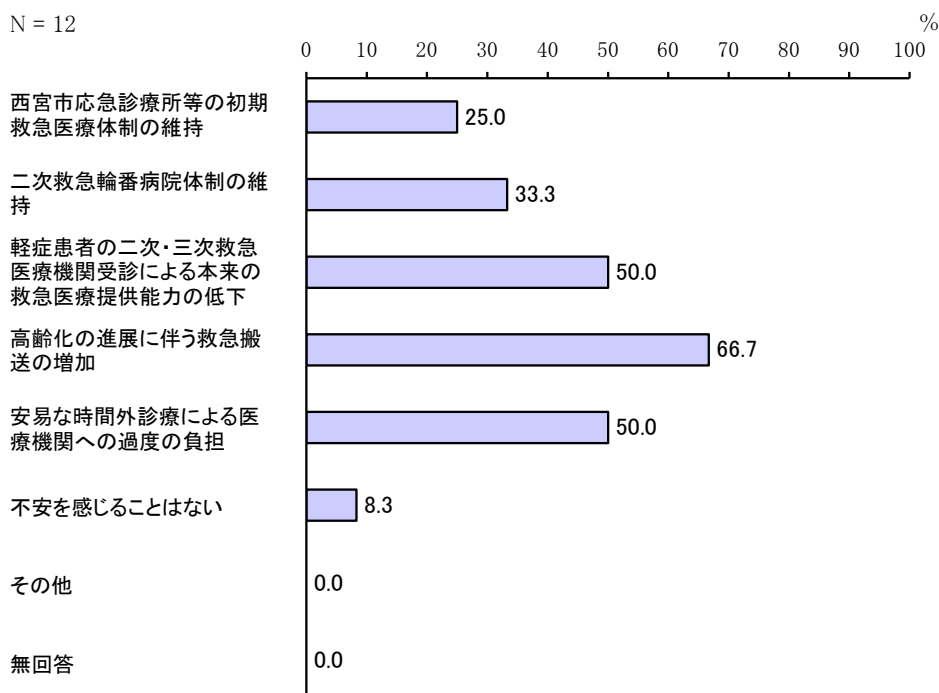
「②患者の障害状況の把握」の割合が36.4%と最も高く、次いで「①スタッフ等への研修の充実」の割合が27.3%、「③十分な診療時間の確保」の割合が18.2%となっています。



(3) 救急医療について

問 17 西宮市における休日夜間の救急医療体制について、不安を感じる点はありませんか。
(○は3つまで可)

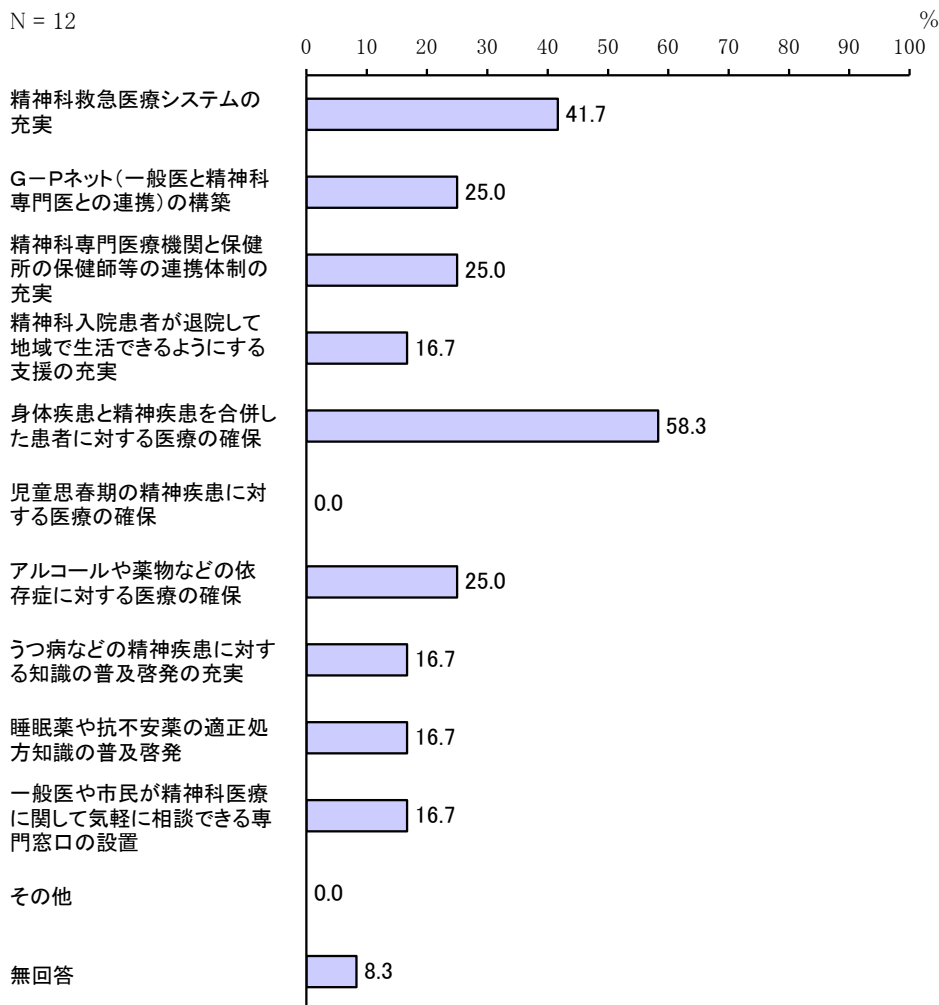
「高齢化の進展に伴う救急搬送の増加」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「軽症患者の二次・三次救急医療機関受診による本来の救急医療提供能力の低下」、「安易な時間外診療による医療機関への過度の負担」の割合が 50.0%となっています。



(4) 精神科医療について

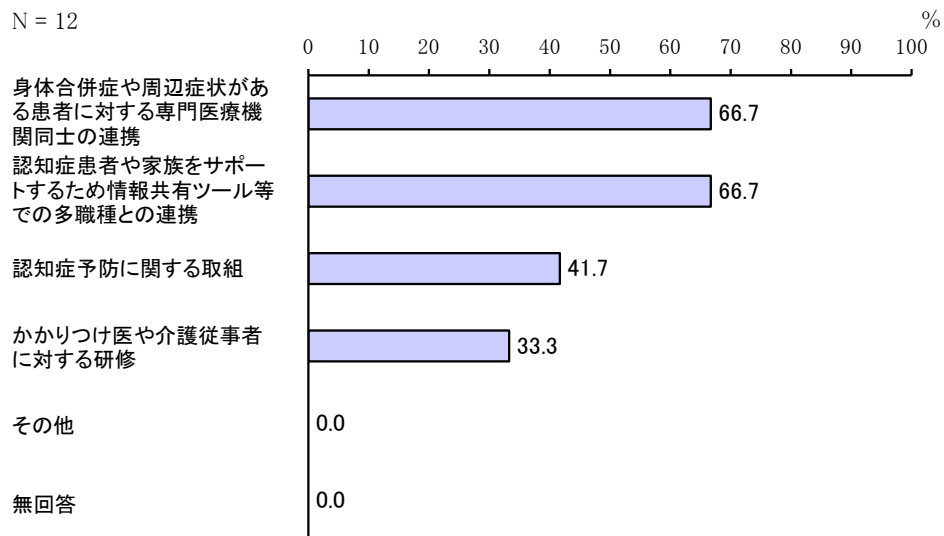
問 18 精神科医療をすすめるうえで、必要と感じていることは何ですか。
(〇は3つまで可)

「身体疾患と精神疾患を合併した患者に対する医療の確保」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「精神科救急医療システムの充実」の割合が 41.7%、「G-P ネット（一般医と精神科専門医との連携）の構築」、「精神科専門医療機関と保健所の保健師等の連携体制の充実」、「アルコールや薬物などの依存症に対する医療の確保」の割合が 25.0%となっています。



問 19 認知症対策をしていくうえで、必要と感じていることは何ですか。
(○は3つまで可)

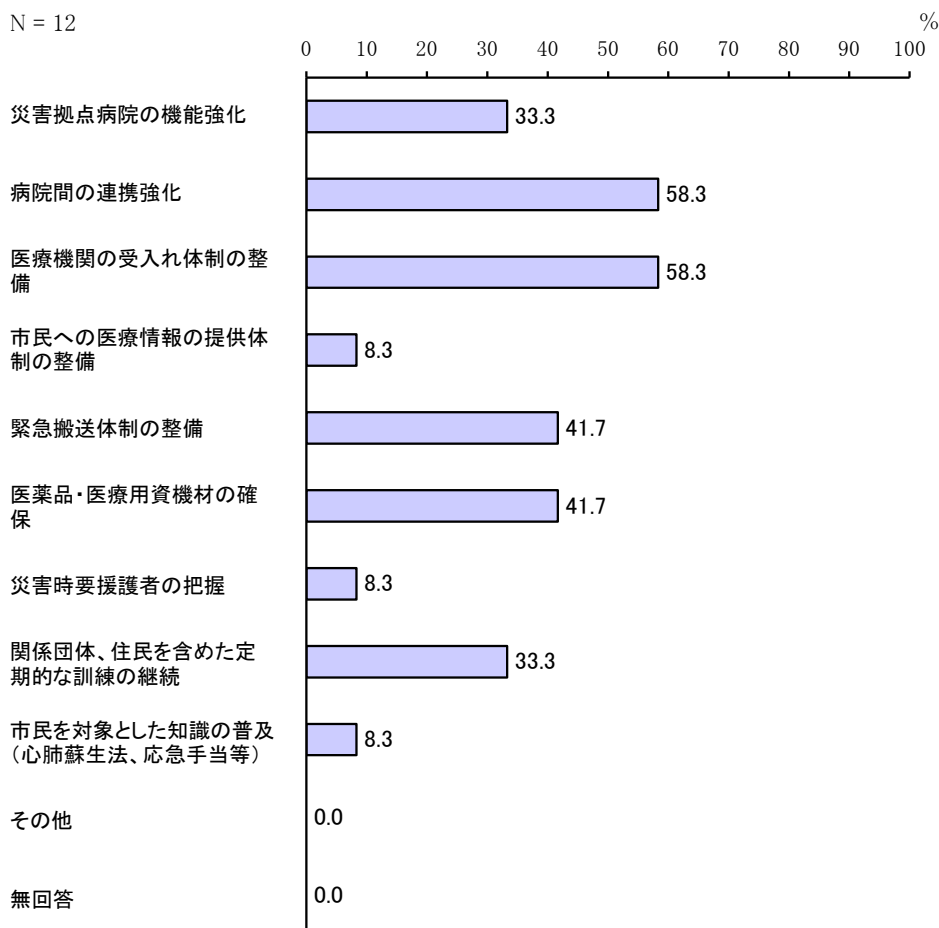
「身体合併症や周辺症状がある患者に対する専門医療機関同士の連携」、「認知症患者や家族をサポートするため情報共有ツール等での多職種との連携」の割合が 66.7%と最も高く、次いで、「認知症予防に関する取組」の割合が 41.7%となっています。



(5) 災害医療について

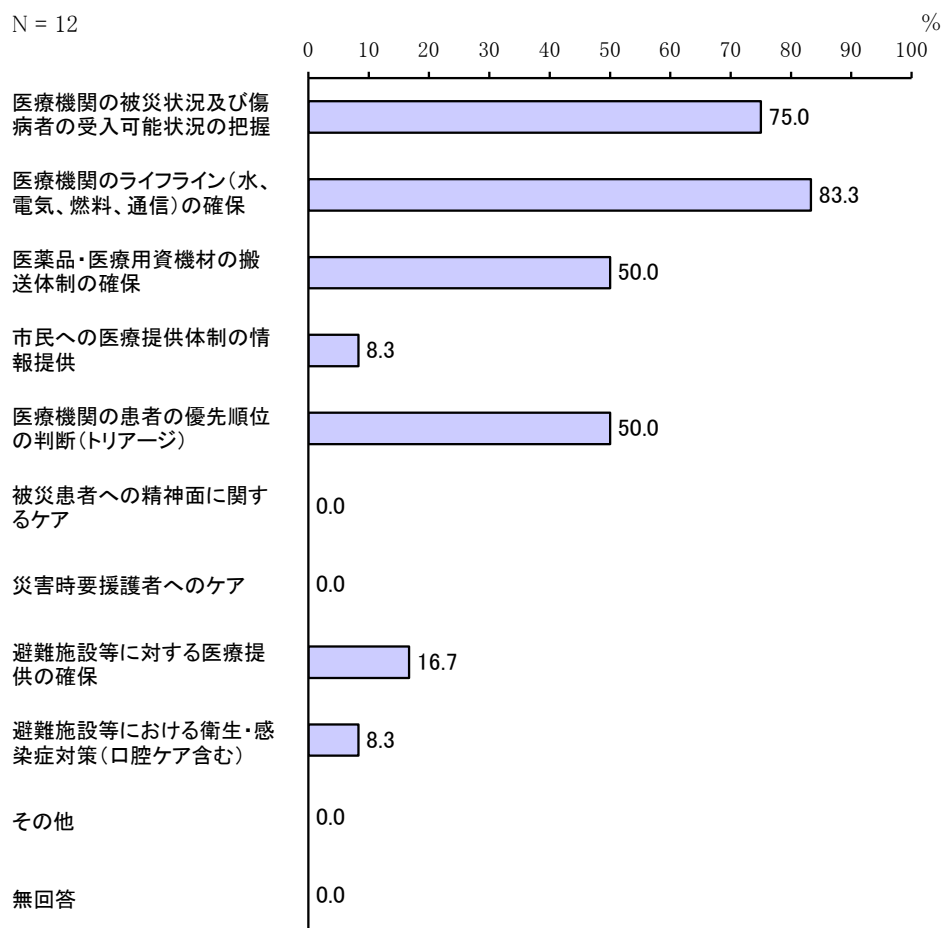
問 20 災害に備えた医療対策として、優先すべきと思われることを選んでください。
(○は3つまで可)

「病院間の連携強化」、「医療機関の受入れ体制の整備」の割合が 58.3%と最も高く、次いで、「緊急搬送体制の整備」、「医薬品・医療用資機材の確保」の割合が 41.7%となっています。



問 21 災害発生時の医療として、優先すべきと思われることを選んでください。
 (○は3つまで可)

「医療機関のライフライン（水、電気、燃料、通信）の確保」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「医療機関の被災状況及び傷病者の受入可能状況の把握」の割合が 75.0%、「医薬品・医療用資機材の搬送体制の確保」、「医療機関の患者の優先順位の判断（トリアージ）」の割合が 50.0%となっています。

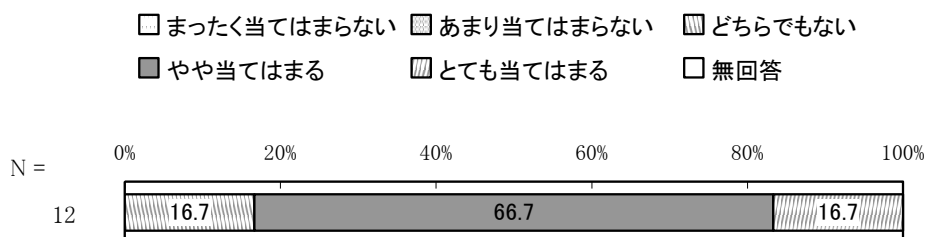


(6) 西宮市における医療提供体制について

問 22 西宮市における医療提供体制に対するあなたの評価について当てはまると思う数字を1つずつ選んで○で囲んでください。

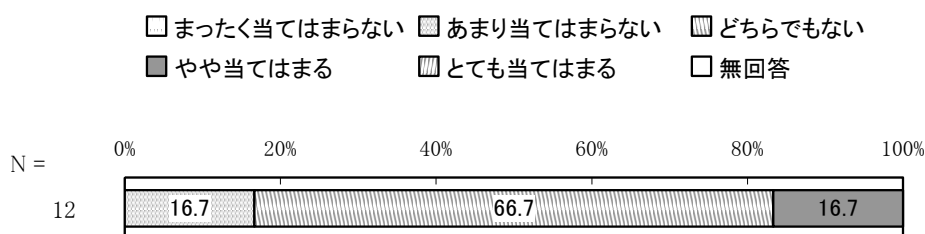
(1) 救急医療が充実している

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が 83.4%、「どちらでもない」の割合が 16.7%となっています。



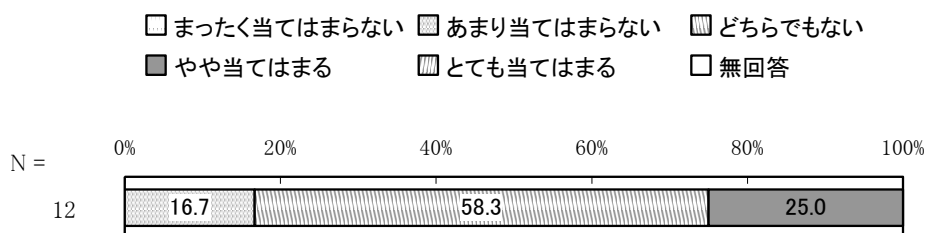
(2) 在宅医療が充実している

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が 16.7%、「どちらでもない」の割合が 66.7%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が 16.7%となっています。



(3) 医療（医療機関のかかりかた、救急医療の利用、看取り等）に対する情報が十分提供されている

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」をあわせた“当てはまる”の割合が 25.0%、「どちらでもない」の割合が 58.3%、「あまり当てはまらない」と「まったく当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が 16.7%となっています。



問 23 西宮市における医療提供体制で、今後、特に充実すべきものは何ですか。
 (〇は3つまで可)

「開業医と病院の連携の充実」の割合が75.0%と最も高く、次いで「在宅医療の充実」の割合が50.0%、「救急医療の充実」の割合が41.7%となっています。

